



平成28年度 業務実績報告書

小項目評価

【自己評価の考え方】

- (1) 単一の目標値を設定した小項目は、原則、その評価を自己評価とする。
- (2) 複数の目標値を設定した小項目は、原則、最も低い評価を自己評価とする。
- (3) 合計の数値及びその内数から構成される目標値を設定した小項目は、原則、合計数値の評価を自己評価とする。
- (4) 目標値が設定されていない小項目は、計画に対する業務を概ね実施していれば、原則、自己評価をAとする。
- (5) 上記(1)～(4)による自己評価の原則の例外として評価したものがある。(自己点数欄に*で表示した。)

平成29年 6 月

地方独立行政法人神奈川県立病院機構

目

第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	
1 質の高い医療の提供	
(1) 人材育成機能の充実（小項目1～8）	1
(2) 臨床研究の推進（小項目9～10）	9
2 医療機器等の計画的な整備の推進（小項目11）	13
3 医療機関等との機能分化・連携強化の推進（小項目12）	
(1) 全体計画（小項目12）	14
(2) 個別計画（小項目12）	14
4 ICTを活用した医療連携（小項目13）	
(1) 全体計画（小項目13）	17
(2) 個別計画（小項目13）	17
5 安全で安心な医療の提供（小項目14～16）	
(1) 災害対応力の充実強化（小項目14）	19
(2) 感染症医療体制の充実強化（小項目15）	21
(3) 医療安全対策の強化（小項目16）	23
6 患者や家族から信頼される病院に向けた取組みの推進（小項目17～21）	
(1) 患者サービスの向上と情報提供の充実（小項目17～19）	25
(2) 患者支援体制の充実（小項目20～21）	30
7 職員にとって魅力ある病院に向けた取組みの推進（小項目22～23）	35

次

（本資料の目次の項番の記載については、次頁「目次に関する注記」をご覧ください。）

8 各病院の具体的な取組み（小項目24～45）	37
(1) 足柄上病院（小項目24～27）	37
(2) こども医療センター（小項目28～32）	41
(3) 精神医療センター（小項目33～35）	48
(4) がんセンター（小項目36～40）	52
(5) 循環器呼吸器病センター（小項目41～45）	57
第3 経営基盤の強化に関する事項	
1 業務運営体制の確立（小項目46～49）	62
(1) 収益の確保（小項目46～47）	62
(2) 費用の削減（小項目48）	66
(3) 経営意識を有した職員の育成（小項目49）	67
2 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画（小項目50）	68
第8 その他神奈川県で定める業務運営に関する重要事項（小項目51～52）	
1 人事に関する計画（小項目51）	71
4 その他法人の業務運営に関し必要な事項（小項目52）	72

〈目次に関する注記〉

本資料の目次は、県から示された「第二期中期目標」に基づき策定した「第二期中期計画」の項番を原則としてそのまま使用しています。具体的には次の「第二期中期計画」の目次のうち、囲みで示した部分の項番に沿って記載していますので、一部欠番があることにご留意ください。

〈「第二期中期計画」の目次〉

第1 計画の期間

第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- 1 質の高い医療の提供
- 2 医療機器等の計画的な整備の推進
- 3 医療機関等との機能分化・連携強化の推進
- 4 ICTを活用した医療連携
- 5 安全で安心な医療の提供
- 6 患者や家族から信頼される病院に向けた取組みの推進
- 7 職員にとって魅力ある病院に向けた取組みの推進
- 8 各病院の主な取組み

第3 経営基盤の強化に関する目標を達成するためとるべき措置

- 1 業務運営体制の確立
- 2 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

第4 短期借入金の限度額

- 1 限度額
- 2 想定される短期借入金の発生理由

第5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

第6 剰余金の使途

第7 料金に関する事項

- 1 診療料等
- 2 その他の料金
- 3 還付
- 4 減免

第8 その他神奈川県規則で定める業務運営に関する重要事項

- 1 人事に関する計画
- 2 長期借入金の限度額
- 3 積立金の処分に関する計画
- 4 その他法人の業務運営に関し必要な事項

項番「第1」は欠番です(＜目次に関する注記＞(ii頁)を参照してください。)

小項目1 業務実績報告(自己評価)

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	1 質の高い医療の提供に向けた基本的な方向性 (1) 人材育成機能の充実 多様な採用方法などにより、質の高い医療人材の確保に努めること。 地域の医療従事者との相互研さんや医療従事者を指す実習生、研修生の積極的な受入れを行うこと。 連携大学院制度の活用など、職員のキャリアプランの充実が図られる仕組みづくりを構築し、こうした取組みを医療従事者に対して積極的に情報発信を行い、人材育成機能を充実すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 質の高い医療の提供 (1) 人材育成機能の充実 ・全病院において、体系的な教育制度を確立することにより、人材育成機能の充実を図る。 ・医師については連携協力のある大学などの医局ローテーションのほか、広く一般から優秀な人材を確保するため公募を行う。また、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等については、養成機関との連携や就職説明会の開催のほか、採用試験の工夫・改善などにより、質の高い職員の確保を図る。 ・地域の医療従事者との交流の推進、臨床研修医の計画的な受入れ、看護学生等の実習受入れなどによって、医療従事者を積極的に受け入れる。 ・大学院との連携・交流を推進することで、職員のキャリアプランを充実する。 ・医師の負担を軽減し医療の質の向上を図るため、高度医療セクターを育成する。 ・こうした取組内容を他の医療機関へ積極的に情報発信することで、人材育成に努める。	第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 1 質の高い医療の提供 (1) 人材育成機能の充実 ア 医療人材の確保 (ア) 医師 連携協力のある大学医学部の医局ローテーションを医師確保の基礎としつつ、公募や医師の人的ネットワークの活用のほか、任期付医師の処遇の見直しを行い、優秀な人材を確保する。	・医師確保については、連携協力のある大学医学部からの医局ローテーションを基礎としつつ、公募や人的ネットワークの活用による採用を行い、平成28年度は74人を採用した。 ・平成29年3月31日現在、後期臨床研修医を除く医師の必要数331人(前年度比9人増)に対し、現員数が309人(3月31日付退職者を含む)であり、充足率は93.4%(前年度比1.3ポイント減)であった。(前年度比9人増の理由) 次の各病院の診療体制の強化のため ①こども医療センター5人(外科、整形外科、形成外科、新生児科2人) ②がんセンター4人(泌尿器科、消化器内科、病理診断科、リハビリテーションセンター) ・後期臨床研修医等の優秀な医師を積極的に確保するため、任期付医師や非常勤医師の給与について、常勤医師と同等のレベルに引き上げた。	実績に対する評価	A		
			課題			
			・多様化する医療ニーズに対応し、医師を確保するために積極的な対応策を講じていく必要がある。 あわせて人材育成機能の充実も図る必要がある。			

(参考) 各病院医師充足率 H29.3.31現在

	必要数(A)	現員(B)	差(B-A)	充足率
足柄上	50	44	△6	88.0%
こどもC	106	100	△6	94.3%
精神C	28	26	△2	92.9%
がんC	107	104	△3	97.2%
循呼C	40	35	△5	87.5%
計	331	309	△22	93.4%

※総長、病院長、研究所長等の管理職も含む

小項目2 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	1 質の高い医療の提供に向けた基本的な方向性 (1) 人材育成機能の充実 多様な採用方法などにより、質の高い医療人材の確保に努めること。 地域の医療従事者との相互研さんや医療従事者を目指す実習生、研修生の積極的な受入れを行うこと。 連携大学院制度の活用など、職員のキャリアプランの充実が図られる仕組みづくりを構築し、こうした取組みを医療従事者に対して積極的に情報発信を行い、人材育成機能を充実すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
第2 1 質の高い医療の提供 (1) 人材育成機能の充実 ・全病院において、系統的な教育制度を確立することにより、人材育成機能の充実を図る。 ・医師については連携協力のある大学などの医局ローテーションのほか、広く一般から優秀な人材を確保するため公募を行う。また、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等については、養成機関との連携や就職説明会の開催のほか、採用試験の工夫・改善などにより、質の高い職員の確保を図る。 ・地域の医療従事者との交流の推進、臨床研修医の計画的な受入れ、看護学生等の実習受入れなどによって、医療従事者を積極的に受け入れる。 ・大学院との連携・交流を推進することで、職員のキャリアプランを充実する。 ・医師の負担を軽減し医療の質の向上を図るため、高度医療セクレタリーを育成する。 ・こうした取組内容を他の医療機関へ積極的に情報発信することで、人材育成に努める。	第1 1 質の高い医療の提供 (1) 人材育成機能の充実 ア 医療人材の確保 (イ) 看護師 県立看護専門学校や保健福祉大学と連携して学生向け就職説明会を実施するとともに、民間企業主催の合同就職説明会にも積極的に参加する。	・県立5病院それぞれが実施主体となり、採用時に受験した病院に配属される配属確定型試験を13回実施した。また、本部事務局が実施する全病院対象型試験を3回実施し、併せて計16回の採用試験を行った。 この結果、入職予定者の人数は、足柄上病院19人、こども医療センター77人、精神医療センター12人、がんセンター67人、循環器呼吸器病センター19人となり、看護職員数は平成29年4月1日現在1,638人となった。 (前年度比46人増の主な理由) ①こども医療センターのNICUなどの体制整備5人 ②がんセンターの化学療法室フル稼働に向けた体制整備10人など ・県内外で民間企業が実施した合同就職説明会に参加し県立病院機構の魅力や概要等を伝え、採用活動に繋がった。 ・助産師を対象とする修学資金制度を創設し、貸与者の1人が就職した。 ・助産師養成施設を昨年度に引き続き積極的に訪問し、人材確保に努め、平成29年4月1日の新規採用助産師数は5人であった。 ・看護職員の出身校を中心に、県内外の看護師養成施設を延べ87か所訪問し、人材確保に努めた。 ・修学資金の借受生全27人のうち、平成28年度卒業生22人がそれぞれ希望する県立病院機構の病院に就職した。 (足柄上病院1人、こども医療センター9人、がんセンター9人、循環器呼吸器病センター3人)	実績に対する評価 ・積極的な看護師・助産師確保対策を実施することで、質の高い人材確保につながっている。 ・年度計画を達成している。	A		
			課題 ・引き続き看護師や助産師の確保対策に継続的に取り組むとともに、働きやすく魅力ある職場づくりを目指した対策にも努める必要がある。			

小項目3 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	1 質の高い医療の提供に向けた基本的な方向性 (1) 人材育成機能の充実 多様な採用方法などにより、質の高い医療人材の確保に努めること。 地域の医療従事者との相互研さんや医療従事者を目指す実習生、研修生の積極的な受入れを行うこと。 連携大学院制度の活用など、職員のキャリアプランの充実が図られる仕組みづくりを構築し、こうした取組みを医療従事者に対して積極的に情報発信を行い、人材育成機能を充実すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																								
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																								
第2 1 質の高い医療の提供 (1) 人材育成機能の充実 ・全病院において、系統的な教育制度を確立することにより、人材育成機能の充実を図る。 ・医師については連携協力のある大学などの医局ローテーションのほか、広く一般から優秀な人材を確保するため公募を行う。また、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等については、養成機関との連携や就職説明会の開催のほか、採用試験の工夫・改善などにより、質の高い職員の確保を図る。 ・地域の医療従事者との交流の推進、臨床研修医の計画的な受入れ、看護学生等の実習受入れなどによって、医療従事者を積極的に受け入れる。 ・大学院との連携・交流を推進することで、職員のキャリアプランを充実する。 ・医師の負担を軽減し医療の質の向上を図るため、高度医療セクレタリーを育成する。 ・こうした取組内容を他の医療機関へ積極的に情報発信することで、人材育成に努める。	第1 1 質の高い医療の提供 (1) 人材育成機能の充実 ア 医療人材の確保 (ウ) 事務職員、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等 ・職種毎の実態に合わせて、効果的な募集案内と採用試験内容の見直しや試験実施時期の適切な設定を行う。 ・大学教育の6年制への移行に伴い、人材確保が困難となっている薬剤師について、大学訪問や病院見学会、就職説明会などにより確保対策を強化していく。	・チーム医療の推進という観点から、採用試験については、複数職種での集団討論や他職種の面接員による2段階の面接試験を引き続き実施し、人物本位の採用を実施した。 ・民間企業が実施する就職説明会へ参加し、県立病院機構の求める事務職の人材について、学生へ広く案内した。 ・理学療法士、作業療法士の実習時期を考慮し、他職種とは別日程で採用試験を実施した。 ・診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等については、職場の実態に即し、新卒者を対象とする一般採用試験と、即戦力となる経験者を対象とする採用試験を実施し、45人(前年度比13人増)の職員を確保した。 特に、採用が困難な薬剤師については、4月当初から募集を行い、募集期間中に大学訪問、就職説明会への参加を図って募集案内を実施した結果、受験者を23人に(前年度から15人)増加させた。 ・また就職説明会への参加や薬科大学訪問、研究発表会を継続実施することで、薬学生への認知度を高めるとともに、新たな人材確保と人材育成の対策として「薬剤師レジデント制度」(新卒者を対象として、県立病院機構の5病院の薬剤科をローテート研修し、薬剤師としての能力向上を図る制度)の導入に向け検討を行った。 ・上記確保対策の結果、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等については、平成29年4月1日現在の現員数は359人となった。 (前年度比25人増の主な理由) ①栄養指導業務充実のため管理栄養士の増員 がんセンター7人、足柄上病院、こども医療センター、精神医療センター、循環器呼吸器病センターに各1人で計11人 ②リハビリテーション実施体制整備のため理学療法士の増員 足柄上病院4人、循環器呼吸器病センター2人で計6人など	実績に対する評価 ・積極的な人材確保対策を実施し、必要な医療技術職員等の配置につながっている。 ・年度計画を達成している。	A																																																																																																									
			課題 ・薬剤師については、合格決定後の辞退防止対策が今後必要である。 ・医療ニーズに対応し、理学療法士や作業療法士等リハビリテーション部門の職員の増員が必要になると予想されるため、県立病院機構全体の中長期的な職員構成のバランスを考慮しながら、柔軟な募集対応を検討する。 ・薬剤師レジデント制度をはじめとして、他職種においてもレジデント制度の導入について検討を進める。																																																																																																										
			(参考)【福祉職・コメディカル職種の採用数の実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">平成27年度採用</th> <th colspan="3">平成28年度採用</th> <th colspan="3">平成29年度採用</th> </tr> <tr> <th>一般</th> <th>経験者</th> <th>計</th> <th>一般</th> <th>経験者</th> <th>計</th> <th>一般</th> <th>経験者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉職</td> <td></td> <td>5人</td> <td>5人</td> <td></td> <td>5人</td> <td>5人</td> <td></td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>4人</td> <td>3人</td> <td>7人</td> <td>7人</td> <td>7人</td> <td>14人</td> <td>7人</td> <td>1人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>5人</td> <td>7人</td> <td></td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>5人</td> <td>1人</td> <td>6人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>5人</td> <td>5人</td> <td></td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>2人</td> <td></td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>6人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>臨床工学士</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2人</td> <td></td> <td>2人</td> <td></td> <td></td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>保育士</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td></td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>1人</td> <td></td> <td>1人</td> <td></td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>9人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13人</td> <td>10人</td> <td>23人</td> <td>16人</td> <td>21人</td> <td>37人</td> <td>28人</td> <td>21人</td> <td>49人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成27年度採用			平成28年度採用			平成29年度採用			一般	経験者	計	一般	経験者	計	一般	経験者	計	福祉職		5人	5人		5人	5人		4人	4人	薬剤師	4人	3人	7人	7人	7人	14人	7人	1人	8人	診療放射線技師	1人	1人	2人	3人	2人	5人	7人		7人	臨床検査技師	5人	1人	6人	3人	2人	5人	5人		5人	理学療法士	2人		2人	1人	2人	3人	5人	6人	11人	臨床工学士				2人		2人			0人	保育士					2人	2人		1人	1人	管理栄養士	1人		1人		1人	1人	4人	9人	13人	計	13人	10人	23人
区分	平成27年度採用			平成28年度採用				平成29年度採用																																																																																																					
	一般	経験者	計	一般	経験者	計	一般	経験者	計																																																																																																				
福祉職		5人	5人		5人	5人		4人	4人																																																																																																				
薬剤師	4人	3人	7人	7人	7人	14人	7人	1人	8人																																																																																																				
診療放射線技師	1人	1人	2人	3人	2人	5人	7人		7人																																																																																																				
臨床検査技師	5人	1人	6人	3人	2人	5人	5人		5人																																																																																																				
理学療法士	2人		2人	1人	2人	3人	5人	6人	11人																																																																																																				
臨床工学士				2人		2人			0人																																																																																																				
保育士					2人	2人		1人	1人																																																																																																				
管理栄養士	1人		1人		1人	1人	4人	9人	13人																																																																																																				
計	13人	10人	23人	16人	21人	37人	28人	21人	49人																																																																																																				

小項目 4 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	1 質の高い医療の提供に向けた基本的な方向性 (1) 人材育成機能の充実 多様な採用方法などにより、質の高い医療人材の確保に努めること。 地域の医療従事者との相互研さんや医療従事者を目指す実習生、研修生の積極的な受入れを行うこと。 連携大学院制度の活用など、職員のキャリアプランの充実が図られる仕組みづくりを構築し、こうした取組みを医療従事者に対して積極的に情報発信を行い、人材育成機能を充実すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
第2 1 質の高い医療の提供 (1) 人材育成機能の充実 ・全病院において、系統的な教育制度を確立することにより、人材育成機能の充実を図る。 ・医師については連携協力のある大学などの医局ローテーションのほか、広く一般から優秀な人材を確保するため公募を行う。また、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等については、養成機関との連携や就職説明会の開催のほか、採用試験の工夫・改善などにより、質の高い職員の確保を図る。 ・地域の医療従事者との交流の推進、臨床研修医の計画的な受入れ、看護学生等の実習受入れなどによって、医療従事者を積極的に受け入れる。 ・大学院との連携・交流を推進することで、職員のキャリアプランを充実する。 ・医師の負担を軽減し医療の質の向上を図るため、高度医療セクレタリーを育成する。 ・こうした取組内容を他の医療機関へ積極的に情報発信することで、人材育成に努める。	第1 1 質の高い医療の提供 (1) 人材育成機能の充実 イ 医療人材の育成 (ア) 医師 医師に係る系統的な教育制度を検討するとともに、平成29年度から始まる新たな専門医制度において、後期臨床研修医を積極的に受け入れるため、魅力的な教育・研修体制の検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 後期臨床研修医については、足柄上病院3人（前年度比2人増） こども医療センター46人（同4人減） 精神医療センター2人（同1人増） がんセンター29人（同3人増） 循環器呼吸器病センター8人（同3人増） と前年度比5人増の合計88人を受け入れた。 実施が1年延期となった新専門医制度を注視しながら、県立病院機構の魅力を反映した研修システム等について、引き続き医師研修システム検討委員会で検討を行った。 県立病院機構内の病院において、新専門医制度の下での基幹病院として、研修実施可能な6診療科（総合診療科、内科、小児科、精神科、放射線科、麻酔科）について、制度延期に伴う動向を注視しながら、必要に応じて研修プログラムの修正等を行った。 	実績に対する評価 ・後期臨床研修医を継続して受け入れ、教育・研修体制の整備に向けた検討を実施することができている。 ・年度計画を達成している。	A		
			課題 ・新専門医制度を注視しながら、県立病院機構の研修制度を具体的に整備していく必要がある。			

小項目5 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 質の高い医療の提供に向けた基本的な方向性</p> <p>(1) 人材育成機能の充実</p> <p>多様な採用方法などにより、質の高い医療人材の確保に努めること。</p> <p>地域の医療従事者との相互研さんや医療従事者を目指す実習生、研修生の積極的な受入れを行うこと。</p> <p>連携大学院制度の活用など、職員のキャリアプランの充実が図られる仕組みづくりを構築し、こうした取組みを医療従事者に対して積極的に情報発信を行い、人材育成機能を充実すること。</p>
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																									
			自己点数	評価点数	コメント																																									
<p>第2</p> <p>1 質の高い医療の提供</p> <p>(1) 人材育成機能の充実</p> <p>・全病院において、体系的な教育制度を確立することにより、人材育成機能の充実を図る。</p> <p>・医師については連携協力のある大学などの医局ローテーションのほか、広く一般から優秀な人材を確保するため公募を行う。また、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等については、養成機関との連携や就職説明会の開催のほか、採用試験の工夫・改善などにより、質の高い職員の確保を図る。</p> <p>・地域の医療従事者との交流の推進、臨床研修医の計画的な受入れ、看護学生等の実習受入れなどによって、医療従事者を積極的に受け入れる。</p> <p>・大学院との連携・交流を推進することで、職員のキャリアプランを充実する。</p> <p>・医師の負担を軽減し医療の質の向上を図るため、高度医療セクレタリーを育成する。</p> <p>・こうした取組内容を他の医療機関へ積極的に情報発信することで、人材育成に努める。</p>	<p>第1</p> <p>1 質の高い医療の提供</p> <p>(1) 人材育成機能の充実</p> <p>イ 医療人材の育成</p> <p>(イ) 看護師</p> <p>神奈川県内の看護専門学校等との連携を深め、看護学生の実習受入れ拡大を図る。</p>	<p>・看護学生の実習については、看護専門学校・大学等から平成28年度合計1,459人（前年度比31人増）を受け入れた。</p> <p style="text-align: center;">(参考) [看護実習受入実績]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健福祉大学</td> <td>146人</td> <td>184人</td> <td>213人</td> </tr> <tr> <td>衛生看護専門学校</td> <td>86人</td> <td>117人</td> <td>190人</td> </tr> <tr> <td>よこはま看護専門学校</td> <td>488人</td> <td>476人</td> <td>393人</td> </tr> <tr> <td>平塚看護専門学校 (現 平塚看護大学校)</td> <td>52人</td> <td>82人</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>小田原看護専門学校</td> <td>44人</td> <td>35人</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>横浜市医師会看護専門学校</td> <td>46人</td> <td>68人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>国際医療福祉大学</td> <td>42人</td> <td>58人</td> <td>61人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>424人</td> <td>408人</td> <td>443人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,328人</td> <td>1,428人</td> <td>1,459人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	保健福祉大学	146人	184人	213人	衛生看護専門学校	86人	117人	190人	よこはま看護専門学校	488人	476人	393人	平塚看護専門学校 (現 平塚看護大学校)	52人	82人	69人	小田原看護専門学校	44人	35人	42人	横浜市医師会看護専門学校	46人	68人	48人	国際医療福祉大学	42人	58人	61人	その他	424人	408人	443人	計	1,328人	1,428人	1,459人	<p>実績に対する評価</p> <p>・看護専門学校・大学等との連携を深め、看護学生の実習受入れを拡大することができている。</p> <p>・年度計画を達成している。</p>	A		
区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度																																											
保健福祉大学	146人	184人	213人																																											
衛生看護専門学校	86人	117人	190人																																											
よこはま看護専門学校	488人	476人	393人																																											
平塚看護専門学校 (現 平塚看護大学校)	52人	82人	69人																																											
小田原看護専門学校	44人	35人	42人																																											
横浜市医師会看護専門学校	46人	68人	48人																																											
国際医療福祉大学	42人	58人	61人																																											
その他	424人	408人	443人																																											
計	1,328人	1,428人	1,459人																																											
			<p>課題</p> <p>・看護実習の拡大にあたっては、実習受入れの体制整備を図る必要がある。</p> <p>・医療人材育成のため、今後も看護専門学校等との連携を深める。</p>																																											

小項目6 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 質の高い医療の提供に向けた基本的な方向性</p> <p>(1) 人材育成機能の充実</p> <p>多様な採用方法などにより、質の高い医療人材の確保に努めること。</p> <p>地域の医療従事者との相互研さんや医療従事者を目指す実習生、研修生の積極的な受入れを行うこと。</p> <p>連携大学院制度の活用など、職員のキャリアプランの充実が図られる仕組みづくりを構築し、こうした取組みを医療従事者に対して積極的に情報発信を行い、人材育成機能を充実すること。</p>
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第2 1 質の高い医療の提供 (1) 人材育成機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全病院において、体系的な教育制度を確立することにより、人材育成機能の充実を図る。 ・医師については連携協力のある大学などの医局ローテーションのほか、広く一般から優秀な人材を確保するため公募を行う。また、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等については、養成機関との連携や就職説明会の開催のほか、採用試験の工夫・改善などにより、質の高い職員の確保を図る。 ・地域の医療従事者との交流の推進、臨床研修医の計画的な受入れ、看護学生等の実習受入れなどによって、医療従事者を積極的に受け入れる。 ・大学院との連携・交流を推進することで、職員のキャリアプランを充実する。 ・医師の負担を軽減し医療の質の向上を図るため、高度医療セクレタリーを育成する。 ・こうした取組内容を他の医療機関へ積極的に情報発信することで、人材育成に努める。 	<p>第1 1 質の高い医療の提供 (1) 人材育成機能の充実 イ 医療人材の育成 (ウ) 事務職員、薬剤師</p> <p>平成27年度に設置した事務職員及び薬剤師の人材育成に係る検討会の中で議論を進め、平成28年度中に求められる職員像の明確化や育成の方法を整備していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務職員及び薬剤師の人材育成に係る検討会の中で「求められる職員像の明確化」「階層別研修体制の整備」「人材育成の観点からの人事異動」について検討を行い、対応案を検討した。 ・求められる職員像に到達するために必要な内容として取りまとめた対応案に基づき、薬剤師においてはメンター制の導入、参加型の研修、業務マネジメント研修、組織マネジメント研修を実施し、事務職員においてはOJT等に関するリーダーシップ研修を実施するなど、人材育成に努めた。 	<p>実績に対する評価</p> <p>・事務職員及び薬剤師が、自ら人材育成のための検討を行うことができている。</p> <p>・年度計画を達成している。</p> <p style="font-size: 2em; margin-top: 10px;">A</p>			
			課題			
			<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成の観点からの計画的な人事異動、取りまとめた人材育成の対応案に沿った対策を進めていく必要がある。 			

小項目7 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	1 質の高い医療の提供に向けた基本的な方向性 (1) 人材育成機能の充実 多様な採用方法などにより、質の高い医療人材の確保に努めること。 地域の医療従事者との相互研さんや医療従事者を目指す実習生、研修生の積極的な受入れを行うこと。 連携大学院制度の活用など、職員のキャリアプランの充実が図られる仕組みづくりを構築し、こうした取組みを医療従事者に対して積極的に情報発信を行い、人材育成機能を充実すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
第2 1 質の高い医療の提供 (1) 人材育成機能の充実 ・全病院において、系統的な教育制度を確立することにより、人材育成機能の充実を図る。 ・医師については連携協力のある大学などの医局ローテーションのほか、広く一般から優秀な人材を確保するため公募を行う。また、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等については、養成機関との連携や就職説明会の開催のほか、採用試験の工夫・改善などにより、質の高い職員の確保を図る。 ・地域の医療従事者との交流の推進、臨床研修医の計画的な受入れ、看護学生等の実習受入れなどによって、医療従事者を積極的に受け入れる。 ・大学院との連携・交流を推進することで、職員のキャリアプランを充実する。 ・医師の負担を軽減し医療の質の向上を図るため、高度医療セクレタリーを育成する。 ・こうした取組内容を他の医療機関へ積極的に情報発信することで、人材育成に努める。	第1 1 質の高い医療の提供 (1) 人材育成機能の充実 イ 医療人材の育成 (エ) 高度医療セクレタリー こども医療センターでのモデル事業を推進し、各病院の研修体制を整備するなど、高度医療セクレタリーの導入に向けた環境の整備を行う。	・こども医療センターにおいて、高い業務遂行能力を持つ医師事務作業補助者を高度医療セクレタリーとして位置づけ、平成27年度に2人、平成28年度に2人を採用した。関係医師の指導を受けた高度医療セクレタリーが外来診療の電子カルテ代行入力等を行い、医師の診療支援を実施した。 ・上記実績に加え、こども医療センターの職員1人を非常勤雇用から常勤雇用へ切り替え、また、今後のこども医療センター以外の病院における、高度医療セクレタリーの導入もしくは導入を目標とした研修体制や処遇などの環境整備に努め、内部整理を行った。	実績に対する評価 ・こども医療センターにおいて、高度医療セクレタリーの体制を強化し、医師の診療支援を行うことができている。 ・その他の病院への高度医療セクレタリーの配置については、環境整備の段階である。 ・年度計画を達成している。	A		
			課題 ・高度医療セクレタリーには診療内容を適切に理解する高度なスキルが求められるため、高い意欲を持つ人材の確保及び定着対策を検討する必要がある。 ・導入にあたって関係医師の協力を得ながら、ルール作りを含め体系的に進める必要がある。			

小項目 8 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	1 質の高い医療の提供に向けた基本的な方向性 (1) 人材育成機能の充実 多様な採用方法などにより、質の高い医療人材の確保に努めること。 地域の医療従事者との相互研さんや医療従事者を目指す実習生、研修生の積極的な受入れを行うこと。 連携大学院制度の活用など、職員のキャリアプランの充実が図られる仕組みづくりを構築し、こうした取組みを医療従事者に対して積極的に情報発信を行い、人材育成機能を充実すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
第2 1 質の高い医療の提供 (1) 人材育成機能の充実 ・全病院において、系統的な教育制度を確立することにより、人材育成機能の充実を図る。 ・医師については連携協力のある大学などの医局ローテーションのほか、広く一般から優秀な人材を確保するため公募を行う。また、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等については、養成機関との連携や就職説明会の開催のほか、採用試験の工夫・改善などにより、質の高い職員の確保を図る。 ・地域の医療従事者との交流の推進、臨床研修医の計画的な受入れ、看護学生等の実習受入れなどによって、医療従事者を積極的に受け入れる。 ・大学院との連携・交流を推進することで、職員のキャリアプランを充実する。 ・医師の負担を軽減し医療の質の向上を図るため、高度医療セクレタリーを育成する。 ・こうした取組内容を他の医療機関へ積極的に情報発信することで、人材育成に努める。	第1 1 質の高い医療の提供 (1) 人材育成機能の充実 イ 医療人材の育成 (オ) 医学・工学領域 横浜国立大学と株式会社東芝と連携した共同研究講座を実施し、重粒子線治療に関連した医学・工学領域の人材育成を図る。 (カ) 大学との連携 横浜市立大学などとの間で人材育成及び教育・試験研究を推進する。こども医療センター及びがんセンターは、事業の着実な実施と内容の充実を努める。 (キ) 情報発信 人材育成に係る取組内容の成果をホームページ等で情報発信し、県内外の人材育成の活性化に資する。	・横浜国立大学及び株式会社東芝と連携し、重粒子線治療に関連した医学・工学領域の人材育成を目的とした共同研究講座を開設するための協定及び契約を結んだ。 [こども医療センター] ・教育研究についての連携・協力協定に基づき、医師1人を増員し、計7人が協定大学大学院の客員教授として研究活動を行ったほか、医師3人が大学院で学ぶのに対し、大学院生が当センターで研修するなど、相互に交流して人材育成を図った。 <協定大学> 横浜市立大学 ・連携協力に関する協定に基づき、医師1人が協定大学大学院で学んだ。 <協定大学> 慶応義塾大学医学部・大学院医学研究科 [がんセンター] ・連携大学院の協定を締結した大学に、医師14人、化学職3人が客員教授等に就任し、医師の確保や育成を推進した。 <協定大学> 横浜市立大学 ・看護職員について、各病院のホームページや募集パンフレットに、人材育成のための研修体系等を掲載し、就職説明会等での説明などと合わせて、広く情報発信を行った。	実績に対する評価 ・医療人材の育成に向け、大学や企業と積極的に連携することができている。 ・人材育成の取り組みを広く情報発信することができている。 ・年度計画を達成している。	A		
			課題 ・引き続き医療人材の育成を行っていくとともに、連携等の取組みの成果を、適切に情報発信していく必要がある。			

小項目 9 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	1 質の高い医療の提供に向けた基本的な方向性 (2) 臨床研究の推進 「治らない病を治すこと」や「医療の更なる進歩」を基本理念に、中長期的に県民に還元可能な臨床研究を推進するとともに、県が進める「ヘルスケア・ニューフロンティア」などに対し、臨床研究の分野において積極的に連携していくこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント
第2 1 質の高い医療の提供 (2) 臨床研究の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・より良い診断法や治療法を確立するため、治験の実施など臨床研究のための基盤及び支援体制の整備を行う。 ・こども医療センターは、難治性の小児疾患に関する臨床研究を推進する。 ・精神医療センターは、難治性の精神疾患の新規医療技術の臨床導入に向けた臨床研究を推進する。 ・がんセンターは、がんの新たな診断・治療方法の開発を推進するとともに、臨床研究の拠点として、遺伝子研究及び腫瘍組織を活用した研究に取り組む。また、従来より行われているワクチン及び漢方医療を継続して実施する。 ・循環器呼吸器病センターは、間質性肺炎や肺がん、循環器疾患の臨床研究を推進する。 	第1 1 質の高い医療の提供 (2) 臨床研究の推進 ア 臨床研究支援 (ア) 全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年9月に発足した「みらい臨床研究支援センター」を中心に、神奈川県立病院機構及び神奈川県における臨床研究体制を整備する。 ・潜在能力を引き出し活性化するための効果的な臨床研究推進体制を研究し、医師主導治験・臨床研究を自ら企画し実施するための基盤を整備する。 ・最先端医療・医療技術、産業、海外ネットワーク等と有機的に連携し、関連する治験・臨床研究の企画・運営を積極的に行うことにより、神奈川県の「ヘルスケア・ニューフロンティア事業」に積極的に協力する。 ・医師主導治験・臨床研究を計画する医師、研究者ならびに臨床研究の実施を支援する人材の教育訓練体制を整備し、トレーニングを実施する。外部の研究機関や企業、海外関係機関とも連携し、産官学の人材交流の推進を図り、国際的に通用する人材育成環境を整備する。 ・効率的かつ高水準の審査体制を実現するため、各病院においてそれぞれ実施している倫理委員会等について施設横断的に体制を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、「国際共同臨床研究支援センター(仮称)機能実証検討調査等事業」を受託し、「みらい臨床研究支援センター」を含めて更なる臨床研究基盤の整備と各施設における臨床研究の活性化に取り組んだ。 ・国内外の有望な創薬等シーズの調査、獲得に関する検討として、海外における医療関連産業育成事例を研究すると共に、今後、県の医療機関で国内外のシーズを臨床開発する場合の課題を抽出し、解決策を提案した。 ・重粒子線関連の臨床研究等、複数の臨床研究について、研究計画書作成支援、研究事務局支援、データマネジメント支援、手順書作成等を支援した。また、これらの支援実績を基に、臨床研究を更に発展させ、自走化し得るような支援体制整備について検討を行った。 ・共同研究の契約を担当できる知財・法務部門がなかったため、支援センターが契約交渉等を直接的、また間接的に支援した。その結果、複雑化していた共同研究契約の2件、大企業との大型契約の1件、企業と共同での国立大学への共同研究講座設置の1件、特許譲渡の1件について、適切な契約が締結された。 ・米国の国際共同臨床研究への参加条件である、米国保健福祉省(HHS)登録と施設要件の連邦保証制度(FWA)の承認取得を支援した。 	実績に対する評価 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関・施設間の連携も含めた複数の臨床研究について、研究の適正な実施とデータの高品質化に貢献している。 ・みらい臨床研究支援センターが共同研究の契約交渉等を積極的に支援し、本機構側の要求を満たした契約の締結に至るなど、産学との連携に貢献している。 ・特に小児領域での国際共同臨床研究への参加基盤が整備されている。 ・「新生児医療国際臨床研究シンポジウム」の開催を契機として、具体的な国際連携の計画が持ち上がり、より組織的かつ国際的な関係基盤に発展している。今後、共同臨床研究の形に発展することが期待される。 ・臨床研究等に係わる教育訓練を適切に実施している。 ・県立病院機構内の各施設の研究倫理審査委員会が一体的に運用されている。 ・未病に係る県の取組みに協力できている。 ・年度計画を達成している。 	A		

	<p>・こうした取組みを通じて、県民に提供することのできる医療水準の向上を図る。</p> <p>イ 未病の取組み</p> <p>神奈川県<small>の未病への取組みに協力するため、医学的な見地から未病に関する様々な具体的課題を整理したうえで臨床研究を企画立案し、検討内容の報告を取りまとめ、新しい医療のあり方や未病産業など、効果的な政策提言を行う。</small></p>	<p>・「新生児医療国際臨床研究シンポジウム」を県内外に発信して開催し、新生児医療分野でのアジア地域の国際的な臨床研究の促進と、各国での課題や解決策を議論した。海外からは9名の専門家を迎えた。国際連携を推進、活性化し、より継続的に発展し得る国際臨床ネットワーク推進についても検討を行った。</p> <p>・公的研究費を獲得している施設において、研究倫理に関する研修を複数回にわたって実施した。平成29年度の改正個人情報保護法、及び人を対象とする医学系研究に関する指針の施行予定を踏まえ、最新の情報を適宜研修内容に加えた。また、平成27年度同様、統計相談、及び統計勉強会を各施設で実施した。</p> <p>・支援センターが中心となり、これまで各施設毎の組織となっていた研究倫理審査委員会を、理事長を中心とする「研究倫理審査委員会規程」を作成することで統一した。</p> <p>・平成27年度開始の未病検診研究に関する整備と検討を継続して実施した。</p> <p>・がんセンターの腫瘍組織センターを「生体試料センター」として体制整備した。</p> <p>・小児期の未病対策、県西部コホート研究と一体的に実施するサルコペニア検診、肺がん検診や糖尿病や認知症の未病対策などに資する未病研究計画の立案やパイロット研究を実施した。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>・臨床研究支援を継続的に行っていくためには、ノウハウの標準化、及び文書化を通じて、各施設の研究者と事務部門の自立性にも期待し発展していくような臨床研究基盤の仕組みを構築、推進していく必要がある。</p> <p>・医療及び法律に係わる十分な知識と経験を備え、交渉に長けた人材の確保と、それを支える、開発成果を自ら実施しない医療施設の特質を前提とした交渉を行う担当部署の設立は、本機構全体として尽力する必要がある。</p> <p>・国際共同研究、及び国際連携の継続的な推進のためには、国際連携の明確な趣旨とそれに基づく計画を立案し、海外の研究者との協力体制が期待できるような支援体制が必要である。</p> <p>・県の未病への取組みに対して、引き続き積極的に協力をしていく必要がある。</p>			
--	--	---	--	--	--	--

小項目 10 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 質の高い医療の提供に向けた基本的な方向性</p> <p>(2) 臨床研究の推進</p> <p>「治らない病を治すこと」や「医療の更なる進歩」を基本理念に、中長期的に県民に還元可能な臨床研究を推進するとともに、県が進める「ヘルスケア・ニューフロンティア」などに対し、臨床研究の分野において積極的に連携していくこと。</p>
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第2</p> <p>1 質の高い医療の提供</p> <p>(2) 臨床研究の推進</p> <p>・より良い診断法や治療法を確立するため、治験の実施など臨床研究のための基盤及び支援体制の整備を行う。</p> <p>・こども医療センターは、難治性の小児疾患に関する臨床研究を推進する。</p> <p>・精神医療センターは、難治性の精神疾患の新規医療技術の臨床導入に向けた臨床研究を推進する。</p> <p>・がんセンターは、がんの新たな診断・治療法の開発を推進するとともに、臨床研究の拠点として、遺伝子研究及び腫瘍組織を活用した研究に取り組む。また、従来より行われているワクチン及び漢方医療を継続して実施する。</p>	<p>第1</p> <p>1 質の高い医療の提供</p> <p>(2) 臨床研究の推進</p> <p>ア 臨床研究支援</p> <p>(イ) 個別計画</p> <p>a こども医療センター</p> <p>・小児治験ネットワークなどを通じた医療機関との連携により、小児がん医薬品や希少疾病用医薬品などの他の医療機関では対応が困難な治験を実施し、小児用の医薬品、医療機器及び再生医療等製品の早期開発に向けた取組みを推進する。</p> <p>・ゲノム科学や最新の遺伝医学を臨床の現場に還元及び応用することで、希少疾患も含めた遺伝性疾患について、正確な診断に基づいた診療を推進する。</p> <p>b 精神医療センター</p> <p>反復性経頭蓋磁気刺激法（rTMS）や鍼灸の精神科医療への応用、物質依存症に対する集団治療プログラムなどの研究・開発に取り組む。</p>	<p>[こども医療センター]</p> <p>・実施医療機関が限られている小児領域の治験について、希少疾病用医薬品、小児の抗がん剤、再生医療等製品及び国際共同治験を含めて29件実施した。そのうち、小児治験ネットワークを通じた治験は9件、全国的にも稀である小児に係る医師主導治験は3件で、医師主導治験の1件については、医療機器の製品化に向けた取組みを進めた。</p> <p>・また、メディカルゲノムセンターにおいて、ゲノム医療の実現化に向け、次世代シーケンサー等により解析を実施し、希少疾患の特異的変異を検出したほか、70疾患について診療目的の遺伝学的検査を行った。</p> <p>[精神医療センター]</p> <p>・ニューロモデュレーション研究や依存症研究、東洋医学研究等の臨床研究の充実に努め、学会発表などを行ったほか、反復性経頭蓋磁気刺激法（rTMS）に係るうつ病の治療機器の薬事承認に向け、適正使用指針案を作成した。</p>	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p>・各病院において、他の研究機関等と連携を取りながら、積極的に臨床研究・臨床試験に取り組むことができている。</p> <p>・年度計画を達成している。</p> <p>※県立病院機構全体としては、目標値を達成していることから、「計」の実績値をもって本小項目の自己評価とした。</p>	A		
			課題			
			<p>・県立病院機構全体としては目標値を達成したものの、目標値に届かなかった病院もあることから、引き続き臨床研究の推進に努める。</p> <p>・より良い治療法・診断法を開発していくため、国際標準を目指した臨床研究の基盤体制の強化を引き続き行っていく必要がある。</p>			

c がんセンター

・がんの超早期診断や副作用の少ない個別化医療、難治性がんの診断・治療法の確立に向け、遺伝子解析を中心とする臨床研究を推進する。

・臨床研究所にRPPA（逆相タンパク質アレイ）コアラボラトリーを設置して、患者検体の本格的な解析を実施し、がんの治療薬や診断薬の開発に寄与する。

・腫瘍組織センターは、ISO15189の取得をめざす臨床検査部門との一体化を進めるとともに、倫理、法律及び情報面でも国際標準に到達した質の高い試料保存体制を構築する。

・がんワクチン、抗体製剤の実用化に向けて、臨床研究や医師主導治験の拡大を図る。

・循環器呼吸器病センターは、間質性肺炎や肺がん、循環器疾患の臨床研究を推進する。

d 循環器呼吸器病センター

間質性肺炎や肺がん、循環器疾患に関する診療の取組みや実績を積極的に外部に発信し、新たな治療法や抗がん剤等の開発に向けた治験への参加拡大を図る。

[がんセンター]

・膀胱がん、肝がんの新規バイオマーカーを指標とした尿、血液による早期診断法の臨床開発を、医師主導臨床試験を含め推進した。また、がん個別化医療の実現に向けて、難治性希少がんの全ゲノム塩基配列情報を取得し、東京大学医科学研究所ゲノム解析センターのスーパーコンピュータや人工知能を活用した解析・診断研究を進めた。

・RPPAについては研究員を専従とし、解析システムの戦略的標準化のためのシステム構築を進めている。また、これに係わる病院との共同プロジェクトを立ち上げ、これを基にRPPA解析を用いた新たな血液腫瘍診断法を含む研究開発戦略を構築し、適切な初期成果を得ることができたため、次年度以降徐々に拡大していくこととなった。

・腫瘍組織センターにおいて、個人情報保護法の改正に伴う包括同意説明文書、同意書を改訂した。また、ISOを取得した臨床検査部門と一体化し、検体の質向上と管理の効率化のため、関連する部門と連携して手術検体でのタイムスタンプ導入、冷凍庫管理の外部委託の準備を進め、併せて、がんセンター内へ向けた講演会を開催した。

腫瘍組織収集（凍結組織）の実績
凍結組織 961件（前年度 913件）
血液 1,655件（前年度 1,710件）

・がんワクチンセンターにおいて、平成27年度に引き続き膵臓がん・食道がん・大腸がん・肺がん・前立腺がんに対するペプチドワクチン療法の臨床試験を実施した。また、標的となるがん抗原ペプチドを新たに同定し、がんに対する新規ワクチン療法の開発を推進した。

[循環器呼吸器病センター]

・ホームページにより、当センターで実施している間質性肺炎、肺がんや心不全などの治験一覧を公開することにより、受託件数の増加や被験者の獲得に努めた。

・当センターが主導して「特発性間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究」を開始した。

[目標値] 治験受託件数

病院名	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度				平成31年度目標値
			目標値	実績値	達成率	評価	
足柄上病院	11件	7件	9件	4件	44.4%	D	15件
こども医療センター	30件	26件	32件	29件	90.6%	B	36件
精神医療センター	6件	6件	4件	4件	100.0%	A	4件
がんセンター	77件	92件	80件	99件	123.8%	S	100件
循環器呼吸器病センター	57件	57件	55件	53件	96.4%	A	50件
計	181件	188件	180件	189件	105.0%	A	205件

[目標値] 治験受託金額

病院名	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度			
			目標値	実績値	達成率	評価
足柄上病院	78万円	6万円	50万円	34万円	68.0%	C
こども医療センター	4,465万円	5,046万円	4,500万円	5,228万円	116.2%	S
精神医療センター	274万円	229万円	50万円	56万円	112.0%	S
がんセンター	23,724万円	22,247万円	26,000万円	29,460万円	113.3%	S
循環器呼吸器病センター	9,377万円	11,632万円	11,800万円	13,395万円	113.5%	S
計	37,918万円	39,160万円	42,400万円	48,173万円	113.6%	S

小項目 1 1 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	<p>2 医療機器等の計画的な整備の推進</p> <p>県立病院が、高度・専門医療の提供や、各病院が目指す医療を実現するために必要な医療機器を計画的に整備すること。なお、整備に当たっては、調達コストの抑制に努めるとともに、費用対効果などを勘案して取り組むこと。</p>

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第2</p> <p>2 医療機器等の計画的な整備の推進</p> <p>高度・専門医療の提供や医学の進歩に合わせた医療を実現するため、機器の整備・更新及び施設の整備・改修を計画的に進める。</p>	<p>第1</p> <p>2 医療機器等の計画的な整備の推進</p> <p>高度・専門医療の提供や医学の進歩に合わせた医療を実現するため、採算性や現有医療機器の稼働状況を検証し、効果的な医療機器の導入を進めるとともに、施設の整備・改修を行う。</p>	<p>・平成27年度に通年稼働した医療機器について、採算性や稼働状況を経営会議において検証した。また、より効果的に導入するため、医療機器を整備・評価を行う会議を設置する準備を進めた。</p> <p>・平成28年度に導入した主な高額医療機器は次のとおり。</p> <p>[足柄上病院] 医用画像管理システム F P D搭載 X線撮影装置システム 高圧蒸気滅菌装置及び超音波洗浄装置</p> <p>[こども医療センター] 超伝導磁気共鳴画像診断撮像システム 全自動細菌検査システム</p> <p>[がんセンター] 重粒子線治療装置に係るスキャニング法及び内部呼吸同期装置</p> <p>[循環器呼吸器病センター] 超音波診断装置</p> <p>・平成28年度に実施した施設整備・改修は次のとおり。</p> <p>[こども医療センター] 周産期棟真空遮断器等更新工事 第三駐車場下大擁壁改築工事</p> <p>[精神医療センター] 院内保育施設新築工事</p> <p>[循環器呼吸器病センター] エレベーター制御方式変更工事 自動火災報知設備受信機更新工事 空調設備中央監視装置更新工事</p>	実績に対する評価	A		
			課題			
			<p>・引き続き採算性や稼働状況を検証し、効果的な導入に努める必要がある。</p>			

小項目12 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	3 医療機関等との機能分化・連携強化

国の社会保障制度改革において、病院・病床機能の分化、在宅医療の推進などの方向性が示されていることから、各病院の退院支援など、患者支援体制の充実、研修会の開催などにより地域の医療機関や福祉施設との連携を強化し、在宅医療を提供する関係機関の支援に取り組むこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																									
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																									
第2 3 医療機関等との機能分化・連携強化の推進 ・地域における中核医療機関又は高度・専門医療機関として効率的に医療を提供するため、他の医療機関や施設との連携を強化する。 ・足柄上病院は、退院患者が在宅療養へ円滑に移行できるよう、市町など関係機関と連携しながら、他の医療機関や在宅療養を支援する機関と患者の情報を共有できるネットワークを構築する。	第1 3 医療機関等との機能分化・連携強化の推進 (1) 全体計画 地域医療機関等との連携を強化するため、地域包括ケアや在宅医療ケア及び啓発活動等の取組みを推進する。 (2) 個別計画 ア 足柄上病院 ・在宅療養を支える関係機関との連携を図るため、在宅診療向けの情報システムを使い、市町や足柄上医師会、かかりつけ医及び訪問看護ステーション等と診療情報の共有を進める。 ・在宅後方支援病院として、退院後、早期にかかりつけ医と一緒に訪問診療を行い、在宅療養への円滑な移行を支援する。 ・在宅療養に向けた医療やリハビリテーションを行う病棟の準備、開設に取り組む。	・各病院において、地域医療機関への訪問や研究会・勉強会を実施することにより、地域医療機関との連携強化を図った。 ・神奈川県立病院地域医療連携担当者会議を年4回開催し、地域連携における課題・対応方法など情報を共有した。 [足柄上病院] ・退院患者の在宅療養を支援するため、療養中の患者の状況について、医療・介護連携ソフトを使い、かかりつけ医や訪問看護ステーションと情報共有を図った。 また、訪問診療を110件実施した。 ・地域医療機関との連携強化を図るため、足柄上病院との臨床研究会を3回開催した。 また、地域医療機関や福祉施設等の関係機関を45件訪問し、紹介率・逆紹介率の向上に努めた。 ・病棟の一つを地域包括ケア病棟に転換し、在宅療養に向けた医療やリハビリテーションに取り組んだ。	実績に対する評価 ・各病院において、積極的に医療連携に取り組み、多くの紹介患者を受け入れることができています。 ・年度計画を達成している。 ※県立病院機構全体としては、目標値を達成していることから、「計」の実績値をもって本小項目の自己評価とした。	A																																																																																																																										
			[目標値] 紹介・逆紹介件数			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">病院名</th> <th colspan="2">平成26年度実績</th> <th colspan="2">平成27年度実績</th> <th colspan="6">平成28年度</th> <th rowspan="3">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th colspan="2">紹介件数</th> <th colspan="2">紹介件数</th> <th colspan="2">目標値</th> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">達成率</th> <th colspan="2">評価</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>紹介率</th> <th>件数</th> <th>紹介率</th> <th>件数</th> <th>紹介率</th> <th>件数</th> <th>紹介率</th> <th>件数</th> <th>紹介率</th> <th>件数</th> <th>紹介率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>8,277件</td> <td>45.1%</td> <td>8,386件</td> <td>49.0%</td> <td>8,200件</td> <td>50.0%</td> <td>8,066件</td> <td>50.3%</td> <td>98.4%</td> <td>100.6%</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>8,600件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>7,470件</td> <td>98.5%</td> <td>7,522件</td> <td>102.8%</td> <td>7,800件</td> <td>98.5%</td> <td>7,794件</td> <td>101.4%</td> <td>99.9%</td> <td>102.9%</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>8,000件</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>542件</td> <td>44.8%</td> <td>675件</td> <td>46.3%</td> <td>600件</td> <td>42.9%</td> <td>962件</td> <td>69.9%</td> <td>160.3%</td> <td>162.9%</td> <td>S</td> <td>S</td> <td>600件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>6,461件</td> <td>99.2%</td> <td>7,696件</td> <td>99.0%</td> <td>7,700件</td> <td>100.0%</td> <td>7,724件</td> <td>99.3%</td> <td>100.3%</td> <td>99.3%</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>10,000件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>4,328件</td> <td>71.7%</td> <td>4,370件</td> <td>68.8%</td> <td>4,600件</td> <td>71.9%</td> <td>4,521件</td> <td>76.8%</td> <td>98.3%</td> <td>106.8%</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>4,900件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27,078件</td> <td>-</td> <td>28,649件</td> <td>-</td> <td>28,900件</td> <td>-</td> <td>29,067件</td> <td>-</td> <td>100.6%</td> <td>-</td> <td>A</td> <td>-</td> <td>32,100件</td> </tr> </tbody> </table>				病院名	平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度						平成31年度目標値	紹介件数		紹介件数		目標値		実績値		達成率		評価		件数	紹介率	件数	紹介率	件数	紹介率	件数	紹介率	件数	紹介率	件数	紹介率	足柄上病院	8,277件	45.1%	8,386件	49.0%	8,200件	50.0%	8,066件	50.3%	98.4%	100.6%	A	A	8,600件	こども医療センター	7,470件	98.5%	7,522件	102.8%	7,800件	98.5%	7,794件	101.4%	99.9%	102.9%	A	A	8,000件	精神医療センター	542件	44.8%	675件	46.3%	600件	42.9%	962件	69.9%	160.3%	162.9%	S	S	600件	がんセンター	6,461件	99.2%	7,696件	99.0%	7,700件	100.0%	7,724件	99.3%	100.3%	99.3%	A	A	10,000件	循環器呼吸器病センター	4,328件	71.7%	4,370件	68.8%	4,600件	71.9%	4,521件	76.8%	98.3%	106.8%	A	A	4,900件	計	27,078件	-	28,649件	-	28,900件	-	29,067件	-	100.6%	-
病院名	平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度						平成31年度目標値																																																																																																																			
	紹介件数		紹介件数		目標値		実績値		達成率			評価																																																																																																																		
	件数	紹介率	件数	紹介率	件数	紹介率	件数	紹介率	件数	紹介率		件数	紹介率																																																																																																																	
足柄上病院	8,277件	45.1%	8,386件	49.0%	8,200件	50.0%	8,066件	50.3%	98.4%	100.6%	A	A	8,600件																																																																																																																	
こども医療センター	7,470件	98.5%	7,522件	102.8%	7,800件	98.5%	7,794件	101.4%	99.9%	102.9%	A	A	8,000件																																																																																																																	
精神医療センター	542件	44.8%	675件	46.3%	600件	42.9%	962件	69.9%	160.3%	162.9%	S	S	600件																																																																																																																	
がんセンター	6,461件	99.2%	7,696件	99.0%	7,700件	100.0%	7,724件	99.3%	100.3%	99.3%	A	A	10,000件																																																																																																																	
循環器呼吸器病センター	4,328件	71.7%	4,370件	68.8%	4,600件	71.9%	4,521件	76.8%	98.3%	106.8%	A	A	4,900件																																																																																																																	
計	27,078件	-	28,649件	-	28,900件	-	29,067件	-	100.6%	-	A	-	32,100件																																																																																																																	
[目標値] 逆紹介件数			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">病院名</th> <th colspan="2">平成26年度実績</th> <th colspan="2">平成27年度実績</th> <th colspan="6">平成28年度</th> <th rowspan="3">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th colspan="2">逆紹介件数</th> <th colspan="2">逆紹介件数</th> <th colspan="2">目標値</th> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">達成率</th> <th colspan="2">評価</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>逆紹介率</th> <th>件数</th> <th>逆紹介率</th> <th>件数</th> <th>逆紹介率</th> <th>件数</th> <th>逆紹介率</th> <th>件数</th> <th>逆紹介率</th> <th>件数</th> <th>逆紹介率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4,497件</td> <td>26.7%</td> <td>4,749件</td> <td>30.6%</td> <td>4,600件</td> <td>30.0%</td> <td>4,836件</td> <td>34.2%</td> <td>105.1%</td> <td>114.0%</td> <td>A</td> <td>S</td> <td>4,800件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>5,622件</td> <td>72.3%</td> <td>5,490件</td> <td>72.1%</td> <td>5,700件</td> <td>73.0%</td> <td>6,039件</td> <td>76.1%</td> <td>105.9%</td> <td>104.2%</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>5,600件</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>521件</td> <td>42.5%</td> <td>555件</td> <td>35.3%</td> <td>600件</td> <td>42.9%</td> <td>677件</td> <td>49.2%</td> <td>112.8%</td> <td>114.7%</td> <td>S</td> <td>S</td> <td>600件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>3,076件</td> <td>40.2%</td> <td>3,334件</td> <td>42.9%</td> <td>4,200件</td> <td>55.0%</td> <td>4,335件</td> <td>55.7%</td> <td>103.2%</td> <td>101.3%</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>7,200件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>4,232件</td> <td>70.1%</td> <td>4,855件</td> <td>76.1%</td> <td>4,500件</td> <td>70.3%</td> <td>4,640件</td> <td>81.6%</td> <td>103.1%</td> <td>116.1%</td> <td>A</td> <td>S</td> <td>4,200件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17,948件</td> <td>-</td> <td>18,983件</td> <td>-</td> <td>19,600件</td> <td>-</td> <td>20,527件</td> <td>-</td> <td>104.7%</td> <td>-</td> <td>A</td> <td>-</td> <td>22,400件</td> </tr> </tbody> </table>				病院名	平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度						平成31年度目標値	逆紹介件数		逆紹介件数		目標値		実績値		達成率		評価		件数	逆紹介率	件数	逆紹介率	件数	逆紹介率	件数	逆紹介率	件数	逆紹介率	件数	逆紹介率	足柄上病院	4,497件	26.7%	4,749件	30.6%	4,600件	30.0%	4,836件	34.2%	105.1%	114.0%	A	S	4,800件	こども医療センター	5,622件	72.3%	5,490件	72.1%	5,700件	73.0%	6,039件	76.1%	105.9%	104.2%	A	A	5,600件	精神医療センター	521件	42.5%	555件	35.3%	600件	42.9%	677件	49.2%	112.8%	114.7%	S	S	600件	がんセンター	3,076件	40.2%	3,334件	42.9%	4,200件	55.0%	4,335件	55.7%	103.2%	101.3%	A	A	7,200件	循環器呼吸器病センター	4,232件	70.1%	4,855件	76.1%	4,500件	70.3%	4,640件	81.6%	103.1%	116.1%	A	S	4,200件	計	17,948件	-	18,983件	-	19,600件	-	20,527件	-	104.7%	-	A	-	22,400件
病院名	平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度						平成31年度目標値																																																																																																																			
	逆紹介件数		逆紹介件数		目標値			実績値		達成率		評価																																																																																																																		
	件数	逆紹介率	件数	逆紹介率	件数	逆紹介率	件数	逆紹介率	件数	逆紹介率		件数	逆紹介率																																																																																																																	
足柄上病院	4,497件	26.7%	4,749件	30.6%	4,600件	30.0%	4,836件	34.2%	105.1%	114.0%	A	S	4,800件																																																																																																																	
こども医療センター	5,622件	72.3%	5,490件	72.1%	5,700件	73.0%	6,039件	76.1%	105.9%	104.2%	A	A	5,600件																																																																																																																	
精神医療センター	521件	42.5%	555件	35.3%	600件	42.9%	677件	49.2%	112.8%	114.7%	S	S	600件																																																																																																																	
がんセンター	3,076件	40.2%	3,334件	42.9%	4,200件	55.0%	4,335件	55.7%	103.2%	101.3%	A	A	7,200件																																																																																																																	
循環器呼吸器病センター	4,232件	70.1%	4,855件	76.1%	4,500件	70.3%	4,640件	81.6%	103.1%	116.1%	A	S	4,200件																																																																																																																	
計	17,948件	-	18,983件	-	19,600件	-	20,527件	-	104.7%	-	A	-	22,400件																																																																																																																	

・こども医療センターは、在宅医療部門の拡大など、地域医療機関との連携を強化する。

イ こども医療センター

・診療所との連携を強化するために診療所で扱うことの多い疾患に関する勉強会を開催するほか、医療機関訪問を通じ、意見交換等を行う。

・訪問看護ステーションの看護師に対し、退院が近い患者へのケアの手法を指導するほか、退院初期訪問時に同行する「退院後訪問看護」を緩和ケアの患者も対象として実施する。

・在宅医療ケアに係る相談対応、県内全小児対応訪問看護ステーションを対象とした医療ケア実技研修会の開催等、在宅医療の支援に取り組む。

・地域連携システムを活用し、オンラインによる紹介状の收受や診療予約の受付などを実施するほか、地域医療機関との診療情報の共有化を図り、在宅医療への移行、成人への移行期医療の対応を積極的に推進していく。

ウ 精神医療センター

多職種チームの体制を整備し、地域の要請に対するアウトリーチや退院前訪問による療養生活指導など、患者の社会復帰に向けた取組みを推進する。また、地域との連携を強化し、患者増を図るため、地域連携室を設置するとともに、専門病棟見学会や医療機関訪問などを実施する。

・精神医療センターは、多職種チームの体制を整備し、地域の要請に対するアウトリーチや退院前訪問による療養生活指導など、患者の社会復帰に向けた取組みを推進する。

[こども医療センター]

・地域医療支援病院として、診療所を含めた医療機関に対して、連携強化に向けた勉強会を3回開催したほか、6件の医療機関を訪問し、意見交換等を行うなど、地域医療連携登録の促進を図ったところ、登録医療機関は662機関に拡大した。

・在宅医療を推進するため、地域医療機関の医師及び診療所の医師との連携カンファレンスを1回、地域の小児在宅医療に関わる支援者（看護師等）を対象とした医療ケア実技研修会を5回、支援者交流会を1回開催した。

また、訪問看護師の初回訪問に同行する退院後訪問看護を緩和ケア5件を含み17件行い、医療ケアの継続のための引継ぎを行った。訪問医の同行については、2件行うことができた。

・退院在宅医療支援室において、在宅医療や退院支援に関わる院内外の相談など5,233件（うち院外1,542件）に対応し、医療ケアに関する質問に対する回答や医療機関の紹介等を行い、在宅医療の支援に努めた。

・新患患者の速やかな受入れのため、紹介状の受領から受診日の調整までの期間を最短とするよう医師、事務職員との連携を密にし、患者への速やかな受診案内につながった。

・診療情報等の効率的な共有による連携の強化や、紹介・逆紹介手続きの効率化を目的とするICTを活用した地域医療連携システムについては、より円滑な運用ができるよう院内調整を進めた。

[精神医療センター]

・訪問看護を平成27年度より137件多い2,352件実施するなど地域の要請に対するアウトリーチに取り組んだほか、退院前訪問を40件実施し、自宅へ戻るため、あるいは施設入所に向けた療養生活指導を行い、患者の社会復帰に向けた取組みを推進した。

・4月に医師、看護師、精神保健福祉士、事務職員といった多職種で構成される地域医療連携室を設置し、患者、家族が安心して医療が受けられるよう地域との連携に努めたほか、地域医療機関向けに平成27年度より1回多い4回の専門病棟見学会の開催、医療機関訪問などを通じ、患者増を図った。また、これらの取組みなどの効果で紹介件数、紹介率、逆紹介件数、逆紹介率が、いずれも目標値、前年度実績値を上回った。

課題

・県立病院機構全体としては目標値を達成したものの、目標値に届かなかった病院もあることから、引き続き地域医療機関との連携に努める。
・さらに今後、逆紹介率を高める必要がある。

・がんセンターは、緩和ケアを中心とした医療提供体制を充実するため、連携病床の活用や研修会等の開催により、地域医療機関などとの連携を強化する。

・循環器呼吸器病センターは、在宅療養を支援する医療機関などとの連携を強化するため、訪問活動や事例検討会等を実施するとともに、医療機器の共同利用を推進する。

エ がんセンター

・緩和ケアセンターにおいて、地域の医療従事者向けの研修会や医療機関との協働カンファレンスを積極的に開催し、地域の緩和ケア提供体制の充実に努める。

・院内における逆紹介の仕組み作りに取り組むとともに、地域医療機関との連携を強化し、逆紹介件数の増加を図る。

オ 循環器呼吸器病センター

・地域との連携を強化するため、在宅療養を支援する医療機関や訪問看護ステーション等との事例検討会を積極的に開催するとともに、横浜市が進める在宅医療連携拠点事業に協力し、地域における在宅療養の支援に取り組む。

・院内及び地域医療機関の看護師等を対象とする「慢性呼吸器疾患看護専門研修」を新たに立ち上げ、専門的なケアができる看護師を広く育成する。

[がんセンター]

・都道府県がん診療連携拠点病院のがん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした様々な研修を実施し、がん診療の質の向上及び地域の医療機関の連携強化を引き続き図った。

・乳腺外科、呼吸器外科、婦人科の逆紹介のしくみを患者支援センターと診療科が協働して取り組み、システムの逆紹介を推進している。他の診療科についても科の状況に応じて連携して取り組みを始めている。

[循環器呼吸器病センター]

・医療機関や訪問看護ステーション等との事例検討会を3回行った（外部参加者12人）ほか、横浜市の在宅医療連携拠点事業として金沢区、南区などが主催する勉強会に参加すること等により地域医療機関等との連携を深めた。

また、診療所や訪問看護ステーションを対象とした学習会を17回開催（参加者延べ122人）し、地域における在宅療養の支援を行った。

・地域医療機関との機能分化を踏まえ、緊密な連携を図ることを目的として、地域医療連携協定を10月に横浜市金沢区及び磯子区に所在する5病院と締結した。

・患者と家族が望む医療と療養生活を支援できる看護実践能力を向上させるため、「慢性呼吸器疾患看護専門研修」を開始し、地域医療機関から看護師14人の参加があった。

小項目 1 3 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	4 ICTを活用した医療連携 ICTを活用し、県立病院機構の情報の一元化を検討すること。また、がん登録など、様々な医療情報の収集及び発信により、医療機関相互の連携強化に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
第2 4 ICTを活用した医療連携 ・足柄上病院に電子カルテシステムを導入するとともに、患者や県民の利便性を考慮した診療情報の一元化について検討する。 ・他医療機関と連携した医療情報の収集や情報提供に積極的に取り組むことなどにより、がん登録事業をはじめとした神奈川県医療施策に対応した事業を推進する。	第1 4 ICTを活用した医療連携 (1) 全体計画 患者の利便性向上を目指し、神奈川県が行う医療施策に協力する。 (2) 個別計画 ア 足柄上病院 電子カルテシステムを導入する。 イ こども医療センター ICTを活用し、オンラインによる紹介状の收受や診療予約の受付などを実施するほか、地域医療機関との診療情報の共有化を図り、在宅医療への移行、成人への移行期医療の対応を積極的に推進していく。 ウ がんセンター 全国に先駆けて実施している地域がん登録に加え、全国がん登録を着実に実施し、がん医療の質の向上に貢献するとともに、県民に対して適切な医療情報の提供を行う。	・患者の利便性やサービスの向上、また、職員の業務改善など県立病院機構全体のICTに関連した取り組みを検討するため、本部にワーキンググループを設置した。 [足柄上病院] ・電子カルテシステムの平成28年度導入をめざしてプロポーザルを実施し契約事業者を選考したが、その後、契約候補者が資格要件を満たさなくなったため、導入時期を延期した。 [こども医療センター] ・診療情報等の効率的な共有による連携の強化や、紹介・逆紹介手続きの効率化を目的とするICTを活用した地域医療連携システムについては、より円滑な運用ができるよう院内調整を進めた。 [がんセンター] ・これまでの地域がん登録事業のほかに、平成28年1月の「がん登録等の推進に関する法律」の施行に合わせ県の新たな全国がん登録事業が開始した。登録データの新たな活用を図るための体制構築を進めるなど、医療施策に対応した。	実績に対する評価 ・各病院において、ICTを活用した医療連携に取り組むことができている。 ・年度計画を達成している。	A		
			課題 ・引き続き患者の利便性やサービスの向上を目指した取り組みを進めていく必要がある			

	<p>エ 循環器呼吸器病センター 電子カルテシステムを活用した紹介患者の拡大と患者情報の共有化などの地域医療機関との連携に関し、連携医療機関との意見交換を行い、診療情報の提供範囲などの具体的な実施に向けた検討を行う。</p>	<p>[循環器呼吸器病センター] ・地域の医療機関との情報共有を推進するため、新たに10月から地域医療連携ネットワークシステム「じゅんこネット」を構築し、患者情報（画像・レポート）の共有化を図った。</p> <p>[精神医療センター] ・電子カルテシステムへの日常の入力内容がそのままデータ収集されるシステムを通じ、国立精神・神経医療研究センターの「精神科入院医療の見える化研究（PECO）」が開始以来、参加し、抗精神病薬の処方量、隔離拘束時間など23指標について全国平均との比較検討が可能となった。</p>				
--	--	--	--	--	--	--

小項目 1 4 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	5 安全で安心な医療の提供 (1) 災害対応力の充実強化 災害発生時に備えて、医薬品や食料を備蓄し、建物などの定期的な点検を行うとともに、災害時にも継続的に医療を提供するための体制を整備すること。 また、大規模な災害が発生した場合は、足柄上病院（災害拠点病院、神奈川DMA T指定病院）はもとより、各病院は医療救護活動などの対応を迅速かつ適切に行うこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																															
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																															
第2 5 安全で安心な医療の提供 (1) 災害対応力の充実強化 ・災害発生に備え、医薬品等の備蓄や設備・建物の定期的な点検を行う。 ・災害発生時においても継続的に医療を提供するための体制を整備する。 ・大規模災害発生時には、各病院において状況に応じた医療救護活動等を迅速かつ適切に行うとともに、足柄上病院は災害拠点病院及び神奈川DMA T指定病院としての体制を整備する。	第1 5 安全で安心な医療の提供 (1) 災害対応力の充実強化 ア 全体計画 ・災害発生時等に各病院が病院機能を維持できるよう医薬品・災害用医療資材等を備蓄するとともに、施設の点検及び更新並びに定期的な防災訓練等を実施する。 ・神奈川県における災害対策基本法等に規定する指定地方公共機関として、災害時には、神奈川県医療救護計画に基づく県立病院救護班を編成し、被災地等へ派遣する。 イ 個別計画 (ア) 足柄上病院 ・神奈川DMA T指定病院として、大規模災害が発生した場合には、速やかに足柄上病院DMA Tを被災地に派遣し、医療支援活動を行う。 ・県西地域医療圏における災害医療拠点病院として、災害時を想定した患者の受入訓練等を実施する。	・各病院において、災害発生時に備え医薬品等の備蓄を行うとともに、非常事態を想定し、防災訓練を実施した。 ・平成28年4月に発生した熊本地震では、現地へ医療チームを派遣し、被災者に対する検査・診察・治療などを行った。 <医療救護班> 足柄上病院 4/25～4/28 医師等5人派遣 <かながわDPA T> 精神医療センター 4/22～4/26 医師等5人派遣 こども医療センター 4/26～5/2 医師等5人派遣 [足柄上病院] ・院内では、消火訓練、避難訓練のほか、災害時対応の強化を図るためトリアージ訓練を実施した。 ・9月のビッグレスキューかながわ(県・横須賀市合同防災訓練)での医療救護活動訓練やDMA Tチーム研修に参加し、他の医療機関チームと連携して実践訓練に取り組み、災害時の救急医療体制の強化に努めた。	実績に対する評価 ・各病院において、災害発生時に備えた体制が整備されている。 ・熊本地震等の大規模災害発生時に、医療救護班やDPA Tの派遣、医師や臨床心理士の派遣を行い、求められる役割を果たした。 ・年度計画を達成している。 ※県立病院機構全体としては、目標値を達成していることから、「計」の実績値をもって本小項目の自己評価とした。	A																																																																																																
			【目標値】防災訓練 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="4">回数</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>平成26年度実績</th> <th>平成27年度実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4回</td> <td>5回</td> <td>6回</td> <td>5回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>4回</td> <td>3回</td> <td>7回</td> <td>7回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>3回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>5回</td> <td>4回</td> <td>3回</td> <td>5回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18回</td> <td>16回</td> <td>20回</td> <td>22回</td> <td>15回</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="5">参加者数</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>平成26年度実績</th> <th>平成27年度実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>228人</td> <td>267人</td> <td>350人(480人)</td> <td>329人</td> <td>94.0%</td> <td>350人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>330人</td> <td>361人</td> <td>500人(840人)</td> <td>410人</td> <td>82.0%</td> <td>700人</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>296人</td> <td>618人</td> <td>350人(350人)</td> <td>530人</td> <td>151.4%</td> <td>500人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>467人</td> <td>485人</td> <td>650人(650人)</td> <td>476人</td> <td>73.2%</td> <td>1,000人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>180人</td> <td>240人</td> <td>210人(295人)</td> <td>313人</td> <td>149.0%</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,501人</td> <td>1,971人</td> <td>2,060人(2,615人)</td> <td>2,058人</td> <td>99.9%</td> <td>2,850人</td> </tr> </tbody> </table> ※目標値の()内は訓練の対象者数	病院名	回数				平成31年度目標値	平成26年度実績	平成27年度実績	目標値	実績	足柄上病院	4回	5回	6回	5回	4回	こども医療センター	4回	3回	7回	7回	3回	精神医療センター	3回	2回	2回	2回	2回	がんセンター	5回	4回	3回	5回	4回	循環器呼吸器病センター	2回	2回	2回	3回	2回	計	18回	16回	20回	22回	15回	病院名	参加者数					平成31年度目標値	平成26年度実績	平成27年度実績	目標値	実績	達成率	足柄上病院	228人	267人	350人(480人)	329人	94.0%	350人	こども医療センター	330人	361人	500人(840人)	410人	82.0%	700人	精神医療センター	296人	618人	350人(350人)	530人	151.4%	500人	がんセンター	467人	485人	650人(650人)	476人	73.2%	1,000人	循環器呼吸器病センター	180人	240人	210人(295人)	313人	149.0%	300人	計	1,501人	1,971人	2,060人(2,615人)
病院名	回数				平成31年度目標値																																																																																															
	平成26年度実績	平成27年度実績	目標値	実績																																																																																																
足柄上病院	4回	5回	6回	5回	4回																																																																																															
こども医療センター	4回	3回	7回	7回	3回																																																																																															
精神医療センター	3回	2回	2回	2回	2回																																																																																															
がんセンター	5回	4回	3回	5回	4回																																																																																															
循環器呼吸器病センター	2回	2回	2回	3回	2回																																																																																															
計	18回	16回	20回	22回	15回																																																																																															
病院名	参加者数					平成31年度目標値																																																																																														
	平成26年度実績	平成27年度実績	目標値	実績	達成率																																																																																															
足柄上病院	228人	267人	350人(480人)	329人	94.0%	350人																																																																																														
こども医療センター	330人	361人	500人(840人)	410人	82.0%	700人																																																																																														
精神医療センター	296人	618人	350人(350人)	530人	151.4%	500人																																																																																														
がんセンター	467人	485人	650人(650人)	476人	73.2%	1,000人																																																																																														
循環器呼吸器病センター	180人	240人	210人(295人)	313人	149.0%	300人																																																																																														
計	1,501人	1,971人	2,060人(2,615人)	2,058人	99.9%	2,850人																																																																																														

<p>・こども医療センター及び精神医療センターは、D P A T活動に対する協力を検討する。</p>	<p>(イ) こども医療センター 神奈川県が行うD P A Tの体制整備に協力していく。</p> <p>(ウ) 精神医療センター 神奈川県が行うD P A Tの体制整備に協力していく。</p>	<p>[こども医療センター・精神医療センター] ・平成28年4月に発災した熊本地震に対し、4月22日から5月2日の間、医師、看護師等10人を派遣し、かながわD P A Tの一員として活動を行った。</p> <p>[精神医療センター] ・医師、看護師等に「かながわD P A T研修」「D P A T先遣隊研修」を受講させ、県が行うD P A Tの体制整備に協力したほか、日本精神科病院協会が厚生労働省から受託しているD P A T事務局に職員を参画させた。</p> <p>・津久井やまゆり園で発生した殺傷事件では、職員のこころのケアに医師、臨床心理士を派遣するなど災害時の精神科医療に努めた。</p> <p>[がんセンター] ・大規模災害を想定した総合防災訓練や夜間時訓練に加え、新規採用者等を対象とした消火訓練、座学形式の講習会を実施し、すべての職員が基本的な防災に関する知識や技術を習得するよう努めた。</p> <p>[循環器呼吸器病センター] ・大規模災害を想定したeラーニングによる研修を実施するとともに、火災を想定した消防訓練、夜間想定訓練及び新規採用・転入職員を対象とした訓練を実施し、すべての職員が発災時の対応について知識や技術を習得するよう努めた。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>・災害発生時における病院機能の提供に向け、不断の取り組みを行うとともに、関係機関との連携強化を図っておく必要がある。</p>			
--	--	--	--	--	--	--

小項目 15 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	5 安全で安心な医療の提供 (2) 感染症医療体制の充実強化 結核やエイズまた、新型インフルエンザなどの新たな感染症の発生に備え、関係機関との連携強化を図り、感染症対策に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																							
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																							
第2 5 安全で安心な医療の提供 (2) 感染症医療体制の充実強化 新型インフルエンザなどの新たな感染症対策として、標準的な予防策及び発生時の初期対応を徹底し、関係機関との連携強化を図るとともに、各病院の機能及び特性を生かした取組みを推進する。	第1 5 安全で安心な医療の提供 (2) 感染症医療体制の充実強化 ・神奈川県立病院感染防止対策会議で、感染症対策に係る情報を共有するとともに、手指衛生の実践状況を調査し、その結果について比較及び分析を行い、改善を図る。 ・各病院において感染防止会議を開催し、院内感染防止マニュアルの見直しや感染防止対策の教育の徹底に努める。また、発生時の初期対応やアウトブレイク時の対応等を速やかに行う。 ・新型インフルエンザ等対策に関する業務計画に基づき訓練を実施し、見直し等を行う。 ・他の医療機関との連携を強化するため、感染防止対策に対する相互評価等を実施する。 ・医療関連感染症の発生を防止するため、感染対策チーム等によるサーベイランス活動に取り組み、具体的な対応策を検討する。 ・手術部位感染及び人工呼吸器関連肺炎等の発症リスクを減らす取組みを推進する。	・各病院において感染管理を担当する職員が出席する感染防止対策会議を開催し、情報共有に努めた。 ・各病院において、院内の感染対策会議、各種サーベイランス及び院内ラウンドを定期的実施したとともに、感染防止マニュアルの改訂について検討した。 ・院内の感染対策会議の成果を測定することについて検討を行った。 ・手指衛生についてサーベイランス及び調査教育等を実施し、職員の意識向上に努めた。 ・各病院において、職員に院内インフルエンザワクチンの接種などを実施し、院内感染の防止に努めた。 ・県等と連動し、新型インフルエンザ等対策に関する情報伝達訓練を実施した。 [足柄上病院・こども医療センター・がんセンター・循環器呼吸器病センター] ・手術部位感染について周術期における抗菌薬使用の見直しを行う等、発症リスクの低減に努めた。 ・感染防止対策に対する相互評価等を実施し、感染防止対策の質の向上に努めた。 [足柄上病院] ・地域の関係機関で構成する足柄上感染症対策会議(年2回)を開催し、発生時の対応等感染防止対策について情報共有を図った。 ・新型インフルエンザ対策として、小田原保健福祉事務所足柄上センター、他医療機関等と実動訓練を実施した。	実績に対する評価 S																																																																																																																									
			【目標値】 感染症防止院内研修 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="6">回数</th> </tr> <tr> <th>平成26年度実績</th> <th>平成27年度実績</th> <th colspan="3">平成28年度</th> <th>平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>21回</td> <td>26回</td> <td>20回</td> <td>27回</td> <td>135.0%</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>20回</td> <td>22回</td> <td>20回</td> <td>20回</td> <td>100.0%</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>4回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>5回</td> <td>166.7%</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>21回</td> <td>22回</td> <td>12回</td> <td>21回</td> <td>175.0%</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>14回</td> <td>19回</td> <td>12回</td> <td>15回</td> <td>125.0%</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>80回</td> <td>92回</td> <td>67回</td> <td>88回</td> <td>131.3%</td> <td>S</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="6">参加者数</th> </tr> <tr> <th>平成26年度実績</th> <th>平成27年度実績</th> <th colspan="3">平成28年度</th> <th>平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>793人</td> <td>1,295人</td> <td>760人(480人)</td> <td>1,444人</td> <td>190.0%</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>2,968人</td> <td>2,672人</td> <td>3,000人(840人)</td> <td>3,014人</td> <td>100.5%</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>761人</td> <td>742人</td> <td>800人(350人)</td> <td>869人</td> <td>108.6%</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>1,533人</td> <td>1,606人</td> <td>1,400人(650人)</td> <td>1,928人</td> <td>137.7%</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>1,019人</td> <td>1,134人</td> <td>1,140人(295人)</td> <td>1,145人</td> <td>100.4%</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,074人</td> <td>7,449人</td> <td>7,100人(2,615人)</td> <td>8,400人</td> <td>118.3%</td> <td>S</td> </tr> </tbody> </table> ※目標値の()内は研修の対象者数	病院名	回数						平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度			平成31年度目標値				目標値	実績	達成率	評価	足柄上病院	21回	26回	20回	27回	135.0%	S	こども医療センター	20回	22回	20回	20回	100.0%	A	精神医療センター	4回	3回	3回	5回	166.7%	S	がんセンター	21回	22回	12回	21回	175.0%	S	循環器呼吸器病センター	14回	19回	12回	15回	125.0%	S	計	80回	92回	67回	88回	131.3%	S	病院名	参加者数						平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度			平成31年度目標値				目標値	実績	達成率	評価	足柄上病院	793人	1,295人	760人(480人)	1,444人	190.0%	S	こども医療センター	2,968人	2,672人	3,000人(840人)	3,014人	100.5%	A	精神医療センター	761人	742人	800人(350人)	869人	108.6%	A	がんセンター	1,533人	1,606人	1,400人(650人)	1,928人	137.7%	S	循環器呼吸器病センター	1,019人	1,134人	1,140人(295人)	1,145人	100.4%	A	計	7,074人	7,449人	7,100人(2,615人)
病院名	回数																																																																																																																											
	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度			平成31年度目標値																																																																																																																						
			目標値	実績	達成率	評価																																																																																																																						
足柄上病院	21回	26回	20回	27回	135.0%	S																																																																																																																						
こども医療センター	20回	22回	20回	20回	100.0%	A																																																																																																																						
精神医療センター	4回	3回	3回	5回	166.7%	S																																																																																																																						
がんセンター	21回	22回	12回	21回	175.0%	S																																																																																																																						
循環器呼吸器病センター	14回	19回	12回	15回	125.0%	S																																																																																																																						
計	80回	92回	67回	88回	131.3%	S																																																																																																																						
病院名	参加者数																																																																																																																											
	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度			平成31年度目標値																																																																																																																						
			目標値	実績	達成率	評価																																																																																																																						
足柄上病院	793人	1,295人	760人(480人)	1,444人	190.0%	S																																																																																																																						
こども医療センター	2,968人	2,672人	3,000人(840人)	3,014人	100.5%	A																																																																																																																						
精神医療センター	761人	742人	800人(350人)	869人	108.6%	A																																																																																																																						
がんセンター	1,533人	1,606人	1,400人(650人)	1,928人	137.7%	S																																																																																																																						
循環器呼吸器病センター	1,019人	1,134人	1,140人(295人)	1,145人	100.4%	A																																																																																																																						
計	7,074人	7,449人	7,100人(2,615人)	8,400人	118.3%	S																																																																																																																						

		<p>[こども医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血管内留置カテーテル関連血流感染（BSI）については、在宅中心静脈カテーテル（在宅CV）装着患者の診療材料の見直しを行い発生防止に努めた。 ・人工呼吸器関連肺炎予防として、口腔ケアラウンドを定期的実施し、口腔内細菌の減少に努めた。 <p>[精神医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者に対し肺炎球菌ワクチン接種を行い、院内感染の防止に努めた。 <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器関連肺炎の発生リスクを減少する目的で口腔ケアのラウンドを実施した。 	<p style="text-align: center;">課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き感染防止対策会議及び各病院における感染対策会議等とおして、感染症医療体制の充実強化に努める。 		
--	--	--	--	--	--

小項目16 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	5 安全で安心な医療の提供 (3) 医療安全対策の強化 患者の安全を守り、患者が安心して医療を受けられるよう、医療安全対策（院内感染対策を含む）を推進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																												
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																												
第2 5 安全で安心な医療の提供 (3) 医療安全対策の強化 ・安全で安心な医療を提供するため、予測されない事態の発生時には迅速に対応し、状況分析や再発防止策を適切に行うなど、医療安全対策を強化する。 ・院内感染の発生予防及び拡大防止のため、発生状況の把握や感染源及び感染経路に応じた適切な対応を行う。	第1 5 安全で安心な医療の提供 (3) 医療安全対策の強化 ・医療事故の際に、迅速な報告・対応を実施するよう、病院の医療安全部門と医療メディエーターが協働して現状把握と評価を行い、医療安全対策会議において対策を検討する。 ・インシデント事例の積極的で迅速な報告を推進し、再発防止及び重大事故の未然防止に努める。 ・医療事故調査制度に対応したマニュアルを整備する。	・患者に高度の後遺症が残る可能性が生じた事例（レベル4）や、患者が死亡する事例（レベル5）については、6年連続で発生していない。 ・地方独立行政法人として自立した医療安全体制を整備するため、医療安全推進規程を整備し、医療安全推進会議を開催した。 ・医療安全対策ワーキンググループを開催し、各県立病院の事例報告や事故防止策を共有し検討したほか、医療メディエーター連絡協議会を定期的に開催した。 ・ヒヤリ・ハット事例及びアクシデントの公表に関する指針等を策定した。 [足柄上病院] ・持参薬管理体制の強化を図るため、入院の際の常用薬やお薬手帳の持参、持参薬の留意事項等を記載したリーフレットを作成し、配布することとした。 ・身体拘束による合併症防止を図るため、身体拘束を判断するためのフローチャートの作成や、身体拘束の記録用紙の見直しを行った。 [こども医療センター] ・手術部位間違い防止対策としての術前の手術部位側皮膚へのマーキング実施について、具体的な運用を検討し、マニュアルを整備するなど、アクシデント等の未然防止を図った。 ・アレルギー関連の事故防止対策として、アレルギー情報の電子カルテへの入力・更新を徹底し、電子カルテ内のアレルギー項目と問診票の内容を一致させると同時に、多職種でワーキングを立ち上げ、アレルギー問診票の必要項目を見直すなど、体制強化を図った。	実績に対する評価 ・各病院において、医療安全対策に積極的に取り組むことができてきている。 ・年度計画を大幅に上回って達成している。 ※県立病院機構全体としては、目標値を上回って達成していることから、「計」の実績値をもって本小項目の自己評価とした。		S																																																																																																																												
			[目標値] 医療安全に関する研修		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">回数</th> <th colspan="4">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>平成26年度実績</th> <th>平成27年度実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>28回</td> <td>20回</td> <td>16回</td> <td>20回</td> <td>125.0%</td> <td>S</td> <td>20回</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>3回</td> <td>4回 (15回)</td> <td>3回 (11回)</td> <td>6回 (14回)</td> <td>200.0%</td> <td>S</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>3回</td> <td>3回 (4回)</td> <td>3回 (4回)</td> <td>4回 (5回)</td> <td>133.3%</td> <td>S</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>7回</td> <td>13回</td> <td>6回</td> <td>24回</td> <td>400.0%</td> <td>S</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>14回</td> <td>23回</td> <td>24回</td> <td>25回</td> <td>104.2%</td> <td>A</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>55回</td> <td>63回 (75回)</td> <td>52回 (61回)</td> <td>79回 (88回)</td> <td>151.9% 144.3%</td> <td>S</td> <td>57回</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	回数		平成28年度				平成31年度目標値	平成26年度実績	平成27年度実績	目標値	実績	達成率	評価	足柄上病院	28回	20回	16回	20回	125.0%	S	20回	こども医療センター	3回	4回 (15回)	3回 (11回)	6回 (14回)	200.0%	S	4回	精神医療センター	3回	3回 (4回)	3回 (4回)	4回 (5回)	133.3%	S	3回	がんセンター	7回	13回	6回	24回	400.0%	S	6回	循環器呼吸器病センター	14回	23回	24回	25回	104.2%	A	24回	計	55回	63回 (75回)	52回 (61回)	79回 (88回)	151.9% 144.3%	S	57回	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">参加者数</th> <th colspan="4">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>平成26年度実績</th> <th>平成27年度実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>1,145人</td> <td>1,328人</td> <td>1,000人 (480人)</td> <td>1,168人</td> <td>116.8%</td> <td>S</td> <td>1,200人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>2,409人</td> <td>2,456人</td> <td>2,400人 (840人)</td> <td>2,635人</td> <td>109.8%</td> <td>A</td> <td>3,000人</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>730人</td> <td>747人</td> <td>800人 (350人)</td> <td>796人</td> <td>99.5%</td> <td>A</td> <td>800人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>1,153人</td> <td>2,134人</td> <td>1,600人 (650人)</td> <td>2,264人</td> <td>141.5%</td> <td>S</td> <td>1,600人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>1,115人</td> <td>1,416人</td> <td>1,440人 (295人)</td> <td>1,489人</td> <td>103.4%</td> <td>A</td> <td>1,500人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,552人</td> <td>8,081人</td> <td>7,240人 (2,615人)</td> <td>8,352人</td> <td>115.4%</td> <td>S</td> <td>8,100人</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	参加者数		平成28年度				平成31年度目標値	平成26年度実績	平成27年度実績	目標値	実績	達成率	評価	足柄上病院	1,145人	1,328人	1,000人 (480人)	1,168人	116.8%	S	1,200人	こども医療センター	2,409人	2,456人	2,400人 (840人)	2,635人	109.8%	A	3,000人	精神医療センター	730人	747人	800人 (350人)	796人	99.5%	A	800人	がんセンター	1,153人	2,134人	1,600人 (650人)	2,264人	141.5%	S	1,600人	循環器呼吸器病センター	1,115人	1,416人	1,440人 (295人)	1,489人	103.4%	A	1,500人	計	6,552人	8,081人	7,240人 (2,615人)	8,352人
病院名	回数		平成28年度					平成31年度目標値																																																																																																																									
	平成26年度実績	平成27年度実績	目標値	実績	達成率	評価																																																																																																																											
足柄上病院	28回	20回	16回	20回	125.0%	S	20回																																																																																																																										
こども医療センター	3回	4回 (15回)	3回 (11回)	6回 (14回)	200.0%	S	4回																																																																																																																										
精神医療センター	3回	3回 (4回)	3回 (4回)	4回 (5回)	133.3%	S	3回																																																																																																																										
がんセンター	7回	13回	6回	24回	400.0%	S	6回																																																																																																																										
循環器呼吸器病センター	14回	23回	24回	25回	104.2%	A	24回																																																																																																																										
計	55回	63回 (75回)	52回 (61回)	79回 (88回)	151.9% 144.3%	S	57回																																																																																																																										
病院名	参加者数		平成28年度				平成31年度目標値																																																																																																																										
	平成26年度実績	平成27年度実績	目標値	実績	達成率	評価																																																																																																																											
足柄上病院	1,145人	1,328人	1,000人 (480人)	1,168人	116.8%	S	1,200人																																																																																																																										
こども医療センター	2,409人	2,456人	2,400人 (840人)	2,635人	109.8%	A	3,000人																																																																																																																										
精神医療センター	730人	747人	800人 (350人)	796人	99.5%	A	800人																																																																																																																										
がんセンター	1,153人	2,134人	1,600人 (650人)	2,264人	141.5%	S	1,600人																																																																																																																										
循環器呼吸器病センター	1,115人	1,416人	1,440人 (295人)	1,489人	103.4%	A	1,500人																																																																																																																										
計	6,552人	8,081人	7,240人 (2,615人)	8,352人	115.4%	S	8,100人																																																																																																																										

(参考) [ヒヤリ・ハット事例、医療事故のレベル別報告件数の実績]

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ヒヤリ・ハット事例	0	1,403件	1,271件
	1	6,123件	6,053件
	2	867件	869件
	3a	95件	103件
医療事故	3b	10件	8件
	4	0件	0件
	5	0件	0件
計	8,498件	8,304件	8,518件

		<p>[精神医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各病棟の特性に合わせた転倒予防体操の取り入れ方を検討・実施し、転倒・転落予防のより一層の促進を図った。 ・全てのセクションの誰もが緊急時に速やかな対応ができるよう、物品や救急カート内の配置について院内統一のルールを整備した。 <p>[がんセンター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤関連のインシデント対策として、課題を抽出し、薬剤師による医療安全研修を実施した。更に医療安全管理者と薬剤師で院内ラウンドを行い、薬局から払い出された点滴類の管理や、受領の状況、点滴作成時のダブルチェック、麻薬管理状況の確認を徹底した。 ・様態急変時の対応を安全、スムーズなものにするため、救急カートの整備に取り組んだ。併せて救急カートの施錠の徹底を図るとともに、カート搭載の薬剤管理方法の変更を行うなど、体制強化を図った。 <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の医療機器に関するヒヤリ・ハット事例の分析を行い、研修会の開催や院内医療安全ニュースを作成するなど、職員の医療安全に対する注意喚起に努めた。 ・患者誤認防止強化月間を設定し、各リスクマネージャーが中心となり職員のモニタリングを行い患者誤認防止対策を強化した。 	<p style="text-align: center;">課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立病院機構全体として、目標値を達成しているが、引き続き医療安全対策の強化に努める必要がある。 ・県立病院機構の医療安全推進体制のもと、新たな医療事故調査制度に対応した医療事故対応マニュアルの改訂や、公表様式等の検討を進めていく必要がある。 		
--	--	---	---	--	--

小項目 17 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>6 患者や家族から信頼される病院に向けて</p> <p>(1) 患者サービスの向上と積極的な情報発信</p> <p>患者サービスの向上のために、研修などを通じた職員の接客能力の向上など、常に患者の視点でサービスを提供すること。</p> <p>また、県立病院の診療内容については、県民の理解を深めるようホームページや公開講座などを通じて積極的に情報発信すること。</p>
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第2</p> <p>6 患者や家族から信頼される病院に向けた取組みの推進</p> <p>(1) 患者サービスの向上と情報提供の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者及び家族等の立場に立ったサービスを提供するため、研修等を実施し、職員の接客能力の向上を図る。 ・多様な支払方法を推進することで、患者の利便性向上に努める。 ・診療や検査、手術までの待機日数の短縮に向けた取組みを進める。 ・外来診療待ち時間の短縮に努めるとともに、アメニティの向上による心理的負担感の軽減に取り組む。 ・県民の理解を深めるため、疾患・予防等に関する知識について、公開講座やホームページ、広報誌などを通じて積極的に情報発信を行う。 	<p>第1</p> <p>6 患者や家族から信頼される病院に向けた取組みの推進</p> <p>(1) 患者サービスの向上と情報提供の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者及び家族等の立場に立ったサービスを提供するため、新規採用職員等を対象に研修を実施し、職員の接客能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度当初に新規採用職員等を対象に、「働く姿勢と患者への接し方について」などをテーマとした研修を1回開催し308人が参加、職員の患者対応能力等の向上を図った。 ・事務職及び医療技術職の新規採用職員を対象に、7月にビジネスマナーの研修を行い、56人が参加した。 ・現業職員を対象に、「感じの良いコミュニケーションの取り方」を理解し、普段の業務に加えて職場外でのコミュニケーション向上を図ることを目的とした対話能力向上コミュニケーション研修を1回実施し、41人が参加した。 ・これらの研修を実施することで、患者及び家族等の立場に応じたサービスの提供に努めた。 	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の接客能力向上に係る研修を計画的に実施することができている。 ・年度計画を達成している。 	A		
			課題			
			<ul style="list-style-type: none"> ・患者及び家族等の立場に立ったサービスを提供するため、研修内容のさらなる充実を図るとともに、各職場において研修内容を実践し、OJTを行う必要がある。 			

小項目 18 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>6 患者や家族から信頼される病院に向けて</p> <p>(1) 患者サービスの向上と積極的な情報発信</p> <p>患者サービスの向上のために、研修などを通じた職員の接遇能力の向上など、常に患者の視点でサービスを提供すること。</p> <p>また、県立病院の診療内容については、県民の理解を深めるようホームページや公開講座などを通じて積極的に情報発信すること。</p>
------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第2</p> <p>6 患者や家族から信頼される病院に向けた取組みの推進</p> <p>(1) 患者サービスの向上と情報提供の充実</p> <p>・患者及び家族等の立場に立ったサービスを提供するため、研修等を実施し、職員の接遇能力の向上を図る。</p> <p>・多様な支払方法を推進することで、患者の利便性向上に努める。</p> <p>・診療や検査、手術までの待機日数の短縮に向けた取組みを進める。</p> <p>・外来診療待ち時間の短縮に努めるとともに、アメニティの向上による心理的負担感の軽減に取り組む。</p> <p>・県民の理解を深めるため、疾患・予防等に関する知識について、公開講座やホームページ、広報誌などを通じて積極的に情報発信を行う。</p>	<p>第1</p> <p>6 患者や家族から信頼される病院に向けた取組みの推進</p> <p>(1) 患者サービスの向上と情報提供の充実</p> <p>・各病院において待ち時間の実態調査を実施し、患者の負担を軽減する取組みを進める。</p> <p>・各部署が所管する業務内容の共有を図ることで、患者や家族からの相談や連絡に対し、迅速かつ適切な対応を行う。</p>	<p>・各病院において外来診療待ち時間の調査を実施した。また、患者の負担感を軽減するため、各病院の特性に合った取組みを実施した。</p> <p>[足柄上病院]</p> <p>・外来待合室に医療情報用ディスプレイやタッチパネルパソコンによる認知症スクリーニング用プログラム及び全自動血圧計を設置することなどにより、待ち時間の負担軽減を図った。</p> <p>・患者や家族からの相談や連絡について、各部門で対応するとともに、専従の医療メディエーターを配置した「患者さん相談室」でも相談や苦情を伺い、医療提供側と患者の相互理解に取り組んだ。</p> <p>[こども医療センター]</p> <p>・院外の調剤薬局における待ち時間短縮のため、患者が処方箋を調剤薬局へ送信できるようファックスを活用している。</p> <p>・患者の手術室入室後、家族にPHSを渡し、待ち時間に対する負担軽減を図っている。</p> <p>[精神医療センター]</p> <p>・外来待合に絵画展示やアート展示を行い、外来患者が待ち時間の負担を軽減させ、寛げる環境を整備した。</p> <p>[がんセンター]</p> <p>・外来待合スペース、ラウンジ等で、TV放送（文字放送）を開始し、待ち時間の環境改善を図った。</p> <p>・28日周期のサイクルメニューの充実と併せて、がん患者特有の症状で食べられない人に対し提供しているがん治療支援食「みなと応援食」の充実を図り、食べやすさ、栄養バランスに配慮した内容に変更した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・待ち時間の短縮はできなかったものの、各病院において負担軽減を図るための取組みを積極的に行うことができている。</p> <p>・年度計画を達成している。</p>	A		
			<p>課題</p> <p>・引き続き待ち時間短縮などの患者負担の軽減について取り組んでいく必要がある。</p>			

[循環器呼吸器病センター]

・身長等の計測で生じていた待ち時間について、先に対応可能な項目（医師による紹介状確認、検査依頼等）があれば先に行うよう、手順を改善した。

・会計の呼び出しの番号表示導入により、会計状況がわかりやすくなるとともに、患者のプライバシー確保に繋がった。

・不安を抱えた患者からの電話による問い合わせに対して、電話交換職員が院内スタッフとの連携に留意し、円滑な対応を行うよう努めた。

(参考) [外来診療待ち時間実績]

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
足柄上病院	60分程度	60分程度	60分程度
こども医療センター	20分程度	20分	32分
精神医療センター	20分程度	20分	30分
がんセンター	35分程度	40分	40分
循環器呼吸器病センター	45分程度	47分	48分

(参考) [クレジットカード、デビットカード、コンビニ収納利用件数の実績]

区分	クレジットカード			デビットカード			コンビニ収納		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
足柄上病院	6,959件	7,367件	8,227件	52件	31件	33件	854件	663件	679件
こども医療センター	11,202件	12,347件	11,866件	121件	79件	34件	1,572件	2,092件	2,175件
精神医療センター	2,028件	2,423件	3,363件	183件	182件	88件	1,200件	1,226件	1,506件
がんセンター	45,337件	52,097件	58,496件	2,554件	2,850件	2,816件	43件	78件	46件
循環器呼吸器病センター	13,105件	14,486件	15,411件	178件	213件	160件	48件	42件	8件
計	78,631件	88,720件	97,363件	3,088件	3,355件	3,131件	3,717件	4,101件	4,414件

区分	その他（現金など）			収納件数総計		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
足柄上病院	123,487件	125,384件	121,203件	131,352件	133,445件	130,142件
こども医療センター	51,746件	48,387件	39,522件	64,641件	62,905件	53,597件
精神医療センター	28,108件	34,499件	36,009件	31,519件	38,330件	40,966件
がんセンター	157,721件	161,731件	168,346件	205,655件	216,756件	229,704件
循環器呼吸器病センター	83,193件	83,095件	78,216件	96,524件	97,836件	93,795件
計	444,255件	453,096件	443,296件	529,691件	549,272件	548,204件

※請求額が0円のもの除外

小項目 19 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>6 患者や家族から信頼される病院に向けて</p> <p>(1) 患者サービスの向上と積極的な情報発信</p> <p>患者サービスの向上のために、研修などを通じた職員の接遇能力の向上など、常に患者の視点でサービスを提供すること。</p> <p>また、県立病院の診療内容については、県民の理解を深めるようホームページや公開講座などを通じて積極的に情報発信すること。</p>
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価		
			実績に対する評価	自己点数	評価点数	コメント	
<p>第2</p> <p>6 患者や家族から信頼される病院に向けた取組みの推進</p> <p>(1) 患者サービスの向上と情報提供の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者及び家族等の立場に立ったサービスを提供するため、研修等を実施し、職員の接遇能力の向上を図る。 ・多様な支払方法を推進することで、患者の利便性向上に努める。 ・診療や検査、手術までの待機日数の短縮に向けた取組みを進める。 ・外来診療待ち時間の短縮に努めるとともに、アメニティの向上による心理的負担感の軽減に取り組む。 ・県民の理解を深めるため、疾患・予防等に関する知識について、公開講座やホームページ、広報誌などを通じて積極的に情報発信を行う。 	<p>第1</p> <p>6 患者や家族から信頼される病院に向けた取組みの推進</p> <p>(1) 患者サービスの向上と情報提供の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各病院において公開講座やホームページ、広報誌による医療情報の提供など、県民に分かりやすい情報発信を幅広く行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各病院において、公開講座の開催や広報誌の発行、ホームページなどを通じ、県民に幅広い情報発信を行った。 <p>[足柄上病院]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開講座の開催(28回) 市町村との共催により、医学講座を2回、新たな取組みとして「未病講座」1回を開催した。 また、市町村や学校からの依頼による出前講座を10回、6回シリーズの糖尿病講演会、糖尿病患者等を対象とするランチ講習会4回を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の発行(8回) 病院情報誌「かけはし」を3回発行し、2,000部を配布した。 地域情報誌に医療レポートを5回掲載した。 <p>[こども医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開講座の開催(17回) 10月1日(土)に小児緩和ケアセミナーを開催し、緩和ケアの普及啓発のため、様々な視点からの緩和ケアについて講演会を行った。また、世界ホスピス緩和ケアデー(10月の第1土曜日)に合わせて、9月23日から10月7日の2週間、渡り廊下に緩和ケアや緩和ケアチームの紹介や活動等伝えるポスターを展示した。 <ul style="list-style-type: none"> ・県民に対し小児専門病院が有する知識・経験・専門性をわかりやすく説明するため「こどもの健康セミナー」を4回開催した。 	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各病院において県民に分かりやすい情報発信を幅広く行うことができている。 ・年度計画を達成している。 	A			
			課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、公開講座開催、広報誌の発行を行い情報発信を行っていく。 			
			(参考) [公開講座及び広報誌の実績]				
			平成27年		平成28年		
			公開講座開催回数	広報誌発行回数	公開講座開催回数	広報誌発行回数	
			足柄上病院	23回	8回	28回	8回
			こども医療センター	14回	9回	17回	9回
			精神医療センター	5回	3回	3回	3回
			がんセンター	6回	3回	5回	3回
			循環器呼吸器病センター	12回	6回	13回	7回
			計	60回	29回	66回	30回

・広報誌の発行（9回）
地域医療機関に向け当センターの診療内容等を紹介する「連携室だより」を3回各3,000部発行し、医療機関に配布するとともに、県民向けのポケット広報誌「こども医療通信」を4回各6,000部作成し、地域医療機関を通じ県民に適切な情報提供を行った。

[精神医療センター]

・公開講座の開催（3回）
「生きづらさと依存症～薬物、アルコール、ギャンブルからの回復～」などを開催した。

・広報誌の発行（3回）
「精神医療センターニュース」を3回、各1,000部を発行し、医療機関などに配布した。

・精神科看護の体験を希望する中高生を対象に見学会を実施したほか、県の主催する薬物乱用防止教室へ講師派遣を行うなどした。

[がんセンター]

・公開講座の開催（5回）
「市民公開講座」「科学技術週間講演会」「かながわサイエンスサマー」「ブラックジャックセミナー」「重粒子線について」など様々な年代層への公開講座を開催し、がんに対する医療の内容やがんセンターの施設の概要等について情報提供を行った。

・広報誌の発行（3回）
広報誌「がんセンターだより」年3回発行（各750部）し、医療機関等に配布した。

・重粒子線治療装置に対する海外からの見学希望者に対応するため、英語版パンフレットを作成し、施設の周知に向けた情報発信に努めた。

[循環器呼吸器病センター]

・公開講座の開催（13回）
専門病院としての特性を生かした公開講座等を13回開催した。

・広報誌の発行（7回）
診療実績や地域連携室の取組み等の紹介を行うため、「地域連携室だより」を発行（700部）し、医療機関等に配布した。
また、「肺がん包括診療センターだより」を年6回発行し、新たな抗がん剤や最新機種に更新したCT装置の紹介を行った。

小項目20 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	6 患者や家族から信頼される病院に向けて (2) 患者支援体制の充実 患者とその家族に対して入院から退院まで一貫した支援を行うなど、相談機能を充実すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																	
			自己点数	評価点数	コメント																																																																	
第2 6 患者や家族から信頼される病院に向けた取組みの推進 (2) 患者支援体制の充実 ・患者及び家族等が医療の内容を適切に理解し、安心して治療を選択できるように、インフォームドコンセントを徹底するとともに、治療や生活上の問題、また就労支援等の多様な相談に対応するなど、患者支援体制を充実する。 ・診療内容を標準化し、良質な医療を効率的に提供するため、地域医療機関も含めたクリニカルパスの拡大や見直しを行う。 ・医療者と患者間の対話を促進し、相互理解を深めて円滑な診療を推進するため、医療メディエーター専門職を配置する。	第1 6 患者や家族から信頼される病院に向けた取組みの推進 (2) 患者支援体制の充実 ア 全体計画 ・患者及び家族の医療内容の適切な理解及び選択に向け、インフォームドコンセントを推進するとともに、相談窓口や実施している取組内容の掲示場所を工夫するなど、相談支援体制を充実する。 ・各病院に配置する院内医療メディエーターにより、患者及び家族からの相談に対応する体制を強化するとともに、医療メディエーター連絡協議会における事例検討や研修などにより、相互の連携やスキルアップに努め、医療安全の充実強化を進める。	・高度専門病院に求められるセカンドオピニオンを積極的に受け入れた。 ・各病院において、インフォームドコンセントの徹底を周知した。 ・医療メディエーター連絡協議会を定期的に行い、各病院の事例報告や情報共有、事例分析によるスキルアップを図った。 ・医師・看護師・事務職等多職種を対象とした医療メディエーション研修を開催し、患者との対話推進の必要性につき理解を深めた。	実績に対する評価	A																																																																		
			・患者及び家族の医療内容の適切な理解を図るため、インフォームドコンセントの推進や相談支援体制の強化に取り組むことができている。 ・年度計画を達成している。 ※県立病院機構全体としては、目標値を達成していることから、「計」の実績値をもって本小項目の自己評価とした。																																																																			
			課題																																																																			
[目標値] セカンドオピニオン件数			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="4">平成28年度目標値</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>-</td> <td>2件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>52件</td> <td>50件</td> <td>50件</td> <td>56件</td> <td>112.0%</td> <td>S</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>5件</td> <td>22件</td> <td>10件</td> <td>14件</td> <td>140.0%</td> <td>S</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>818件</td> <td>898件</td> <td>870件</td> <td>892件</td> <td>102.5%</td> <td>A</td> <td>930件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>72件</td> <td>88件</td> <td>70件</td> <td>87件</td> <td>124.3%</td> <td>S</td> <td>60件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>947件</td> <td>1,058件</td> <td>1,000件</td> <td>1,049件</td> <td>104.9%</td> <td>A</td> <td>1,040件</td> </tr> </tbody> </table>				病院名	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度目標値				平成31年度目標値	目標値	実績	達成率	評価	足柄上病院	0件	0件	-	2件	-	-	-	こども医療センター	52件	50件	50件	56件	112.0%	S	40件	精神医療センター	5件	22件	10件	14件	140.0%	S	10件	がんセンター	818件	898件	870件	892件	102.5%	A	930件	循環器呼吸器病センター	72件	88件	70件	87件	124.3%	S	60件	計	947件	1,058件	1,000件	1,049件	104.9%	A	1,040件	・引き続き、医療内容の適切な理解及び選択を推進するために、勉強会の開催、医療メディエーションの充実を努めるとともに、セカンドオピニオンを積極的に推進していく必要がある。 ・インフォームドコンセントについては、医師以外の職種による支援体制を充実する必要がある。			
病院名	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度目標値							平成31年度目標値																																																												
			目標値	実績	達成率	評価																																																																
足柄上病院	0件	0件	-	2件	-	-	-																																																															
こども医療センター	52件	50件	50件	56件	112.0%	S	40件																																																															
精神医療センター	5件	22件	10件	14件	140.0%	S	10件																																																															
がんセンター	818件	898件	870件	892件	102.5%	A	930件																																																															
循環器呼吸器病センター	72件	88件	70件	87件	124.3%	S	60件																																																															
計	947件	1,058件	1,000件	1,049件	104.9%	A	1,040件																																																															
※足柄上病院については、目標値を設定していないため、評価としての実績合計からは除いている。																																																																						

イ 個別計画

(ア) こども医療センター

・小児がん拠点病院として、小児がん相談支援室を中心に在宅の患者の支援を強化するため、地域の医療・福祉・教育機関からの相談に対応するほか、小児がん家族の会などの開催を通じ、抱えている問題の早期把握に努め、相談支援を充実する。

・認定遺伝カウンセラー等を配置した「新しい命のためのサポートセンター」において、遺伝に係る心配・不安のある患者・家族、妊娠・出産・育児等に不安のある人に適切な遺伝情報や社会の支援体制を含む様々な心理的、社会的サポートを通して、当事者の自律的な意思決定を支援する。

(イ) がんセンター

・手術や抗がん剤等のがん治療に伴う外見上の変化に関する悩みや不安を持つ患者に対し、「アピアランスサポートセンター」を設置して専門的なケアを行い、患者のQOL※6の向上を図る。

・「リハビリテーションセンター」を設置し、がん患者のQOL向上や早期社会復帰へのサポートを積極的に行う。

・都道府県がん診療連携拠点病院として、がん相談支援センターにおける相談や、漢方相談、社会保険労務士及びハローワークと連携した就労支援などの相談支援を推進する。

(ウ) 循環器呼吸器病センター

間質性肺炎の患者、家族等を対象とした勉強会を開催し、病気や治療法等について知る機会を作るとともに、患者、家族等の交流や情報交換会等を行い、患者会の設立に向けた取組みを支援する。

[こども医療センター]

・小児がん相談については、小児がん支援室に配置した専従の相談支援員（小児看護専門看護師）が主に対応し、相談件数は院外からの29件を含み378件であった。

・小児がんの家族サロンや栄養サロンを定期的で開催し、治療中の社会制度について情報提供するとともに、食事の工夫等について話し合う場を設けるなど小児がんの抱える問題の解決に取り組んだ。

・「新しい命のためのサポートセンター」では、産婦人科、遺伝科などの医師や認定遺伝カウンセラーらが先天性の障がいや疾患に関する相談に応じ、心理的、社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援した。

遺伝カウンセリング外来	86家系
妊娠前外来	23家系
胎児相談外来	38家系
胎児心臓病外来	延べ267回

[がんセンター]

・「アピアランスサポートセンター」を設置して、手術やがん治療に伴う外見上の悩みや不安を持つ患者に対し、専任看護師と患者支援センター相談員が協働して個別相談等の専門的なケアを行った（支援件数延べ993件）。

・「リハビリテーションセンター」において、がん患者のQOL向上や早期社会復帰に向けたサポートを実施し、リハビリテーション治療を行っていた患者が緩和ケア病棟に転入院した後も必要なリハビリテーション治療を継続し、終末期におけるQOL向上に寄与した。

・患者支援センターにおいて、看護師又はソーシャルワーカーが、経済的問題や家庭環境に係る医療福祉問題などの多様な相談に対応したほか、就職支援ナビゲーター（ハローワークより派遣）や社会保険労務士による出張相談を開催し、長期療養者に対する就労支援を引続き実施した（相談件数9,183件）。

[循環器呼吸器病センター]

・「間質性肺炎/肺線維症勉強会」を開催し（参加者345人）、病気や治療法等について知る機会を作るとともに、患者会の設立に向けた準備会を開催し、患者と家族（19人）の参加があった。

		<p>[足柄上病院]</p> <ul style="list-style-type: none">・専従の医療コーディネーターを配置して、患者及び家族からの相談、意見、要望等に対応した。 <p>[精神医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none">・依存症治療拠点機関として、精神保健福祉士がアルコール、薬物、ギャンブル依存症に係る専門的な相談に対応するとともに、依存症家族会を開催し、患者や家族に対する支援を強化した。				
--	--	--	--	--	--	--

小項目 2 1 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 6 患者や家族から信頼される病院に向けて (2) 患者支援体制の充実 患者とその家族に対して入院から退院まで一貫した支援を行うなど、相談機能を充実すること。
------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																									
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																									
第2 6 患者や家族から信頼される病院に向けた取組みの推進 (2) 患者支援体制の充実 ・患者及び家族等が医療の内容を適切に理解し、安心して治療を選択できるように、インフォームドコンセントを徹底するとともに、治療や生活上の問題、また就労支援等の多様な相談に対応するなど、患者支援体制を充実する。 ・診療内容を標準化し、良質な医療を効率的に提供するため、地域医療機関も含めたクリニカルパスの拡大や見直しを行う。 ・医療者と患者間の対話を促進し、相互理解を深めて円滑な診療を推進するため、医療メディエーター専門職を配置する。	第1 6 患者や家族から信頼される病院に向けた取組みの推進 (2) 患者支援体制の充実 ア 全体計画 ・診療内容の標準化や、良質な医療を円滑に提供するため、地域連携及び院内クリニカルパスの作成及び見直しを行う。	・各病院において、クリニカルパスの新規作成及び更新を随時行った。 [足柄上病院] ・クリニカルパス検討会議を11回開催し、地域連携クリニカルパスは新規1件、院内クリニカルパスは新規5件を作成した。 [こども医療センター] ・院内クリニカルパスは、前年度と同じ91件であった。 ・腎臓内科の地域連携クリニカルパスの作成に向け、4件の診療所を訪問した。 [精神医療センター] ・地域連携クリニカルパスとして地域移行クリニカルパスを初めて作成した。 [がんセンター] ・クリニカルパス検討会議を11回開催し、新たに「腹腔鏡下子宮全摘出術」をはじめとして10件を作成した。 [循環器呼吸器病センター] ・間質性肺炎についての地域連携クリニカルパスを、地域医療機関と意見交換を行いながら作成し、2月から実施した。	実績に対する評価 ・地域連携クリニカルパスは、対応への強化を進めている段階である。 ・各病院において、診療内容の標準化等のために必要なクリニカルパスは整備されている。 ・年度計画を概ね達成している。 ※県立病院機構全体として、複数の目標値があることから、「計」の実績値のうち低い評価をもって本小項目の自己評価とした。	A																																																																																																																										
			[目標値] 地域連携クリニカルパス件数		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="4">平成28年度目標値</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>1件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>133.3%</td> <td>S</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0.0%</td> <td>D</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>100.0%</td> <td>A</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>6件</td> <td>7件</td> <td>9件</td> <td>10件</td> <td>111.1%</td> <td>A</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>100.0%</td> <td>A</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7件</td> <td>10件</td> <td>15件</td> <td>16件</td> <td>106.7%</td> <td>A</td> <td>17件</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度目標値				平成31年度目標値	目標値	実績値	達成率	評価	足柄上病院	1件	3件	3件	4件	133.3%	S	3件	こども医療センター	0件	0件	1件	0件	0.0%	D	-	精神医療センター	0件	0件	1件	1件	100.0%	A	1件	がんセンター	6件	7件	9件	10件	111.1%	A	10件	循環器呼吸器病センター	0件	0件	1件	1件	100.0%	A	3件	計	7件	10件	15件	16件	106.7%	A	17件																																																												
病院名	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度目標値							平成31年度目標値																																																																																																																				
			目標値	実績値	達成率	評価																																																																																																																								
足柄上病院	1件	3件	3件	4件	133.3%	S	3件																																																																																																																							
こども医療センター	0件	0件	1件	0件	0.0%	D	-																																																																																																																							
精神医療センター	0件	0件	1件	1件	100.0%	A	1件																																																																																																																							
がんセンター	6件	7件	9件	10件	111.1%	A	10件																																																																																																																							
循環器呼吸器病センター	0件	0件	1件	1件	100.0%	A	3件																																																																																																																							
計	7件	10件	15件	16件	106.7%	A	17件																																																																																																																							
			[目標値] 院内クリニカルパス件数		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">病院名</th> <th colspan="2">平成26年度実績</th> <th colspan="2">平成27年度実績</th> <th colspan="6">平成28年度</th> <th rowspan="3">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">目標値</th> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">達成率</th> <th colspan="2">評価</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>適用率</th> <th>件数</th> <th>適用率</th> <th>件数</th> <th>適用率</th> <th>件数</th> <th>適用率</th> <th>件数</th> <th>適用率</th> <th>件数</th> <th>適用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>76件</td> <td>-</td> <td>78件</td> <td>-</td> <td>65件</td> <td>-</td> <td>83件</td> <td>-</td> <td>127.7%</td> <td>-</td> <td>S</td> <td>-</td> <td>75件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>87件</td> <td>34.2%</td> <td>91件</td> <td>34.4%</td> <td>91件</td> <td>35.0%</td> <td>91件</td> <td>35.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>95件</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>9件</td> <td>11.8%</td> <td>4件</td> <td>10.7%</td> <td>5件</td> <td>14.0%</td> <td>4件</td> <td>16.6%</td> <td>80.0%</td> <td>118.6%</td> <td>B</td> <td>S</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>61件</td> <td>27.0%</td> <td>73件</td> <td>31.3%</td> <td>75件</td> <td>30.0%</td> <td>83件</td> <td>35.2%</td> <td>110.7%</td> <td>117.3%</td> <td>S</td> <td>S</td> <td>67件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>22件</td> <td>50.5%</td> <td>21件</td> <td>56.0%</td> <td>22件</td> <td>54.0%</td> <td>21件</td> <td>50.3%</td> <td>95.5%</td> <td>93.1%</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>255件</td> <td>-</td> <td>267件</td> <td>-</td> <td>258件</td> <td>-</td> <td>282件</td> <td>-</td> <td>109.3%</td> <td>-</td> <td>A</td> <td>-</td> <td>273件</td> </tr> </tbody> </table>		病院名	平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度						平成31年度目標値					目標値		実績値		達成率		評価		件数	適用率	件数	適用率	件数	適用率	件数	適用率	件数	適用率	件数	適用率	足柄上病院	76件	-	78件	-	65件	-	83件	-	127.7%	-	S	-	75件	こども医療センター	87件	34.2%	91件	34.4%	91件	35.0%	91件	35.0%	100.0%	100.0%	A	A	95件	精神医療センター	9件	11.8%	4件	10.7%	5件	14.0%	4件	16.6%	80.0%	118.6%	B	S	11件	がんセンター	61件	27.0%	73件	31.3%	75件	30.0%	83件	35.2%	110.7%	117.3%	S	S	67件	循環器呼吸器病センター	22件	50.5%	21件	56.0%	22件	54.0%	21件	50.3%	95.5%	93.1%	A	B	25件	計	255件	-	267件	-	258件	-	282件	-	109.3%	-	A	-	273件
病院名	平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度						平成31年度目標値																																																																																																																			
					目標値			実績値		達成率		評価																																																																																																																		
	件数	適用率	件数	適用率	件数	適用率	件数	適用率	件数	適用率		件数	適用率																																																																																																																	
足柄上病院	76件	-	78件	-	65件	-	83件	-	127.7%	-	S	-	75件																																																																																																																	
こども医療センター	87件	34.2%	91件	34.4%	91件	35.0%	91件	35.0%	100.0%	100.0%	A	A	95件																																																																																																																	
精神医療センター	9件	11.8%	4件	10.7%	5件	14.0%	4件	16.6%	80.0%	118.6%	B	S	11件																																																																																																																	
がんセンター	61件	27.0%	73件	31.3%	75件	30.0%	83件	35.2%	110.7%	117.3%	S	S	67件																																																																																																																	
循環器呼吸器病センター	22件	50.5%	21件	56.0%	22件	54.0%	21件	50.3%	95.5%	93.1%	A	B	25件																																																																																																																	
計	255件	-	267件	-	258件	-	282件	-	109.3%	-	A	-	273件																																																																																																																	

	<p>・地域の医療機関及び福祉施設で継続した医療・介護を必要とする患者に対し、退院後の療養が円滑に行われるよう、患者支援部門が入院時から介入し、適切な支援・指導を行う。</p>	<p>・地域医療機関等との連携を円滑に行うために、関係施設間の調整を通して在宅復帰支援の強化に努めた。</p> <p>[足柄上病院] ・入退院支援センターでは1,480件の面接を行い、入院中・退院後に向けた課題の把握に努めた。入院中は、多職種チーム医療で、治療と退院後の在宅療養に向けた機能回復に努めた。地域医療連携室では、在宅復帰が難しい方には受入れ先を調整し、在宅で療養を続ける方にはかかりつけ医や訪問看護等の調整を行った。</p> <p>[こども医療センター] ・退院調整看護師をはじめ多職種が連携して延べ572件の退院支援カンファレンスを行い、退院支援・退院調整に努めた。</p> <p>・地域関係機関との地域合同カンファレンスを訪問看護師の参加のもとで、75回行い、退院後の療養生活が円滑に行われるよう支援した。</p> <p>[精神医療センター] ・4月に設置した地域医療連携室などが中心となり、地域の医療機関や福祉施設と連携をとりつつ、職員の長期入院患者に係る意識調査を行うなど、長期入院患者の社会復帰支援に向け、患者に対する適切な支援・指導を行った。</p> <p>[循環器呼吸器病センター] ・退院支援計画書運用基準を見直し、より早期の退院支援に取り組むとともに、地域連携室と各病棟との定期的なカンファレンスを実施し、在宅復帰に向けた支援を強化した。</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>・診療内容の標準化や、良質な医療の円滑な提供を推進していくために、引き続き、積極的にクリニカルパスの導入及び見直しを進めていく必要がある。</p>			
--	--	--	---	--	--	--

小項目 2 2 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>7 職員にとって魅力ある病院づくり</p> <p>職員のやりがいを高め、職員がその能力を十二分に発揮できるよう、幅広いチーム医療体制の推進、風通しの良い職場づくりや組織の活性化に努めること。</p> <p>また、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した勤務形態を検討し、安全で効率的に働く環境の整備に努めること。</p> <p>こうした取組みを積極的に情報発信すること。</p>
------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																													
			自己点数	評価点数	コメント																																													
<p>第2</p> <p>7 職員にとって魅力ある病院に向けた取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種が連携、協働したチームによる業務改善などの取組みを推進するとともに、職員の意見を経営に反映させる仕組みづくりを検討する。 ・セクシャルハラスメントやパワーハラスメントの防止等を図るため、コンプライアンス体制を充実する。 ・ワーク・ライフ・バランスを取りやすい多様な勤務形態を導入する。 ・職員が働きやすい職場づくりに向けた取組みについて、ホームページ、メール等の発信方法を用いて情報を共有する。 <p>(参考) [QC活動発表件数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="2">平成28年度実績値</th> </tr> <tr> <th>院内</th> <th>全体</th> <th>院内</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部</td> <td>4件</td> <td>1件</td> <td>4件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>38件</td> <td>2件</td> <td>12件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>12件</td> <td>5件</td> <td>8件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>17件</td> <td>2件</td> <td>17件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>4件</td> <td>4件</td> <td>15件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>18件</td> <td>2件</td> <td>15件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>93件</td> <td>16件</td> <td>71件</td> <td>17件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成27年度実績値		平成28年度実績値		院内	全体	院内	全体	本部	4件	1件	4件	2件	足柄上病院	38件	2件	12件	2件	こども医療センター	12件	5件	8件	5件	精神医療センター	17件	2件	17件	2件	がんセンター	4件	4件	15件	4件	循環器呼吸器病センター	18件	2件	15件	2件	計	93件	16件	71件	17件	<p>第1</p> <p>7 職員にとって魅力ある病院に向けた取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム及び褥瘡対策チームなど多職種が連携、協働したチームによる患者支援や、業務改善の取組みを推進する。 ・職員の業務の運営に関する顕著な功績や推奨すべき業績に対し、発表会による審査を経た職員表彰を実施するとともに、職場単位での業務改善活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各病院において、多職種からなるチーム医療を推進した。また、多職種から構成される打ち合わせを定期的に行った。 ・職員の業務改善や研究成果などの優れた活動について、発表会形式により役員が審査を行い、受賞内容を決定するQC活動発表会及び表彰式を実施するとともに、平成27年度に最優秀賞及び優秀賞を受賞した取組みについての状況報告会を開催した。 <p>(最優秀賞)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来化学療法室における壊死性抗がん薬を含む点滴の血管確保の看護師実施への変更（がんセンター） <p>(優秀賞)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員ワクチンプログラムの検討ーデータ管理と効率化を目指した見直しー（こども医療センター） ・当センター緩和ケア病棟における歯科衛生士によるラウンドの試み（がんセンター） 	<p>実績に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各病院において、感染対策や栄養サポート等、多職種が連携したチーム医療を提供することができている。 ・職員の業務改善活動が活性化し、後押しする体制も整備されている。 ・年度計画を達成している。 	A		
		病院名	平成27年度実績値		平成28年度実績値																																													
	院内		全体	院内	全体																																													
本部	4件	1件	4件	2件																																														
足柄上病院	38件	2件	12件	2件																																														
こども医療センター	12件	5件	8件	5件																																														
精神医療センター	17件	2件	17件	2件																																														
がんセンター	4件	4件	15件	4件																																														
循環器呼吸器病センター	18件	2件	15件	2件																																														
計	93件	16件	71件	17件																																														
			<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、チーム医療を推進するとともに、QC発表会、表彰式及び状況報告会をはじめとした取組みを通じ、職員のやりがいを高め、能力を発揮できる仕組みづくりを検討していく必要がある。 																																															

小項目 2 3 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>7 職員にとって魅力ある病院づくり</p> <p>職員のやりがいを高め、職員がその能力を十二分に発揮できるよう、幅広いチーム医療体制の推進、風通しの良い職場づくりや組織の活性化に努めること。</p> <p>また、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した勤務形態を検討し、安全で効率的に働く環境の整備に努めること。</p> <p>こうした取組みを積極的に情報発信すること。</p>
------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																			
			自己点数	評価点数	コメント																			
<p>第2</p> <p>7 職員にとって魅力ある病院に向けた取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 多職種が連携、協働したチームによる業務改善などの取組みを推進するとともに、職員の意見を経営に反映させる仕組みづくりを検討する。 セクシャルハラスメントやパワーハラスメントの防止等を図るため、コンプライアンス体制を充実する。 ワーク・ライフ・バランスを取りやすい多様な勤務形態を導入する。 職員が働きやすい職場づくりに向けた取組みについて、ホームページ、メール等の発信方法を用いて情報を共有する。 	<p>第1</p> <p>7 職員にとって魅力ある病院に向けた取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月に本部に設置した監査・コンプライアンス室及び各所属に設置した相談窓口を中心として、コンプライアンスの徹底に努め、働きやすい職場づくりを推進する。 ワーク・ライフ・バランスを推進するために導入した、短時間正規職員制度の適切な運用に努め、制度の拡充を図る。また、夜間専従職員制度、時差出勤制度などの多様な勤務形態の導入について検討を行う。 職員が働きやすい職場づくりに向けた取組みについて、ホームページ、メール等により職員に周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> 監査・コンプライアンス室及び各所属の「よろず相談所」において、職員からの悩みや各種相談に応じる体制を確立し、健全で働きやすい環境づくりに努めた。 また、「コンプライアンスだより」を毎月発行し、職員のコンプライアンス意識の醸成を図った。 ワーク・ライフ・バランスの充実を目的に、平成28年4月から医師及び薬剤師を対象に導入した短時間正規職員制度の対象者を、平成29年度から全職種に拡大するための検討を行った。 新卒看護師の離職率は9.0%（11人）となり、目標値である5.0%は達成できなかったが、看護師2人がペアを組み複数の患者のケアを行うパートナーシップナーシングシステム（PNS）導入等の継続的な定着対策を行っており、定着対策の重要性を各施設において理解し、取り組んでいる。 職員の健康保持やワーク・ライフ・バランスの充実を目指し、年次休暇を積極的に取得するための一助として、所属対抗年休取得ラリーを実施した。 	実績に対する評価		D																			
			課題				<ul style="list-style-type: none"> 健全で働きやすい環境づくりの体制が整備されている。 新卒看護師の離職率が上がってしまったため、更に職員の定着対策に積極的に取り組むことが求められている。 年次休暇の取得率は前年度よりは改善したものの、目標を達成しなかったため、取得率を上げる対策の強化が求められている。 年度計画を大幅に下回っており大幅な改善が必要である。 <p>※目標値の評価を本小項目の自己評価とした。</p>																	
			課題					<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスを充実するため、引き続き多様な勤務形態のあり方に関する検討や年次有給休暇のさらなる取得を促進するため、実効性のある取組について所属横断的に検討を行う必要がある。 																
<p>[目標値] 新卒看護師の離職率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="4">平成28年度目標値</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新卒看護師の離職率</td> <td>11.0%</td> <td>5.6%</td> <td>5.0%</td> <td>9.0%</td> <td>55.6%</td> <td>D</td> <td>5.0%</td> </tr> </tbody> </table>		区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度目標値				平成31年度目標値	目標値	実績値	達成率	評価	新卒看護師の離職率	11.0%	5.6%	5.0%	9.0%	55.6%	D	5.0%			<p>[精神医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員にとって児童を安心して預けやすい保育環境を整備するため、防犯面にも配慮し、かつ、病院に近接した新しい院内保育施設を平成29年4月の完成に向け、整備を進めた。
区分	平成26年度実績値				平成27年度実績値	平成28年度目標値				平成31年度目標値														
		目標値	実績値	達成率		評価																		
新卒看護師の離職率	11.0%	5.6%	5.0%	9.0%	55.6%	D	5.0%																	
<p>[目標値] 職員1人当たりの年次休暇取得率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="4">平成28年度目標値</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員1人当たりの年次休暇取得率</td> <td>8.1日</td> <td>7.7日</td> <td>15日</td> <td>8.3日</td> <td>55.3%</td> <td>D</td> <td>15日</td> </tr> </tbody> </table>		区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度目標値				平成31年度目標値	目標値	実績値	達成率	評価	職員1人当たりの年次休暇取得率	8.1日	7.7日	15日	8.3日	55.3%	D	15日			
区分	平成26年度実績値				平成27年度実績値	平成28年度目標値				平成31年度目標値														
		目標値	実績値	達成率		評価																		
職員1人当たりの年次休暇取得率	8.1日	7.7日	15日	8.3日	55.3%	D	15日																	

小項目 2 4 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>8 各病院の主な機能</p> <p>(1) 足柄上病院</p> <p>足柄上病院は、県西医療圏の中核的な総合医療機関として救急医療、産科医療及び地域包括ケアシステムに対応した医療の提供に努めること。</p> <p>また、第二種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院としての専門的な感染症医療や新型インフルエンザなどの新たな感染症への対応力の向上、災害拠点病院、神奈川DMAT指定病院として、災害に備えた体制の充実強化に努めること。</p> <p>平成27年度以降策定する「地域医療ビジョン」に対応した医療機能を今後、検討すること。</p>
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																					
			自己点数	評価点数	コメント																					
<p>第2 8 各病院の具体的な取組み (1) 足柄上病院</p> <p>・高齢化の著しい進展に対応する救急医療を提供するほか、地域の要望に応える産科医療の確保に努める。</p>	<p>第1 8 各病院の具体的な取組み (1) 足柄上病院</p> <p>・消防本部と連携を強化するなど、救急患者を積極的に受け入れ、断らない救急に努める。</p>	<p>・救急受入れについて、地域包括ケア病棟の開設に伴い、入院患者の平均在院日数が伸びた影響で、HCUや重症個室が満床のため救急入院を受けられない日が増えた。 そのため、重症用病床の運用ルールを徹底するなどのベッドコントロールを行い、救急患者受入れに努めた。</p> <p>・小田原市や秦野市など近隣の消防救急隊と研修会を開催し、消防本部との連携強化を図った。また、小田原市からの受託事業として、救急救命士再教育研修を実施した。</p>	A																							
<p>[目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度 実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度 実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度 目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急受入率</td> <td>95.8%</td> <td>94.8%</td> <td>95.0%</td> <td>91.8%</td> <td>96.6%</td> <td>A</td> <td>95.0%</td> </tr> </tbody> </table>			区分	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度				平成31年度 目標値	目標値	実績値	達成率	評価	救急受入率	95.8%	94.8%	95.0%	91.8%	96.6%	A	95.0%				
区分	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値				平成28年度					平成31年度 目標値															
			目標値	実績値	達成率	評価																				
救急受入率	95.8%	94.8%	95.0%	91.8%	96.6%	A	95.0%																			
<p>(参考)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成26年度 実績値</th> <th>平成27年度 実績値</th> <th>平成28年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>11,182件</td> <td>9,199件</td> <td>8,749件</td> </tr> <tr> <td>うち救急車受入件数</td> <td>3,126件</td> <td>3,073件</td> <td>2,793件</td> </tr> </tbody> </table>			区分	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	救急受入件数	11,182件	9,199件	8,749件	うち救急車受入件数	3,126件	3,073件	2,793件												
区分	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値																							
救急受入件数	11,182件	9,199件	8,749件																							
うち救急車受入件数	3,126件	3,073件	2,793件																							
			課題																							
			<p>・救急受入れを進めるには、救急用の重症個室を常時確保するとともに、入院患者が予定どおりに退院できるように入院早期から準備に取り組むなど、適切な病床運用を進める必要がある。</p>																							

小項目 25 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	8 各病院の主な機能
	(1) 足柄上病院
	足柄上病院は、県西医療圏の中核的な総合医療機関として救急医療、産科医療及び地域包括ケアシステムに対応した医療の提供に努めること。 また、第二種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院としての専門的な感染症医療や新型インフルエンザなどの新たな感染症への対応力の向上、災害拠点病院、神奈川DMAT指定病院として、災害に備えた体制の充実強化に努めること。 平成27年度以降策定する「地域医療ビジョン」に対応した医療機能を今後、検討すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																															
			自己点数	評価点数	コメント																															
第2 8 各病院の具体的な取組み (1) 足柄上病院 ・高齢化の著しい進展に対応する救急医療を提供するほか、地域の要望に応える産科医療の確保に努める。 [目標値] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th colspan="3">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分べん件数</td> <td>194件</td> <td>147件</td> <td>120件</td> <td>111件</td> <td>92.5%</td> <td>B</td> </tr> </tbody> </table> (参考) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助産師による分べん件数</td> <td>165件</td> <td>126件</td> <td>97件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度			実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	評価	分べん件数	194件	147件	120件	111件	92.5%	B	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度		実績値	実績値	実績値	助産師による分べん件数	165件	126件	97件	第1 8 各病院の具体的な取組み (1) 足柄上病院 ・助産師主導の分べん体制の維持に努める。 ・助産師主導による分べんを推進するため、正常分べんが見込める妊婦のみを対象とし、安全を重視して取り組んだ。分べん件数111件で、うち、助産師主導の分べん件数は97件だった。 ・当院の助産師主導分べんのバックアップ体制を整備するために、県西地域の地域周産期母子医療センターである小田原市立病院の産科・小児科との連携を強化した。 緊急搬送件数は11件だった。 ・助産師は、週3回の助産師外来で妊婦検診や保健指導を行うとともに、週1回の母乳育児外来で育児相談等の業務を行うなど、妊婦・分べん・育児に必要な知識や情報を提供し、妊産婦との信頼関係を築くよう心がけた。 母乳育児を行っている親子をサポートするための集いを年2回開催し、19組の参加を得た。 また、産後の母親の疲労回復と育児不安解消のために、産後ケア事業「すくすく」を開始した。	B	※目標値の評価を本小項目の自己評価とした。		
		区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度																															
	実績値		実績値	目標値	実績値	達成率	評価																													
	分べん件数	194件	147件	120件	111件	92.5%	B																													
区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度																																	
	実績値	実績値	実績値																																	
助産師による分べん件数	165件	126件	97件																																	
実績に対する評価																																				
課題																																				
・助産師主導による分べん体制を安定的に維持していくためには、助産師を確保・育成していくことが必要である。																																				

小項目 26 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	8 各病院の主な機能
	(1) 足柄上病院
	足柄上病院は、県西医療圏の中核的な総合医療機関として救急医療、産科医療及び地域包括ケアシステムに対応した医療の提供に努めること。 また、第二種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院としての専門的な感染症医療や新型インフルエンザなどの新たな感染症への対応力の向上、災害拠点病院、神奈川DMAT指定病院として、災害に備えた体制の充実強化に努めること。 平成27年度以降策定する「地域医療ビジョン」に対応した医療機能を今後、検討すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																						
			自己点数	評価点数	コメント																																																																						
第2 8 各病院の具体的な取組み (1) 足柄上病院 ・地域の医療機関や在宅療養を支援する機関と連携し、地域包括ケアシステムに対応した医療を提供する。 ・神奈川県が指定する第二種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院として専門的な感染症医療や新たな感染症に対する医療を積極的に提供する。 ・高齢者医療対策として総合診療医を育成する。また、新たな専門医制度としての総合診療医の育成施設認定を目指す。 ・神奈川県が平成27年度以降に策定する「地域医療ビジョン」を踏まえた医療機能を検討し実施する。 [目標値] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>在宅療養後方支援病院としての登録累計患者数</td> <td>68人</td> <td>97人 (新規登録40人)</td> <td>117人 (新規49人)</td> <td>120.6%</td> <td>S</td> <td>200人</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>退院患者(75歳以上)の在宅復帰率</td> <td>86.6%</td> <td>86.0%</td> <td>90.1%</td> <td>104.8%</td> <td>A</td> <td>86.0%</td> </tr> </table>	区分	平成27年度実績値	平成28年度				平成31年度目標値	目標値	実績値	達成率	評価	在宅療養後方支援病院としての登録累計患者数	68人	97人 (新規登録40人)	117人 (新規49人)	120.6%	S	200人	区分	平成27年度実績値	平成28年度				平成31年度目標値	目標値	実績値	達成率	評価	退院患者(75歳以上)の在宅復帰率	86.6%	86.0%	90.1%	104.8%	A	86.0%	第1 8 各病院の具体的な取組み (1) 足柄上病院 ・高齢化が進む中で地域の唯一の中核病院として、地域包括ケアを支えるため、患者の病状が急変した際に24時間対応できるように患者の受入れ体制を整えるなど、在宅療養患者を支援する。 ・第二種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院として、新型インフルエンザやエイズ等の感染症患者の受入れを行う。 [参考値] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">平成27年度</th> <th colspan="3">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>計</th> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">エイズ患者受入件数(実患者数)</td> <td>入院</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>1人</td> <td>8人</td> <td>9人</td> <td>9人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2人</td> <td>8人</td> <td>10人</td> <td>2人</td> <td>9人</td> <td>11人</td> </tr> </table>	区分	平成27年度			平成28年度			新規	継続	計	新規	継続	計	エイズ患者受入件数(実患者数)	入院	1人	0人	1人	0人	1人	外来	1人	8人	9人	9人	10人	計	2人	8人	10人	2人	9人	11人	・高齢者患者の入院受入れ時から退院後の課題を把握し、治療とともに、在宅での療養生活の継続に向けたリハビリ等に取り組んだ。 平成28年10月に地域包括ケア病棟を設置し、リハビリテーション等の在宅復帰支援に取り組んだ結果、高齢者入院患者の在宅復帰率が高まった。 ・在宅療養後方支援病院として、入院患者に利用登録を勧めた。登録者の退院後は、訪問診療(訪問回数110回)を行い、患者・かかりつけ医等と情報共有を図り、登録者の病状急変時などの要請に基づく緊急入院受入れなどの支援に取り組んだ。 ・第二種感染症指定医療機関として、感染症患者の受入れ体制を整え、関係機関への連絡・調整を行った。 ・エイズ治療拠点病院として、エイズ感染患者の受入れを行った。 ・郡市医師会が主催するエイズ治療例研究会(2回)を支援した。	実績に対する評価 ・高齢者患者の在宅復帰を促進し、訪問診療やかかりつけ医との連携を図り、急変時には入院受入等の支援を行うといった、地域包括ケアシステムに対応した医療体制ができています。 ・年度計画を達成している。 ※複数の目標値があるため、一番低い評価を本小項目の自己評価とした。 課題 ・市町村や地元医師会と連携し、地域のかかりつけ医の確保をさらに進めていく必要がある。	A		
			区分	平成27年度実績値	平成28年度				平成31年度目標値																																																																		
	目標値	実績値			達成率	評価																																																																					
在宅療養後方支援病院としての登録累計患者数	68人	97人 (新規登録40人)	117人 (新規49人)	120.6%	S	200人																																																																					
区分	平成27年度実績値	平成28年度				平成31年度目標値																																																																					
		目標値	実績値	達成率	評価																																																																						
退院患者(75歳以上)の在宅復帰率	86.6%	86.0%	90.1%	104.8%	A	86.0%																																																																					
区分	平成27年度			平成28年度																																																																							
	新規	継続	計	新規	継続	計																																																																					
エイズ患者受入件数(実患者数)	入院	1人	0人	1人	0人	1人																																																																					
	外来	1人	8人	9人	9人	10人																																																																					
	計	2人	8人	10人	2人	9人	11人																																																																				

小項目 27 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	8 各病院の主な機能
	(1) 足柄上病院
	足柄上病院は、県西医療圏の中核的な総合医療機関として救急医療、産科医療及び地域包括ケアシステムに対応した医療の提供に努めること。 また、第二種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院としての専門的な感染症医療や新型インフルエンザなどの新たな感染症への対応力の向上、災害拠点病院、神奈川DMAT指定病院として、災害に備えた体制の充実強化に努めること。 平成27年度以降策定する「地域医療ビジョン」に対応した医療機能を今後、検討すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																											
			自己点数	評価点数	コメント																											
第2 8 各病院の具体的な取組み (1) 足柄上病院 ・高齢化の著しい進展に対応する救急医療を提供するほか、地域の要望に応える産科医療の確保に努める。 ・地域の医療機関や在宅療養を支援する機関と連携し、地域包括ケアシステムに対応した医療を提供する。 ・神奈川県が指定する第二種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院として専門的な感染症医療や新たな感染症に対する医療を積極的に提供する。 ・高齢者医療対策として総合診療医を育成する。また、新たな専門医制度としての総合診療医の育成施設認定を目指す。 ・神奈川県が平成27年度以降に策定する「地域医療ビジョン」を踏まえた医療機能を検討し実施する。	第1 8 各病院の具体的な取組み (1) 足柄上病院 ・地域に潜在しているがん患者を早期に発見し治療するため、要精密検査を受け入れるとともに、内視鏡検査及び治療を進める。 ・高齢者等の患者にやさしく負担がより少ない低侵襲な鏡視下手術（胸腔鏡、腹腔鏡）に取り組む。 ・高齢化による心疾患患者の増加に対応するため、高齢者等の患者にカテーテル検査及び治療を進める。 ・高齢者へのがんの治療や緩和ケア、術後の再発防止として、体への負担が少なく、QOL低下の少ない放射線治療に取り組む。	・内視鏡検査・治療及び放射線科については、医師を増員し検査依頼を積極的に受け入れた結果、いずれも前年度実績を上回り、特に検査件数は目標値を大きく上回った。 ・鏡視下手術については、年度途中で医師の体制を変更したため、鏡視下手術の件数が減少した。 ・心臓カテーテル検査・治療については、救急患者受入れ制限の日が増えた影響を受け、件数は前年度並みとなった。 ・放射線治療計画策定件数・治療延べ患者数は、前年度並みであった。	実績に対する評価 ・足柄上地域の唯一の中核病院として、内視鏡治療、心臓カテーテル等の医療を提供することができている。 ・内視鏡検査等及び放射線治療等については、年度計画を達成している。 ・心臓カテーテル検査・治療については、年度計画を概ね達成している。 ・鏡視下手術件数については、年度計画を下回っており改善の余地がある。 ※複数の目標値があるが、7項目のうち5項目がA評価以上であることから、A評価を自己評価とした。	A *																												
			課題 ・検査、治療ともに、紹介・救急による来院が多いことから、救急受入件数の増加、紹介件数の増加に努めていく必要がある。 ・病状が進行してから来所するがん患者も多いことから、がんの早期発見、早期治療を啓発する市町村の取組みについて、医学講座や出前講座等を通じて協力していく必要がある。																													
			[目標値] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="3">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡検査件数</td> <td>4,181件</td> <td>4,103件</td> <td>4,200件</td> <td>4,147件</td> <td>98.7%</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>内視鏡治療件数</td> <td>897件</td> <td>971件</td> <td>920件</td> <td>1,337件</td> <td>145.3%</td> <td>S</td> </tr> </tbody> </table>			区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度			目標値	実績値	達成率	評価	内視鏡検査件数	4,181件	4,103件	4,200件	4,147件	98.7%	A	内視鏡治療件数	897件	971件	920件	1,337件	145.3%	S			
			区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値				平成28年度																							
目標値	実績値	達成率				評価																										
内視鏡検査件数	4,181件	4,103件	4,200件	4,147件	98.7%	A																										
内視鏡治療件数	897件	971件	920件	1,337件	145.3%	S																										
[目標値] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="3">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鏡視下手術件数</td> <td>284件</td> <td>264件</td> <td>250件</td> <td>197件</td> <td>78.8%</td> <td>C</td> </tr> </tbody> </table>			区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度			目標値	実績値	達成率	評価	鏡視下手術件数	284件	264件	250件	197件	78.8%	C													
区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値				平成28年度																										
			目標値	実績値	達成率	評価																										
鏡視下手術件数	284件	264件	250件	197件	78.8%	C																										
[目標値] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="3">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓カテーテル検査件数</td> <td>446件</td> <td>421件</td> <td>300件</td> <td>421件</td> <td>140.3%</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>心臓カテーテル治療件数</td> <td>117件</td> <td>100件</td> <td>130件</td> <td>110件</td> <td>84.6%</td> <td>B</td> </tr> </tbody> </table>			区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度			目標値	実績値	達成率	評価	心臓カテーテル検査件数	446件	421件	300件	421件	140.3%	S	心臓カテーテル治療件数	117件	100件	130件	110件	84.6%	B						
区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値				平成28年度																										
			目標値	実績値	達成率	評価																										
心臓カテーテル検査件数	446件	421件	300件	421件	140.3%	S																										
心臓カテーテル治療件数	117件	100件	130件	110件	84.6%	B																										
[目標値] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="3">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線治療計画策定件数</td> <td>45件</td> <td>59件</td> <td>50件</td> <td>55件</td> <td>110.0%</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>放射線治療延べ患者数</td> <td>876人</td> <td>1,026人</td> <td>1,100人</td> <td>1,127人</td> <td>102.5%</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>			区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度			目標値	実績値	達成率	評価	放射線治療計画策定件数	45件	59件	50件	55件	110.0%	S	放射線治療延べ患者数	876人	1,026人	1,100人	1,127人	102.5%	A						
区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値				平成28年度																										
			目標値	実績値	達成率	評価																										
放射線治療計画策定件数	45件	59件	50件	55件	110.0%	S																										
放射線治療延べ患者数	876人	1,026人	1,100人	1,127人	102.5%	A																										

小項目 28 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	8 各病院の主な機能 (2) こども医療センター こども医療センターは、全国初の福祉施設を併設した小児専門の総合病院として、高度・専門医療や緩和ケアの充実、在宅移行支援などに努めること。 また、県内唯一の小児がん拠点病院として小児がん診療体制を充実すること。 このほか、臨床研究機能の充実、人材育成を促進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
第2 8 各病院の具体的な取組み (2) こども医療センター ・高度な専門医療を提供する小児集中治療室（PICU）を整備する。 ・周産期救急体制を強化するとともに、重症症例の積極的な受入れなど、小児三次救急体制を充実する。	第1 8 各病院の具体的な取組み (2) こども医療センター ・小児集中治療室（PICU）の整備に向けた具体的な検討を行う。 ・神奈川県周産期救急医療システムを効果的に運用するために、周産期救急の基幹病院として、他の医療機関では治療が困難な患者を中心に受入れを行うとともに、小児三次救急と合わせ、地域医療機関との連携・調整の役割を引き続き担う。	・ICU病床を2床増床し、集中治療の必要な重症患者の受入体制を整えた。 ・全国的なNICU不足の中、NICU病床21床に対し、1日平均21.2人を受け入れており、満床が常態化している。また、包括的な医療を要する重度の先天異常の患者も毎年200人前後受け入れている。こうした中、感染症の流行があったものの、NICUを計画的に運用したことにより、新規受入れ実患者数は355人となり、算定期間に上限のある新生児集中治療室管理料算定患者数についても1日あたり19.2人となった。 ・在宅医療への移行の推進を図るため、退院・在宅医療支援室の退院調整専従の看護師をはじめ多職種が連携し、退院支援カンファレンスを行なったほか、長期入院が予定される新生児の親を対象に両親学級を開催し、母子分離による育児不安の軽減に寄与した。 ・救急受入件数は、目標値には及ばなかったものの、4,487件となり、三次救急医療機関としての役割を果たした。 ・NICUの新規入院患者の受入れ体制を強化するため、増床計画を策定した。	実績に対する評価 ・目標件数を達成できなかったものの、他の医療機関では治療が困難な患者を積極的に受け入れており、周産期救急の基幹病院としての役割を果たすことができている。 ・在宅医療への移行の推進のため、地域医療機関との積極的な連携を図ることができている。 ・年度計画を概ね達成している。 ※複数の目標値があるため、一番低い評価を本小項目の自己評価とした。	B		
			課題 ・引き続き、後方病床や地域医療機関との連携を密にし、NICUの運用の効率化を図るとともに、NICUの増床に向けた改修工事を円滑に進めていく必要がある。			
			[目標値]			

区分	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度				平成31年度 目標値
			目標値	実績値	達成率	評価	
NICU新規入院患者数	394人	397人	400人	355人	88.8%	B	430人

区分	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度				平成31年度 目標値
			目標値	実績値	達成率	評価	
救急受入件数	4,869件	4,966件	5,080件	4,487件	88.3%	B	5,200件

小項目 29 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	8 各病院の主な機能 (2) こども医療センター こども医療センターは、全国初の福祉施設を併設した小児専門の総合病院として、高度・専門医療や緩和ケアの充実、在宅移行支援などに努めること。 また、県内唯一の小児がん拠点病院として小児がん診療体制を充実すること。 このほか、臨床研究機能の充実、人材育成を促進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																				
			自己点数	評価点数	コメント																				
第2 8 各病院の具体的な取組み (2) こども医療センター ・小児がん拠点病院として、患者に対し先進的かつ集学的治療に取り組む。	第1 8 各病院の具体的な取組み (2) こども医療センター ・県内唯一の小児がん拠点病院として、再発がんや難治がん患者に対し、先進的かつ集学的治療を行うとともに、早期から緩和ケアに取り組む。さらに、化学療法や退院後訪問看護及び栄養支援など、質の高い医療を提供するとともに、小児がん経験者向けの内分泌外来など長期フォローアップ体制の構築を通じ、晩期合併症への対応を進める。 ・小児がん家族の会などの開催を通じ、抱えている問題の早期把握に努め、相談支援を充実するほか、セミナーの開催、連携医療機関の医師を交えた腫瘍症例検討会を開催するなど、小児がん治療に関する知識・技術の向上を図る。	・県内外から新規の小児がん患者を目標値を10人上回る81人受け入れ、集学的治療を行った。院内腫瘍症例検討会(TumorBoard)を37回実施したほか、大学病院の医師を交えた腫瘍症例検討会を3回実施し、小児がん治療の知識・技術の向上を図った。外来化学療法については、平成26年度228件、平成27年度243件、平成28年度は402件と年々増加傾向である。 ・小児がん拠点病院として、行政機関や県内の小児がん診療機関と協議会を年2回開催し、長期フォローアップ体制や入院中の就学支援について検討した。加えて、平成29年4月より新たに小児がん長期フォローアップ外来を開設する体制を整備した。 ・小児がん経験者については、主にその家族を対象に家族教室を2回開催し、27家族に対して晩期合併症、長期フォロー及び学習支援等について講義を行ったほか、治療後の不安等にも対応した。 ・小児がんの家族サロンや栄養サロンを定期的で開催し、治療中の社会制度について情報提供するとともに、食事の工夫等について話し合う場を設けるなど小児がんの抱える問題の解決に取り組んだ。また、健康教室や美容セミナー等を開催し、運動やメイクを通して患者・家族が気分転換を図り、社会復帰に向けて準備するための支援を行った。 ・小児がん相談については、新規入院患者の全てに対してリーフレットを活用し、専従の相談支援員（小児看護専門看護師）が早期に面談して対応した。相談件数は院外からの29件を含み14件増の378件となり、メール対応も2件含まれていた。また、小児がん相談支援者向けのセミナーや小児がん体験者の会を開催し、小児がん患者の抱える問題の把握と情報発信に努めた。	実績に対する評価 ・県内唯一の小児がん拠点病院として、積極的に小児がん患者を受け入れることができている。 ・年度計画を大幅に上回って達成している。	S																					
			課題 ・小児がん拠点病院であることや相談支援部門があることの周知が不足しており、積極的な広報活動が必要である。																						
[目標値]			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="3">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児がん患者新規入院患者数</td> <td>71人</td> <td>74人</td> <td>70人</td> <td>81人</td> <td>115.7%</td> <td>S</td> <td>70人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度			平成31年度目標値	目標値	実績値	達成率	評価	小児がん患者新規入院患者数	71人	74人	70人	81人	115.7%	S	70人
区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度			平成31年度目標値																			
			目標値	実績値	達成率		評価																		
小児がん患者新規入院患者数	71人	74人	70人	81人	115.7%	S	70人																		

・市民公開講座を開催したところ、参加者は72人に昇り好評を得られ、実施結果を要約してホームページへ掲載するとともに、国立がん研究センター小児がん情報サービスにおいても公開した。

・小児がん患者の在宅療養について、訪問看護ステーションや在宅医とともに終末期の在宅療養について症例検討会を開催し、情報共有や資源の活用等について意見交換する場を設けた。

小項目 30 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>8 各病院の主な機能</p> <p>(2) こども医療センター</p> <p>こども医療センターは、全国初の福祉施設を併設した小児専門の総合病院として、高度・専門医療や緩和ケアの充実、在宅移行支援などに努めること。</p> <p>また、県内唯一の小児がん拠点病院として小児がん診療体制を充実すること。</p> <p>このほか、臨床研究機能の充実、人材育成を促進すること。</p>
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第2</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(2) こども医療センター</p> <p>・小児の心疾患や先天性異常などに対する手術、難治性疾患等に対する高度・専門医療を実施するとともに、チーム医療による小児の総合的な緩和ケアを推進する。</p>	<p>第1</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(2) こども医療センター</p> <p>・小児の高度・専門医療を提供する三次医療機関として、心疾患や先天性異常等に対する手術など、難易度の高い治療に対応する。</p> <p>・成人後の患者は他の医療機関に紹介するのが原則であるが、他の医療機関では対応が困難な、先天性心疾患などの重度の外科系疾患患者や、内分泌代謝面の治療が必要な小児がん経験者の受け皿としての役割を担う。</p>	<p>・手術件数は、前年度比84件減の3,661件となり、目標値3,800件に対し、96.3%の達成率となったが、心臓血管外科手術を330件、新生児手術を124件、内視鏡手術を258件行うなど、難易度の高い多くの手術を行った。</p> <p>・小児がん治療後の晩期合併症への対応として、内分泌代謝面の治療が必要な患者の受け皿としての役割を担うには、晩期合併症の早期発見や適切な時期に個別対応が可能となる体制を整備する必要があることから、平成29年4月より新たに小児がん長期フォローアップ外来を開設する体制を整備した。</p>	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p>・難易度の高い多くの手術を行うことにより、小児の高度・専門医療を提供する三次医療施設としての役割を果たしている。</p> <p>・長期フォローが必要な患者への対応は、対応強化を進めている段階である。</p> <p>・年度計画を達成している。</p> <p>※目標値の評価を本小項目の自己評価とした。</p>	A		
			課題			
						<p>・県内の医療ニーズに適切に対応するため、引き続き必要な医師及び医療機器を確保することで、手術の実施体制を充実していく必要がある。</p>

[目標値]							
区分	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度				平成31年度 目標値
			目標値	実績値	達成率	評価	
手術件数	3,647件	3,745件	3,800件	3,661件	96.3%	A	3,700件

小項目 3 1 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	8 各病院の主な機能 (2) こども医療センター こども医療センターは、全国初の福祉施設を併設した小児専門の総合病院として、高度・専門医療や緩和ケアの充実、在宅移行支援などに努めること。 また、県内唯一の小児がん拠点病院として小児がん診療体制を充実すること。 このほか、臨床研究機能の充実、人材育成を促進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																	
			自己点数	評価点数	コメント																																																	
第2 8 各病院の具体的な取組み (2) こども医療センター ・小児の心疾患や先天性異常などに対する手術、難治性疾患等に対する高度・専門医療を実施するとともに、チーム医療による小児の総合的な緩和ケアを推進する。 ・医療機関と連携協力した退院後訪問診療や栄養支援などの質の高い医療の提供に努める。	第1 8 各病院の具体的な取組み (2) こども医療センター ・手術前後、慢性疼痛、がん性疼痛などについて効果的な緩和ケアに取り組むほか、小児患者とその家族の生活の質の向上を図るため、「緩和ケア外来」を推進する。 ・処置及び検査に対する不安及び手術後も含めた疼痛の緩和を行うアキュートペインサービスを推進する。 ・入院中の医療ケアが在宅医療に移行後も継続されるように、訪問看護ステーションの看護師に対し、退院が近い患者へのケアの手法を指導するなど、病院から地域への必要な情報共有のシステムの整備を行い、訪問看護ステーションの看護師の退院初期訪問時に同行する「退院後訪問看護」を緩和ケアの患者に対しても実施する。	・専従の医師と看護師が配置された緩和ケア普及室を中心に多職種で構成する緩和ケアチームが定期的にカンファレンスやラウンドを実施し、疼痛緩和や心理社会面の苦痛に対応するとともに、病棟ラウンドの際の相談対応により相談件数が140件に達した。 ・特に心理面で不安定な思春期の患者に対しては、早期から精神科医や心理療法士と連携して対応した。 ・ファシリティドックについては、入院中だけでなく外来の点滴や検査時に付き添い等を希望する患者へも対応した。 ・緩和ケア外来については、退院後のフォローや疼痛評価を65件実施し、継続的に患者や家族と関わりを持つことにより、生活の質の維持・向上を図った。 ・不安や苦痛を伴う処置や検査に対し、全身麻酔による処置・検査を行うアキュートペインサービスを14件実施した。 また、手術後の疼痛緩和については、積極的に行っている。 自己調節鎮痛ポンプ（PCA (Patient Controlled Analgesia) ポンプ)を使用した疼痛緩和については、血液・再生医療科の粘膜障害の症状をコントロールする目的で、前年度と同じ19件実施し、症状緩和が図れるように対応した。 ・退院後訪問看護件数については、患者の医療環境の向上を考慮し、居住地の医療機関への転院を実現させた結果、当院からの訪問看護ができなくなったものがあり、昨年度の25件から17件に減少した。	実績に対する評価 ・小児がん患者とその家族の生活の質の向上を支援するため、多職種が連携して、緩和ケアを提供することができている。 ・緩和ケアの考えを広く普及することに積極的に取り組むことができている。 ・退院後訪問看護は27年度より減少し、年度計画を下回る成果であるが、居住地との連携を推進することによって、転院した結果である。 ※複数の目標値があるため、一番低い評価を本小項目の自己評価とした。	C																																																		
			課題			・小児医療の緩和ケアについて、患者家族からのニーズが少ないという現状があるため、小児医療の緩和ケアに関する一般的な理解が深まり、患者家族からのニーズが増加するように、啓発活動を実施していく必要がある。																																																
			<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="7">[目標値]</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>退院後訪問看護件数</td> <td>14件</td> <td>27件</td> <td>25件</td> <td>17件</td> <td>68.0%</td> <td>C</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="7">[目標値]</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>緩和ケア外来患者数</td> <td>38人</td> <td>40人</td> <td>65人</td> <td>162.5%</td> <td>S</td> </tr> </table>							[目標値]							区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度				目標値	実績値	達成率	評価	退院後訪問看護件数	14件	27件	25件	17件	68.0%	C	[目標値]							区分	平成27年度実績値	平成28年度				目標値	実績値	達成率	評価	緩和ケア外来患者数	38人	40人
[目標値]																																																						
区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度																																																			
			目標値	実績値	達成率	評価																																																
退院後訪問看護件数	14件	27件	25件	17件	68.0%	C																																																
[目標値]																																																						
区分	平成27年度実績値	平成28年度																																																				
		目標値	実績値	達成率	評価																																																	
緩和ケア外来患者数	38人	40人	65人	162.5%	S																																																	

		<p>・緩和ケアセミナーについて、一般市民が緩和ケアについて理解を深めるための市民公開講座1回を含み4回開催したほか、本館と管理棟をつなぐ渡り廊下においてポスター展示等を行い、終末期のみとイメージされやすい緩和ケアについて、早期から身体的なものを始めとして、心理的、社会的な苦痛にも対応していることをアピールした。</p>				
--	--	---	--	--	--	--

小項目 3 2 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	8 各病院の主な機能 (2) こども医療センター こども医療センターは、全国初の福祉施設を併設した小児専門の総合病院として、高度・専門医療や緩和ケアの充実、在宅移行支援などに努めること。 また、県内唯一の小児がん拠点病院として小児がん診療体制を充実すること。 このほか、臨床研究機能の充実、人材育成を促進すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
第2 8 各病院の具体的な取組み (2) こども医療センター ・医療機関と連携協力した退院後訪問診療や栄養支援などの質の高い医療の提供に努める。	第1 8 各病院の具体的な取組み (2) こども医療センター 栄養支援の強化を図るため、胃ろうからのミキサー食注入の推進、バイキング形式による食事会など患者が楽しく食事するための工夫のほか、食欲低下や粘膜障害を起こしやすい小児がん患者とその家族を対象にグループ栄養相談を開催するなど相談体制の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ミキサー食注入については、胃ろう造設者の栄養内容の改善とQOL向上のため、患者・介護者を対象に、ミキサー食注入講習会を3回実施したほか、在宅医療を支える地域の看護師や教員等を対象に、小児の栄養サポート講習会を1回開催するなどして推進した。 ・横浜市主催の重症心身障害児メディカルショートステイ実務者会議においても、在宅人工呼吸器を装着した患者の退院支援を含みミキサー食注入の家族指導について講演を行った。 ・入院生活の癒しや活力が得られるよう、長期入院患者を対象に、5病棟でバイキング給食を実施したほか、新たに精神科病棟においても、バイキング給食を実施し、退院後の健全な食生活に繋がるよう、癒しや楽しみに食育を目的に加えて試行した。 また、小児がん入院患者を中心にお菓子や軽食作り、流しそうめん大会などのイベント食を患者のニーズに合わせて9回実施した。 ・食欲低下や粘膜障害を起こしやすい小児がん患者に対し、歯科・栄養面での早期支援と定期的な評価を多職種で行ない、リスクの軽減に繋げるとともに、適切な食生活の大切さの理解を目的として、病棟において集団栄養指導を行った。 ・小児がんの入院患者だけでなく、外来患者を対象に加え、グループ相談となる栄養サロンを3回開催した。 	実績に対する評価 ・栄養支援の強化が必要な患者に対して、入院中から積極的に多職種が連携して支援を行うことができている。 ・年度計画を達成している。 ※目標値の評価を本小項目の自己評価とした。	A		
			課題 ・胃ろう造設患者の増加などにより、栄養摂取の内容・方法は多岐にわたり、支援が必要な患者も増加しているため、適切な栄養摂取により患者のQOLをさらに向上させることが必要である。 ・また、対象者を継続的にフォローする体制の確立が必要である。			
[目標値]						
区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度			
			目標値	実績値	達成率	評価
栄養相談実施件数	414件	451件	420件	426件	101.4%	A

小項目 3 3 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>8 各病院の主な機能</p> <p>(3) 精神医療センター</p> <p>精神医療センターは、一般の精神科では対応困難な専門性の高い精神科医療を提供すること。</p> <p>また、精神科24時間救急の基幹病院として精神科救急医療の充実を図るとともに、臨床研究機能の充実や社会復帰支援の促進に努めること。</p>
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第2</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(3) 精神医療センター</p> <p>・精神科24時間救急の基幹病院として精神科救急医療を実施する。</p>	<p>第1</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(3) 精神医療センター</p> <p>・神奈川県精神科救急医療システムの基幹病院として、神奈川県精神保健福祉センターや4 県市主管課等と密接に連携し、措置入院患者等を積極的に受け入れる。</p>	<p>・県精神保健福祉センター及び4 県市（県、横浜市、川崎市、相模原市）により構築された精神科救急医療システムにおける基幹病院（休日・夜間・深夜の受け入れを行う病院）が確保する33床のうち精神医療センターは最多の16床を確保し、平成28年度の入院受入れ実績は平成27年度を45件上回る204件であり、うち、より重症な自傷他害の恐れが強い措置入院は平成27年度を26件上回る142件であった。また、外来も合わせた精神科救急医療システム受診件数は、平成27年度を25件上回る225件であった。</p> <p>・救急病棟入院延患者数は、ベッドコントロール会議の場で空床情報の共有を図るなど病床の効率的な運用を図った結果、目標値を915人、平成27年度実績を1,508人上回る23,915人となった。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・精神科救急医療システムにおける基幹病院として、確実に精神科救急医療を提供することができている。</p> <p>・年度計画を達成している。</p> <p>※目標値の評価を本小項目の自己評価とした。</p>	A		
			課題			
			<p>・措置入院患者等を継続的に受入れるため、引き続き4 県市等関係機関と密接な連携を図っていく必要がある。</p>			

[目標値]							
区分	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度				平成31年度 目標値
			目標値	実績値	達成率	評価	
救急病棟入院延患者数	20,504人	22,407人	23,000人	23,915人	104.0%	A	23,000人

小項目 3 4 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	8 各病院の主な機能 (3) 精神医療センター 精神医療センターは、一般の精神科では対応困難な専門性の高い精神科医療を提供すること。 また、精神科24時間救急の基幹病院として精神科救急医療の充実を図るとともに、臨床研究機能の充実や社会復帰支援の促進に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																				
			自己点数	評価点数	コメント																				
第2 8 各病院の具体的な取組み (3) 精神医療センター ・思春期医療のほか、医療観察法医療やストレスケア医療、依存症医療の専門医療を推進する。	第1 8 各病院の具体的な取組み (3) 精神医療センター ・児童相談所等と連携を強化し、中学生・高校生年代の患者を積極的に受け入れる。 ・難治性うつ病等に対する治療法（反復性経頭蓋磁気刺激法）の開発やうつ病等の精神疾患患者を対象としたストレスケア医療に取り組む。	・中学生・高校生年代の患者の受入れを図るために、児童相談所との連携の強化に加え、こども医療センターの医師、看護師、精神保健福祉士とカンファレンスを開催し、課題の共有化を図った。また、地域医療機関向けの専門病棟見学会の開催回数を3回から4回に増やしたほか、新たに港南区の小児科医院を対象とした思春期病棟見学会を開催した。こうした取組みの結果、思春期病棟の病床利用率は目標値の85.0%には達しなかったものの、平成27年度を2.4ポイント上回る76.6%となった。 ・思春期病棟の療養環境の向上を図るため学習室などに加え、新たにeラーニングを活用し、横浜南養護学校の教室と同時に同一の授業が受けられるようになった。 ・反復性経頭蓋磁気刺激法※の開発について、平成28年度は11人（平成27年度以前との合計122人）の患者の協力を得て、気分障害への効果及び安全性について検証するため、実証実験を行うなど先進医療の認定に向けて研究を進めた。 ※反復性経頭蓋磁気刺激法（r-TMS） 8の字型のコイルに電流を流すと周囲に磁界が発生し、その作用で脳の一定の部位に微弱な電流が生じる。それにより脳の神経細胞を刺激して機能を調整する。 ・ストレスケア医療の病診連携推進のため地域医療機関向けの専門病棟見学会を開催するなどの取組みの結果、療養効果を高めるため全室個室としているストレスケア病棟の病床利用率が平成27年度を6.7ポイント、目標値を4.6ポイント上回る94.6%となった。また、患者ニーズに基づいた治療方針を多職種で共有し、職場復帰、家庭復帰を支援した。	実績に対する評価 ・思春期医療、ストレスケア医療、依存症医療、医療観察法医療のニーズに応えることができている。 ・年度計画を概ね達成している。 ※複数の目標値があるため、一番低い評価を本小項目の自己評価とした。		B																				
			【目標値】																						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="3">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>思春期病棟病床利用率</td> <td>40.0%</td> <td>74.2%</td> <td>85.0%</td> <td>76.6%</td> <td>90.1%</td> <td>B</td> </tr> </tbody> </table>	区分		平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度			目標値	実績値	達成率	評価	思春期病棟病床利用率	40.0%	74.2%	85.0%	76.6%	90.1%	B				
			区分					平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度															
目標値	実績値	達成率		評価																					
思春期病棟病床利用率	40.0%	74.2%	85.0%	76.6%	90.1%	B																			
【目標値】																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="3">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ストレスケア病棟病床利用率</td> <td>64.2%</td> <td>87.9%</td> <td>90.0%</td> <td>94.6%</td> <td>105.1%</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度			目標値	実績値	達成率	評価	ストレスケア病棟病床利用率	64.2%	87.9%	90.0%	94.6%	105.1%	A								
区分				平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度																			
	目標値	実績値	達成率			評価																			
ストレスケア病棟病床利用率	64.2%	87.9%	90.0%	94.6%	105.1%	A																			
【目標値】																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="3">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集団治療で延患者数</td> <td>913人</td> <td>1,425人</td> <td>1,770人</td> <td>1,925人</td> <td>108.8%</td> <td>A</td> <td>2,300人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度			平成31年度目標値	目標値	実績値	達成率	評価	集団治療で延患者数	913人	1,425人	1,770人	1,925人	108.8%	A	2,300人						
区分				平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度			平成31年度目標値																
	目標値	実績値	達成率			評価																			
集団治療で延患者数	913人	1,425人	1,770人	1,925人	108.8%	A	2,300人																		
【目標値】																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="3">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療観察法病棟病床利用率</td> <td>91.7%</td> <td>86.9%</td> <td>95.0%</td> <td>82.6%</td> <td>86.9%</td> <td>B</td> <td>95.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度			平成31年度目標値	目標値	実績値	達成率	評価	医療観察法病棟病床利用率	91.7%	86.9%	95.0%	82.6%	86.9%	B	95.0%						
区分				平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度			平成31年度目標値																
	目標値	実績値	達成率			評価																			
医療観察法病棟病床利用率	91.7%	86.9%	95.0%	82.6%	86.9%	B	95.0%																		

	<ul style="list-style-type: none"> ・依存症治療拠点機関として専門的な相談などを行うとともに、アルコール・薬物依存症の患者に対して集団治療プログラムを実施する。 ・医療観察法医療の指定医療機関として、国と連携して患者を受け入れ、多職種チームによる専門治療プログラムに沿った医療を提供する。 ・未病健診研究に係る調査等事業をきっかけとして、認知症患者の受け入れについて準備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国の「依存症治療拠点機関設置運営事業」に基づき、平成26年10月に県から依存症治療拠点機関としての指定を受け、専門的な治療・相談を実施するとともに、医師、自助団体等からなる対策協議会を2回、地域医療機関などを対象とした研修会を3回、一般県民向けの公開講座を1回開催したほか、アルコール依存、薬物依存の家族教室を開催するなど依存症対策に取り組んだ。 ・アルコールや覚醒剤等の薬物による依存症を対象として、ミーティング等を取り入れた治療プログラムを平成27年度を500人、目標値を155人上回る延べ1,925人に実施したほか、依存症医療における地域医療機関等との連携・協力などを図り、依存症病棟の病床利用率が平成27年度を5.6ポイント上回る95.1%となった。 ・医療観察法医療の指定医療機関として、国の要請に応じ、全国最多の指定通院患者を受け入れたほか、33床のフル規格病棟で入院患者を受け入れ、医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士などから構成される多職種チームによる専門治療プログラムに沿った医療を提供した。また、入院患者の退院に向けて、外出や外泊の訓練を実施し、関係機関との連携を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・通院患者にあつては、患者の症状に応じた個別治療計画を策定し、手厚い医療を積極的に実施した。 ・平成29年度から認知症対策事業を実施するにあたり、スタッフの確保、MRI導入に向けた調整を行った。 	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1685 127 2102 214">課題</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1685 214 2102 1753"> <ul style="list-style-type: none"> ・県の精神科中核病院として、高度専門的な医療に取り組んでいく必要がある。 ・また、認知症の医療領域については、院内体制を整備し、県立病院として率先して認知症対策に取り組んでいく必要がある。 </td> </tr> </table>	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・県の精神科中核病院として、高度専門的な医療に取り組んでいく必要がある。 ・また、認知症の医療領域については、院内体制を整備し、県立病院として率先して認知症対策に取り組んでいく必要がある。 			
課題								
<ul style="list-style-type: none"> ・県の精神科中核病院として、高度専門的な医療に取り組んでいく必要がある。 ・また、認知症の医療領域については、院内体制を整備し、県立病院として率先して認知症対策に取り組んでいく必要がある。 								

小項目 3 5 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>8 各病院の主な機能</p> <p>(3) 精神医療センター</p> <p>精神医療センターは、一般の精神科では対応困難な専門性の高い精神科医療を提供すること。</p> <p>また、精神科24時間救急の基幹病院として精神科救急医療の充実を図るとともに、臨床研究機能の充実や社会復帰支援の促進に努めること。</p>
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																					
			自己点数	評価点数	コメント																					
<p>第2</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(3) 精神医療センター</p> <p>・思春期医療のほか、医療観察法医療やストレスケア医療、依存症医療の専門医療を推進する。</p>	<p>第1</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(3) 精神医療センター</p> <p>・特定の医療機関でしか実施できないクロザピンの専門病床（クロザピンユニット）を設置するなど難治患者に対して、高度な医療を実施する。</p>	<p>・統合失調症の薬物療法の難治患者の社会復帰を支援するため、クロザピンを用いた薬物治療を県内最多の36人の患者に実施した。なお、クロザピン投与により、白血球減少症などの発現リスクが高くなるため、血液検査は不可欠であり、また、白血球減少症などが発現した患者に再投与すると、再発するリスクが高くなるため、全ての患者を適正使用委員会に登録することとなっており、平成28年度末現在44人が登録されている。</p>	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p>・クロザピンを用いた薬物治療を確実に実施できている。</p> <p>・年度計画を大幅に上回って達成している。</p> <p>※目標値の評価を本小項目の自己評価とした。</p>	S																						
			課題																							
		<p>[目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度 実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度 実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度 目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クロザピンによる治療患者数</td> <td>16人</td> <td>20人</td> <td>30人</td> <td>36人</td> <td>120.0%</td> <td>S</td> <td>60人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度				平成31年度 目標値	目標値	実績値	達成率	評価	クロザピンによる治療患者数	16人	20人	30人	36人	120.0%	S	60人				
区分	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値				平成28年度					平成31年度 目標値															
			目標値	実績値	達成率	評価																				
クロザピンによる治療患者数	16人	20人	30人	36人	120.0%	S	60人																			

小項目36 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	<p>8 各病院の主な機能</p> <p>(4) がんセンター</p> <p>がんセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院として、本県のがん診療の質の向上を図るとともに、がん診療の人材を育成すること。</p> <p>また、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療の更なる質の向上や緩和ケアの充実に努めること。漢方医療との融合、重粒子線治療及びがんワクチン療法などの最先端医療・最新技術の追求に努めること。特に重粒子線治療については、円滑な運営を行うこと。</p> <p>このほか、本県のがん診療機能の中核的機関の役割として、臨床研究機能の充実、がん登録の推進に努めること。</p>

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																									
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																									
<p>第2</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(4) がんセンター</p> <p>・手術、化学療法及び放射線治療の体制の充実強化により、治療実施件数の増加を図る。</p>	<p>第1</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(4) がんセンター</p> <p>診療及び手術室のスタッフの確保や育成など診療体制の充実に努め、手術室、外来化学療法室及び放射線治療設備の稼働率の向上を図る。</p>	<p>・医師、看護師等の増員により、診療体制強化や手術室の効率的な運用により手術件数の増加を図った。</p> <p>・一部の診療科において、地域の医療機関との連携を強化し、紹介・逆紹介の取組みを進めることにより新規外来患者を獲得し手術件数の増加に繋がった。</p> <p>・分子標的薬など新たな抗がん剤の使用により化学療法件数が大きく増加する中で、医師、看護師、薬剤師等がより密接な連携を図り、外来での安全かつ負担の少ない化学療法の提供に努めた。</p> <p>・放射線治療装置（リニアック）による診療体制を円滑に運用し、放射線治療件数の着実な増加を図った。とくに緻密な治療計画に基づく高精度の放射線治療（強度変調放射線治療（IMRT））を積極的に実施し、副作用の少ない効果的な治療を提供することにより患者の身体的負担の軽減に取り組んだ。</p>	<p>実績に対する評価</p>		A	<p>・都道府県がん診療連携拠点病院として、質の高い手術、化学療法及び放射線治療を提供することができている。</p> <p>・年度計画を達成している。</p> <p>※複数の目標値があるため、一番低い評価を本小項目の自己評価とした。</p>																																																																																								
			<p>課題</p>				<p>・病床利用率87%の達成のため、スタッフの増員等により、体制整備を図るとともに、さらなる治療件数の増加に向けて逆紹介を進めることなどにより新規患者の増加策を推進する必要がある。</p>																																																																																							
			<p>〔目標値〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数</td> <td>3,089件</td> <td>3,429件</td> <td>3,440件</td> <td>3,464件</td> <td>100.7%</td> <td>A</td> <td>4,500件</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔目標値〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来化学療法件数</td> <td>14,212件</td> <td>16,943件</td> <td>16,500件</td> <td>18,619件</td> <td>112.8%</td> <td>S</td> <td>20,000件</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔目標値〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線治療新規患者数</td> <td>992人</td> <td>1,109人</td> <td>1,100人</td> <td>1,104人</td> <td>100.4%</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>うち定位照射</td> <td>15人</td> <td>30人</td> <td>20人</td> <td>36件</td> <td>180.0%</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>うちIMRT</td> <td>99人</td> <td>153人</td> <td>120人</td> <td>200件</td> <td>166.7%</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>放射線治療延べ患者数</td> <td>25,466人</td> <td>28,265人</td> <td>27,320人</td> <td>28,927件</td> <td>105.9%</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>うち定位照射</td> <td>60人</td> <td>130人</td> <td>80人</td> <td>158件</td> <td>197.5%</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>うちIMRT</td> <td>3,484人</td> <td>5,153人</td> <td>4,200人</td> <td>6,383件</td> <td>152.0%</td> <td>S</td> </tr> </tbody> </table>					区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度				平成31年度目標値	目標値	実績値	達成率	評価	手術件数	3,089件	3,429件	3,440件	3,464件	100.7%	A	4,500件	区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度				平成31年度目標値	目標値	実績値	達成率	評価	外来化学療法件数	14,212件	16,943件	16,500件	18,619件	112.8%	S	20,000件	区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度				目標値	実績値	達成率	評価	放射線治療新規患者数	992人	1,109人	1,100人	1,104人	100.4%	A	うち定位照射	15人	30人	20人	36件	180.0%	S	うちIMRT	99人	153人	120人	200件	166.7%	S	放射線治療延べ患者数	25,466人	28,265人	27,320人	28,927件	105.9%	A	うち定位照射	60人	130人	80人	158件	197.5%	S	うちIMRT
区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度				平成31年度目標値																																																																																							
			目標値	実績値	達成率	評価																																																																																								
手術件数	3,089件	3,429件	3,440件	3,464件	100.7%	A	4,500件																																																																																							
区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度				平成31年度目標値																																																																																							
			目標値	実績値	達成率	評価																																																																																								
外来化学療法件数	14,212件	16,943件	16,500件	18,619件	112.8%	S	20,000件																																																																																							
区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度																																																																																											
			目標値	実績値	達成率	評価																																																																																								
放射線治療新規患者数	992人	1,109人	1,100人	1,104人	100.4%	A																																																																																								
うち定位照射	15人	30人	20人	36件	180.0%	S																																																																																								
うちIMRT	99人	153人	120人	200件	166.7%	S																																																																																								
放射線治療延べ患者数	25,466人	28,265人	27,320人	28,927件	105.9%	A																																																																																								
うち定位照射	60人	130人	80人	158件	197.5%	S																																																																																								
うちIMRT	3,484人	5,153人	4,200人	6,383件	152.0%	S																																																																																								

小項目 3 7 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	<p>8 各病院の主な機能</p> <p>(4) がんセンター</p> <p>がんセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院として、本県のがん診療の質の向上を図るとともに、がん診療の人材を育成すること。</p> <p>また、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療の更なる質の向上や緩和ケアの充実に努めること。漢方医療との融合、重粒子線治療及びがんワクチン療法などの最先端医療・最新技術の追求に努めること。特に重粒子線治療については、円滑な運営を行うこと。</p> <p>このほか、本県のがん診療機能の中核的機関の役割として、臨床研究機能の充実、がん登録の推進に努めること。</p>

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																	
			自己点数	評価点数	コメント																	
<p>第2</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(4) がんセンター</p> <p>・がん治療に伴うADLやQOLの向上、また早期社会復帰へのサポート機能を向上するためのリハビリテーションに取り組む。</p>	<p>第1</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(4) がんセンター</p> <p>「リハビリテーションセンター」を設置し、個々のがん患者に適したより効果的なリハビリテーションを提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションセンター開設初年度、リハビリテーション科新患者数は975名で院内すべての診療科にリハビリテーションサービスを提供した。理学療法、作業療法、言語聴覚療法の実施患者数は1,357件、延べ実施件数は12,009件であった。 ・開設時には予定したスタッフを確保する事ができず、呼吸器外科、消化器外科等の手術例に対する周術期リハビリテーションの期待に応える事はできなかった。 ・7月以降すべての乳癌手術患者に対して術前、術後作業療法を行った。 ・頭頸部化学放射線治療患者に対する障害予防的言語聴覚療法、理学療法を行った。 ・泌尿器科膀胱全摘患者に対して周術期理学療法を行った。 ・移植治療を行う血液癌患者に対して無菌病室において理学療法を行った。 ・緩和ケア週間、旭区医師会在宅ケア研修会、市民公開講座などで企画、講演を行い、がんのリハビリテーションの啓発活動を行った。 	<p>実績に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に開設されたリハビリテーションセンターを円滑に運用することができている。 ・年度計画を達成している。 <p>※目標値の評価を本小項目の自己評価とした。</p>	A																		
			<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフを充実させ、さらにリハビリテーションサービスの体制強化が必要である。 																			
<p>[目標値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成27年度 実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リハビリテーション件数</td> <td>481件</td> <td>1,300件</td> <td>1,357件</td> <td>104.4%</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table>			区分	平成27年度 実績値	平成28年度				目標値	実績値	達成率	評価	リハビリテーション件数	481件	1,300件	1,357件	104.4%	A				
区分	平成27年度 実績値	平成28年度																				
		目標値	実績値	達成率	評価																	
リハビリテーション件数	481件	1,300件	1,357件	104.4%	A																	

小項目 38 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	<p>8 各病院の主な機能</p> <p>(4) がんセンター</p> <p>がんセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院として、本県のがん診療の質の向上を図るとともに、がん診療の人材を育成すること。</p> <p>また、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療の更なる質の向上や緩和ケアの充実に努めること。漢方医療との融合、重粒子線治療及びがんワクチン療法などの最先端医療・最新技術の追求に努めること。特に重粒子線治療については、円滑な運営を行うこと。</p> <p>このほか、本県のがん診療機能の中核的機関の役割として、臨床研究機能の充実、がん登録の推進に努めること。</p>

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																	
			自己点数	評価点数	コメント																	
<p>第2</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(4) がんセンター</p> <p>・平成27年12月に治療開始する重粒子線治療について、円滑な運営を行う。</p>	<p>第1</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(4) がんセンター</p> <p>平成27年12月に開始した重粒子線治療について、本格的な運用を行うとともに、医療機関を通じた集患の取組みを積極的に実施し、治療患者の拡大を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 重粒子線治療装置の整備を進めると共に、先進医療として132例の治療を、また保険治療として17例、計149例実施した。 広報活動として、英語版のパンフレットを作成し、海外に向け情報発信に努めた。 保険会社、医療機関等を中心に103件の重粒子線治療施設の見学があった。 共同研究契約を締結し、重粒子線治療の更なる高度化と標準化の推進に関する研究を行った。【共同研究先：(株)東芝】 	C																			
						実績に対する評価																
						課題																
		<ul style="list-style-type: none"> 目標件数を達成できなかったものの、通年での治療開始の初年度として、確実に重粒子線治療を提供することができている。 年度計画を下回っており改善の余地がある。 <p>※目標値の評価を本小項目の自己評価とした。</p>																				
		<p>・重粒子線治療の適応部位を増やしていくとともに、治療体制の充実に向けた組織づくりや、治療患者の更なる拡大に向けて、医療機関等を対象とした広報に取り組んでいく必要がある。</p>																				
		<p>[目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成27年度 実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度 目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重粒子線治療件数</td> <td>24件</td> <td>200件</td> <td>149件</td> <td>74.5%</td> <td>C</td> <td>660件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成27年度 実績値	平成28年度				平成31年度 目標値	目標値	実績値	達成率	評価	重粒子線治療件数	24件	200件	149件	74.5%	C	660件		
区分	平成27年度 実績値	平成28年度				平成31年度 目標値																
		目標値	実績値	達成率	評価																	
重粒子線治療件数	24件	200件	149件	74.5%	C	660件																

小項目 39 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	8 各病院の主な機能
	(4) がんセンター
	がんセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院として、本県のがん診療の質の向上を図るとともに、がん診療の人材を育成すること。 また、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療の更なる質の向上や緩和ケアの充実に努めること。漢方医療との融合、重粒子線治療及びがんワクチン療法などの最先端医療・最新技術の追求に努めること。特に重粒子線治療については、円滑な運営を行うこと。 このほか、本県のがん診療機能の中核的機関の役割として、臨床研究機能の充実、がん登録の推進に努めること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																			
			自己点数	評価点数	コメント																			
第2 8 各病院の具体的な取組み (4) がんセンター ・早期からの専門的な緩和ケアの提供や、身体的のみならず精神的・社会的苦痛も含めた総合的な緩和ケアの提供など、緩和ケア体制を充実する。	第1 8 各病院の具体的な取組み (4) がんセンター 緩和ケア内科、緩和ケアチーム及び緩和ケア病棟が連携し、診断期から緩和ケアを提供することにより、がん患者の療養生活の質の向上を図る。 [目標値]	・緩和ケアチーム、緩和ケア外来、緩和ケア病棟を有機的につなぐ緩和ケアセンターにおいて、全てのがん患者やその家族に対して、豊富な経験と知識を活かして、診断時から症状の段階に応じた迅速かつ適切な緩和ケアを断続的に提供した。 緩和ケア病棟 20床 緩和ケア病棟入院延べ患者数 6,247人 緩和ケア内科外来延べ患者数 674人 ・がん診療に携わる医師、医療従事者を対象に、がん性疼痛緩和や身体症状に対する緩和ケア、精神症状に関する緩和ケアを内容とした研修会を開催したほか、在宅緩和ケア検討会や出張研修等を積極的に実施した。 また、緩和ケア週間を設け、患者、家族への緩和ケアに関する啓発活動を行うことにより、地域における緩和ケア体制の充実に努めた。	実績に対する評価 ・緩和ケアの領域において、都道府県がん診療連携拠点病院として、積極的な役割を果たすことができている。 ・年度計画を達成している。 ※目標値の評価を本小項目の自己評価とした。	A																				
			課題 ・がん患者が今後ますます増加するなかで、緩和ケアの重要性も増していくことから、より早い時期から幅広く対応できるよう、さらなる体制整備を進めていく必要がある。																					
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成27年度 実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度 目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア指導件数</td> <td style="text-align: center;">1,105件</td> <td style="text-align: center;">1,100件</td> <td style="text-align: center;">1,065件</td> <td style="text-align: center;">96.8%</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">1,500件</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成27年度 実績値	平成28年度				平成31年度 目標値	目標値	実績値	達成率	評価	緩和ケア指導件数	1,105件	1,100件	1,065件	96.8%	A	1,500件
			区分						平成27年度 実績値	平成28年度				平成31年度 目標値										
目標値	実績値	達成率		評価																				
緩和ケア指導件数	1,105件	1,100件	1,065件	96.8%	A	1,500件																		

小項目 40 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>8 各病院の主な機能</p> <p>(4) がんセンター</p> <p>がんセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院として、本県のがん診療の質の向上を図るとともに、がん診療の人材を育成すること。</p> <p>また、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療の更なる質の向上や緩和ケアの充実に努めること。漢方医療との融合、重粒子線治療及びがんワクチン療法などの最先端医療・最新技術の追求に努めること。特に重粒子線治療については、円滑な運営を行うこと。</p> <p>このほか、本県のがん診療機能の中核的機関の役割として、臨床研究機能の充実、がん登録の推進に努めること。</p>
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第2</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(4) がんセンター</p> <p>・副作用抑制やQOLの向上のため、がん患者が安全で有効な治療法の選択を行えるよう、「漢方サポートセンター」において東洋医学を推進する。</p>	<p>第1</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(4) がんセンター</p> <p>「漢方サポートセンター」において、がん治療に伴う難治性の末梢神経障害、更年期症候群、浮腫、疼痛等に対し、鍼治療を含めた有効な東洋医学的治療を提供する。</p>	<p>・手術・放射線・抗がん剤治療等に伴う難治性の末梢神経障害、更年期症候群、浮腫、疼痛等を訴える患者に対し、鍼治療を含めた東洋医学的治療を行い、また、そのケアにかかわる方々の身体・精神的負担増に起因する諸症状に対しても必要に応じて対応した。</p> <p>・外来患者数は、前年度から2名増の3,535人（入院患者診療数含まず）で目標をほぼ達成した。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・がん患者のQOLの向上のための東洋医学的治療を提供することができている。</p> <p>・年度計画を達成している。</p> <p>※目標値の評価を本小項目の自己評価とした。</p>	A		
			課題			
			<p>・引き続き紹介患者の増加に向けて、漢方治療の相談及び東洋医学への理解促進を図るための情報提供を行う。</p>			

[目標値]						
区分	平成27年度実績値	平成28年度				平成31年度目標値
		目標値	実績値	達成率	評価	
漢方サポートセンター外来患者数	3,533人	3,600人	3,535人	98.2%	A	3,600人

小項目 4 1 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	8 各病院の主な機能 (5) 循環器呼吸器病センター 循環器呼吸器病センターは、循環器及び呼吸器の専門病院としての医療を提供するとともに、結核指定医療機関として結核医療を継続すること。 また、慢性呼吸器医療や循環器医療の臨床研究機能の充実を図るとともに、今後の病院のあり方について検討すること。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																												
			自己点数	評価点数	コメント																												
第2 8 各病院の具体的な取組み (5) 循環器呼吸器病センター ・併存疾患を有する肺癌に対し、低侵襲な胸腔鏡手術や化学療法、放射線治療を実施する。 ・総合的な循環器医療を推進するとともに、その予防対策である糖尿病治療等を充実する。 ・患者のADLやQOL向上のため、手術直後の心臓リハビリテーションや慢性的な呼吸器疾患に対する呼吸リハビリテーション実施体制を充実する。	第1 8 各病院の具体的な取組み (5) 循環器呼吸器病センター ・循環器及び呼吸器の専門病院としての特殊性から、併存疾患を持つ高齢者や難易度の高い手術が多い中で、安全で質の高い手術を提供するとともに、これらの実績を地域の医療機関に積極的に周知し、手術が必要な患者の受け入れ拡大を図る。 ・肺癌について、患者の状況に応じた適格な診断、低侵襲な胸腔鏡手術や化学療法、放射線治療、リハビリテーション及び相談サポートなど包括的な診療を行うとともに、先端的な治験、臨床研究の取組みや蓄積した患者データの分析等を進め、最新で質の高い医療を提供する。	・手術件数は、9月のCT入替に伴い、循環器内科及び心臓血管外科の手術を制限したことなどにより、前年度より件数が減少した。 ・医師、看護師、薬剤師等が緊密に連携し、肺癌に対して新たに承認された抗がん剤を早期に導入するとともに、放射線治療、呼吸リハビリテーション等を実施した。 ・心房細動などに対するカテーテルアブレーションについては、多職種チームによる心房細動センターにより診療を行うとともに、担当医を増員し、大幅に件数を伸ばした。 ・心臓血管外科について、冠動脈バイパス手術、弁膜症手術などを実施したほか、大動脈ステントグラフト内挿術を再開した。 ・肺癌手術の97%を胸腔鏡下手術により実施するとともに、症例に応じてより細い細径胸腔鏡を用いて低侵襲な手術を行った。 ・地域医療機関に対して、診療科部長による直接訪問、循環器・呼吸器症例検討会の開催、診療内容・特徴・実績等をまとめた「診療案内」の送付などにより、診療実績を周知し、紹介患者の増を図った。	実績に対する評価 ・循環器及び呼吸器の専門病院として、質の高い手術、化学療法及び放射線治療を提供することができている。 ・年度計画を下回っており、改善の余地がある。 ※複数の目標値があるため、一番低い評価を本小項目の自己評価とした。		C																												
			課題 ・肺癌や循環器領域について、診療内容・特徴・実績等を積極的に周知し、地域医療機関等との連携をより進めていくことが必要である。 ・放射線治療は、人材を確保し、診療体制の強化を図る必要がある。																														
[目標値]																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数</td> <td>951件</td> <td>988件</td> <td>1,045件</td> <td>962件</td> <td>92.1%</td> <td>B</td> <td rowspan="2">1,200件</td> </tr> <tr> <td>カテーテルアブレーション件数</td> <td>51件</td> <td>56件</td> <td>80件</td> <td>141件</td> <td>176.3%</td> <td>S</td> </tr> </tbody> </table>							区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度				平成31年度目標値	目標値	実績値	達成率	評価	手術件数	951件	988件	1,045件	962件	92.1%	B	1,200件	カテーテルアブレーション件数	51件	56件	80件	141件	176.3%	S
区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度							平成31年度目標値																							
			目標値	実績値	達成率	評価																											
手術件数	951件	988件	1,045件	962件	92.1%	B	1,200件																										
カテーテルアブレーション件数	51件	56件	80件	141件	176.3%	S																											
[目標値]																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線照射計画策定件数</td> <td>144件</td> <td>149件</td> <td>150件</td> <td>98件</td> <td>65.3%</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>放射線治療延べ患者数</td> <td>1,893人</td> <td>2,191人</td> <td>2,100人</td> <td>1,368人</td> <td>65.1%</td> <td>C</td> </tr> </tbody> </table>							区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度				目標値	実績値	達成率	評価	放射線照射計画策定件数	144件	149件	150件	98件	65.3%	C	放射線治療延べ患者数	1,893人	2,191人	2,100人	1,368人	65.1%	C		
区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度																														
			目標値	実績値	達成率	評価																											
放射線照射計画策定件数	144件	149件	150件	98件	65.3%	C																											
放射線治療延べ患者数	1,893人	2,191人	2,100人	1,368人	65.1%	C																											
(参考) [肺癌手術件数の推移]																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成26年度実績</th> <th>平成27年度実績</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肺癌手術件数</td> <td>121件</td> <td>127件</td> <td>98件</td> </tr> <tr> <td>うち胸腔鏡下手術件数</td> <td>119件</td> <td>124件</td> <td>95件</td> </tr> </tbody> </table>							区分	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	肺癌手術件数	121件	127件	98件	うち胸腔鏡下手術件数	119件	124件	95件															
区分	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績																														
肺癌手術件数	121件	127件	98件																														
うち胸腔鏡下手術件数	119件	124件	95件																														

小項目 4 2 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>8 各病院の主な機能</p> <p>(5) 循環器呼吸器病センター</p> <p>循環器呼吸器病センターは、循環器及び呼吸器の専門病院としての医療を提供するとともに、結核指定医療機関として結核医療を継続すること。</p> <p>また、慢性呼吸器医療や循環器医療の臨床研究機能の充実を図るとともに、今後の病院のあり方について検討すること。</p>
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																									
			自己点数	評価点数	コメント																																									
<p>第2</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(5) 循環器呼吸器病センター</p> <p>・増加するCOPD（慢性閉塞性肺疾患）や間質性肺炎の診療体制を充実強化する。</p>	<p>第1</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(5) 循環器呼吸器病センター</p> <p>・平成27年度に設置した「間質性肺炎センター」において、質の高い医療を提供できるよう、専門医の育成や治療技術の向上等の機能強化に取り組むとともに、患者への相談支援や情報提供を行い、全国の治療拠点としての役割を果たす。</p>	<p>・間質性肺炎センターにおいて、多職種カンファレンスを行い、胸腔鏡下肺生検等による診断、抗線維化薬による治療、包括的呼吸リハビリテーションなど質の高い診療を実施し、全国から患者を受け入れた。</p> <p>・間質性肺炎についての症例検討会を定期的に開催し、診療レベルの向上や若手医師の育成に努めるとともに、治験や臨床試験を積極的に実施した。</p> <p>・呼吸器専門看護外来を開始し、在宅酸素導入患者に療養指導を行うとともに、病状が安定している患者を地域医療機関につなぐため、地域連携クリニカルパスの運用を開始した。</p> <p>・医師、看護師、薬剤師、理学療法士による「COPD・喘息教室」（全4回）を開催し、延べ87人の参加者に指導した。</p>	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p>・間質性肺炎新規外来患者数については、全国から患者が集まるなど、国内有数の実績を上げることができている。</p> <p>・年度計画を大幅に上回って達成している。</p> <p>※複数の目標値があるが、間質性肺炎新規外来患者数は計画を大幅に上回る成果を上げており、COPD新規外来患者数も計画をほぼ達成していることから、自己評価をSとした。</p>	<p>S *</p>	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>・間質性肺炎、COPDをはじめとする呼吸器疾患について、患者数増加への対応を図るとともに、引き続き先進的な医療に取り組んでいく必要がある。</p>																																									
<p>[目標値]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>間質性肺炎新規外来患者数</td> <td style="text-align: center;">272人</td> <td style="text-align: center;">341人</td> <td style="text-align: center;">280人</td> <td style="text-align: center;">428人</td> <td style="text-align: center;">152.9%</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">300人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">平成26年度実績値</th> <th rowspan="2">平成27年度実績値</th> <th colspan="4">平成28年度</th> <th rowspan="2">平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>COPD新規外来患者数</td> <td style="text-align: center;">351人</td> <td style="text-align: center;">375人</td> <td style="text-align: center;">380人</td> <td style="text-align: center;">374人</td> <td style="text-align: center;">98.4%</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">400人</td> </tr> </tbody> </table>							区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度				平成31年度目標値	目標値	実績値	達成率	評価	間質性肺炎新規外来患者数	272人	341人	280人	428人	152.9%	S	300人	区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度				平成31年度目標値	目標値	実績値	達成率	評価	COPD新規外来患者数	351人	375人	380人	374人	98.4%	A	400人
区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度							平成31年度目標値																																				
			目標値	実績値	達成率	評価																																								
間質性肺炎新規外来患者数	272人	341人	280人	428人	152.9%	S	300人																																							
区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度				平成31年度目標値																																							
			目標値	実績値	達成率	評価																																								
COPD新規外来患者数	351人	375人	380人	374人	98.4%	A	400人																																							

小項目 4 3 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>8 各病院の主な機能</p> <p>(5) 循環器呼吸器病センター</p> <p>循環器呼吸器病センターは、循環器及び呼吸器の専門病院としての医療を提供するとともに、結核指定医療機関として結核医療を継続すること。</p> <p>また、慢性呼吸器医療や循環器医療の臨床研究機能の充実を図るとともに、今後の病院のあり方について検討すること。</p>
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第2</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(5) 循環器呼吸器病センター</p> <p>・患者のADLやQOL向上のため、手術直後の心臓リハビリテーションや慢性的な呼吸器疾患に対する呼吸リハビリテーション実施体制を充実する。</p>	<p>第1</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(5) 循環器呼吸器病センター</p> <p>COPD（慢性閉塞性肺疾患）や間質性肺炎患者を対象に、チーム医療による包括的呼吸リハビリテーションを目的とした教育入院を推進する。</p>	<p>・包括的呼吸リハビリテーションにおいて、症状に合わせた生活方法、運動、服薬、食事などについてのアドバイスを56件行った。</p> <p>・呼吸器疾患患者に対して、入院中の急性期から呼吸法や日常生活動作の獲得に向けたトレーニングを行うとともに、外来において筋力や持久力向上を図るための有酸素運動を行うなど、呼吸リハビリテーションを実施した。</p> <p>・急性心筋梗塞や心不全、心臓手術後の患者に対して、リスク管理を適切に図った上で、入院中の急性期から日常生活動作の獲得に向けたトレーニングを行うとともに、外来において再発を予防する目的で筋力や持久力向上を図るための有酸素運動を行うなど、心臓リハビリテーションを実施した。</p>	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p>・心臓リハビリテーションについては目標件数を達成できなかったものの、必要とする患者に対して、急性期からリハビリテーションを提供することができている。</p> <p>・年度計画を概ね達成している。</p> <p>※複数の目標値があるため、最も低い評価を本小項目の自己評価とした。</p>	B		
			<p style="text-align: center;">課題</p> <p>・患者のADLやQOL向上のため、リハビリテーションの実施体制を強化し、件数を増加させる必要がある。</p>			

[目標値]							
区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成27年度				平成31年度目標値
			目標値	実績値	達成率	評価	
心臓リハビリテーション件数	2,724件	3,066件	3,400件	2,883件	84.8%	B	5,200件
呼吸リハビリテーション件数	5,287件	7,159件	8,200件	8,135件	99.2%	A	10,600件

小項目 4 4 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>8 各病院の主な機能</p> <p>(5) 循環器呼吸器病センター</p> <p>循環器呼吸器病センターは、循環器及び呼吸器の専門病院としての医療を提供するとともに、結核指定医療機関として結核医療を継続すること。</p> <p>また、慢性呼吸器医療や循環器医療の臨床研究機能の充実を図るとともに、今後の病院のあり方について検討すること。</p>
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価							
			自己点数	評価点数	コメント							
<p>第2</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(5) 循環器呼吸器病センター</p> <p>・総合的な循環器医療を推進するとともに、その予防対策である糖尿病治療等を充実する。</p>	<p>第1</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(5) 循環器呼吸器病センター</p> <p>平成27年度に設置した「糖尿病・内分泌内科」により、周術期の血糖管理、ステロイド糖尿病等の血糖コントロール困難例の安全な治療遂行を図るとともに、多職種からなるサポートチームによる外来での療養指導を行うなど、専門性の高い治療を提供する。</p>	<p>・周術期の血糖管理、ステロイド糖尿病等の血糖コントロール困難例の安全な治療遂行を図るとともに、多職種からなるサポートチームによる外来での療養指導・栄養指導等を実施し、糖尿病合併症の発症、進行の予防に努めた。</p> <p>・平成29年1月に、糖尿病をテーマとした公開医療講座を開催した。</p> <p style="margin-left: 20px;">日 時 平成29年1月14日(土)</p> <p style="margin-left: 20px;">場 所 横浜市磯子公会堂</p> <p style="margin-left: 20px;">参加人員 111人</p> <p>・患者、家族を対象とした糖尿病教室を初めて11月に開催し、医師、糖尿病療養指導士である管理栄養士による講義を行った。</p> <p style="margin-top: 20px;">(参考) [糖尿病外来延べ患者数の推移]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 2px;">平成26年度実績</td> <td style="padding: 2px;">平成27年度実績</td> <td style="padding: 2px;">平成28年度実績</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">2,095件</td> <td style="padding: 2px;">3,202件</td> <td style="padding: 2px;">3,245件</td> </tr> </table>	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	2,095件	3,202件	3,245件	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p>・多職種からなるサポートチームにより、糖尿病医療を提供することができている。</p> <p>・年度計画を達成している。</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">A</p> <p style="text-align: center;">課題</p> <p>・引き続き、当センターに多い心疾患との合併や、ステロイド糖尿病などについて、専門性を生かして病状の評価を的確に行い、チーム医療による取組みを充実させていく必要がある。</p>			
平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績										
2,095件	3,202件	3,245件										

小項目 4 5 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>8 各病院の主な機能</p> <p>(5) 循環器呼吸器病センター</p> <p>循環器呼吸器病センターは、循環器及び呼吸器の専門病院としての医療を提供するとともに、結核指定医療機関として結核医療を継続すること。</p> <p>また、慢性呼吸器医療や循環器医療の臨床研究機能の充実を図るとともに、今後の病院のあり方について検討すること。</p>
-------------	---

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価													
			自己点数	評価点数	コメント													
<p>第2</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(5) 循環器呼吸器病センター</p> <p>・多剤耐性結核対策等の総合的な結核医療を実施する。</p>	<p>第1</p> <p>8 各病院の具体的な取組み</p> <p>(5) 循環器呼吸器病センター</p> <p>結核患者について、高齢化による併存疾患を持つ患者や認知症の患者の増加に対応するため、患者の状況に合わせたきめの細かい医療サービスを提供する。</p>	<p>・入院患者に対して院内DOTS（服薬支援）を徹底して実施するとともに、退院後もDOTSが継続されるよう、県や保健所設置市と定期的な連絡会を開催するなど連携して、結核の再発と多剤耐性結核の発生防止に努めた。</p> <p>・情報の共有と看護実践の評価を目的として「DOTSアセスメント記録」を作成し、保健所保健師と同じ項目で評価を行うことにより、入院中から退院後の治療継続を見据えた看護を実践するとともに、療養上の問題点の共有化を図った。</p> <p>・高齢の結核患者が増加していることから、電動ベッドへの更新を進めた。</p>	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p>・県内の結核治療を担う中核的医療機関としての役割を果たすことができている。</p> <p>・年度計画を達成している。</p>	A														
		<p>(参考) [結核病棟延入院患者数の推移] (下段は1日当たり)</p> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">11,380人 (31.2人)</td> <td style="text-align: center;">12,624人 (34.5人)</td> <td style="text-align: center;">11,138人 (30.5人)</td> </tr> </table> <p>(参考) [多剤耐性結核患者の推移]</p> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1人</td> <td style="text-align: center;">2人</td> <td style="text-align: center;">5人</td> </tr> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	11,380人 (31.2人)	12,624人 (34.5人)	11,138人 (30.5人)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	1人	2人	5人	<p style="text-align: center;">課題</p> <p>・結核患者の高齢化が進み、認知症や寝たきりで日常生活援助を必要とする患者が増加しており、療養環境の整備が必要である。</p> <p>・併存疾患（消化器疾患、慢性腎疾患等）を有する患者の増加に対して、結核病床を有する大学病院等と連携を図る必要がある。</p>			
平成26年度	平成27年度	平成28年度																
11,380人 (31.2人)	12,624人 (34.5人)	11,138人 (30.5人)																
平成26年度	平成27年度	平成28年度																
1人	2人	5人																

小項目 4 6 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第3 経営基盤の強化
	<p>1 業務運営体制の確立</p> <p>経営基盤を一層強固なものにしていくため、数値目標を掲げながら的確な経営分析に基づく収益の確保や費用の削減にこれまで以上に取り組み、自律的な病院経営を目指すこと。</p> <p>(1) 収益の確保</p> <p>新規患者の受入れを拡大し、病床の効率的な運用を図ること。</p> <p>診療報酬改定時など、各病院の特性に応じた施設基準を速やかに取得し、収益の確保に努めること。また、診療報酬によらない料金の設定については、原価や周辺施設との均衡などを考慮し、適時、適切な改定に努めること。</p>

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第3 経営基盤の強化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 業務運営体制の確立</p> <p>(1) 収益の確保</p> <p>・地域の医療機関や福祉施設との連携を強化することにより、病床を効率的に運用し、収益を確保する。</p> <p>・診療報酬によらない料金については、患者負担に配慮しながら、収支が均衡するよう、適切な改定を行う。</p>	<p>第2 経営基盤の強化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 業務運営体制の確立</p> <p>(1) 収益の確保</p> <p>・地域の医療機関や福祉施設との連携強化によって、効率的な病床運用を行い、収益の向上に努める。</p>	<p>・各病院において地域の医療機関や福祉施設等への訪問など地域連携強化に努めた。また、院内の連携強化を図り、病床の効率的な運用に努めた。</p> <p>[精神医療センター]</p> <p>・4月に新たに設置した地域医療連携室などが中心となり、病院の見学を積極的に受け入れるなど地域医療機関との連携の強化に努めたほか、毎朝実施しているベッドコントロール会議で空床情報、入院待機患者等の情報共有が徹底したことなどで、病床利用率が平成27年度に対し、3.5ポイント増の91.8%となった。</p> <p>・新規患者の受入体制を強化したほか、6月からリワークのデイケアの実施日を1週あたり1日増やし5日としたこと、電話再診の実施体制の強化などで、外来患者数が平成27年度に対し、4,956人増の55,254人となった。</p> <p>・10月から患者用駐車場の有料化を図り、345万円の駐車場収益をあげた。</p> <p>[がんセンター]</p> <p>・がん患者の増加にともない、精神科の診療を併せて必要とするケースも増加傾向にあり、後方連携強化のため病院・在宅療養診療所を訪問するとともに、新規開拓施設（精神科の連携など）に対し、精神腫瘍科医師と連携スタッフが一緒に訪問して、連携強化に努めた。</p> <p>・がん専門病院と地域との顔の見る関係づくりを目的として、訪問看護ステーションとの連携連絡会議を実施し、抗がん剤治療中の患者のケアについて、地域におけるケアの支援につなげた。</p>	実績に対する評価	A		
			課題			
			<p>・引き続き医療機関等の施設訪問を行い、連携強化を図るとともに、院内連携強化を図り、入院患者数の増加に努める必要がある。また、未収金回収や発生防止についても引き続き取り組んでいく必要がある。</p>			

・個人未収金について、発生防止の対策を行うとともに、債権回収方法の見直しを行う。

・コンサルタントからの提言を踏まえ、管理者や診療科部長による医療機関訪問など、新規患者の増加に向けた取組みを推進する。

・個人未収金について、各病院において、それぞれ積極的に発生防止や回収に取り組んだ。

[足柄上病院]

・個人未収金について、回収専任の非常勤職員を置き、自宅訪問による回収等を行った。また、督促状及び納付依頼の送付や電話による督促を行い、未収金の回収に努めた。

[こども医療センター]

・入院中は医療相談室と連携を取り、早めの概算案内、支払方法等の相談を行っている。
・来院時に未収残高と支払方法等の案内をしている。

[精神医療センター]

・患者相談に対応するなど未収金の発生防止に努めるとともに、定期的に督促状の送付や電話による督促を行い、未収金の回収に努めた。

[がんセンター]

・未収金対策として個室での支払い面談、電話督促、督促状の送付に加え、分割希望者や支払いが滞っている患者に対して、医事課の職員が個室もしくは相談窓口で面談を行うとともに、年度末には全件督促を行った。

[循環器呼吸器病センター]

・休日や時間外に救急で受診した患者のうち、外来予約のない患者に対し、3日以内に請求書を送付し、新たな未収金の発生防止に努めた。
・平成26年度と平成27年度の過年度未収金を重点的に、電話や文書による督促を行い、未収金の回収に努めた。

・医療機関への訪問を管理者等が行うなど新規患者の増加に向けた取組みを各病院で積極的に実施した。

[足柄上病院]

・新規患者の獲得や逆紹介先の医療機関の拡大に向けて、病院長や副院長等が、医療機関や福祉施設等の関係機関を45件訪問した。
地元医師会等が開催する地域連絡会に6回参加した。

[こども医療センター]

・病院長及び診療科部長等が、2病院4診療所の計6施設を訪問し、新規患者の増加に向けた取組みを行った。地域医療連携登録の促進については、登録医療機関は662機関に拡大した。

		<p>[精神医療センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月に外来診療部長を1名増やし、新規患者の受入体制を強化したほか、専門病棟見学会などの場を通じ、医療機関の職員に対し、病院を理解してもらい取組みを強化するなどの結果、初来院患者数が平成27年度に対し、163人増の1,275人となった。 <p>[がんセンター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前方・後方関連病院に対し病院長、副院長及び後方支援連携担当が計29件訪問することで、相手先の医療機関の状況を把握し、密接な連携を図ることにより、紹介・逆紹介患者数を増やした。 <p>[循環器呼吸器病センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所長、診療科部長等が、医療機関や消防署などを79か所訪問する等の取組みの結果、初来院患者数が前年度比43人増の3,840人となった。 				
--	--	---	--	--	--	--

小項目 4 7 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第3 経営基盤の強化</p> <p>1 業務運営体制の確立</p> <p>経営基盤を一層強固なものにしていくため、数値目標を掲げながら的確な経営分析に基づく収益の確保や費用の削減にこれまで以上に取り組み、自律的な病院経営を目指すこと。</p> <p>(1) 収益の確保</p> <p>新規患者の受入れを拡大し、病床の効率的な運用を図ること。</p> <p>診療報酬改定時など、各病院の特性に応じた施設基準を速やかに取得し、収益の確保に努めること。また、診療報酬によらない料金の設定については、原価や周辺施設との均衡などを考慮し、適時、適切な改定に努めること。</p>
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																																																																
			自己点数	評価点数	コメント																																																																																																																																																																
<p>第3</p> <p>1 業務運営体制の確立</p> <p>(1) 収益の確保</p> <p>・診療報酬に基づく料金について、各病院の特性に応じた施設基準を速やかに取得する。</p>	<p>第2</p> <p>1 業務運営体制の確立</p> <p>(1) 収益の確保</p> <p>診療報酬改定を踏まえ、各病院の特性に応じて、新たな施設基準を取得するよう努める。</p>	<p>・各病院において体制を整備し、新たな施設基準を取得し、収益の確保に努めた。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・診療報酬改定を受け、各病院の特性に応じた施設基準を取得することにより、収益の確保に向けた取り組みができています。</p> <p>・年度計画を達成している。</p>	<p>A</p>																																																																																																																																																																	
(参考) [平成28年度に取得した施設基準]																																																																																																																																																																					
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>基準名</th> <th>点数</th> <th>算定件数</th> <th>請求額(円)</th> <th>取得年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">足柄上病院</td> <td>退院支援加算 1</td> <td>600</td> <td>566</td> <td>3,396,000</td> <td>平成28年6月</td> </tr> <tr> <td>地域連携診療計画加算</td> <td>300</td> <td>52</td> <td>156,000</td> <td>平成28年6月</td> </tr> <tr> <td>精神疾患診療体制加算</td> <td>1,000</td> <td>4</td> <td>40,000</td> <td>平成28年6月</td> </tr> <tr> <td>地域包括ケア病棟入院料 1</td> <td>2,558</td> <td>6,339</td> <td>162,151,620</td> <td>平成28年10月</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">こども医療センター</td> <td>児童思春期精神科専門管理加算イ</td> <td>500</td> <td>4,444</td> <td>22,220,000</td> <td>平成28年6月</td> </tr> <tr> <td>児童思春期精神科専門管理加算ロ</td> <td>1,200</td> <td>141</td> <td>1,692,000</td> <td>平成28年6月</td> </tr> <tr> <td>歯科外来診療環境体制加算(初診時)</td> <td>25</td> <td>2,966</td> <td>741,500</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>歯科外来診療環境体制加算(再診時)</td> <td>5</td> <td>3,344</td> <td>167,200</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>新規取得なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="18">がんセンター</td> <td>退院支援加算 2</td> <td>190</td> <td>360</td> <td>684,000</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>乳房MRI撮影加算</td> <td>100</td> <td>56</td> <td>56,000</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅱ</td> <td>200</td> <td>1,814</td> <td>3,628,000</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>運動器リハビリテーション料Ⅱ</td> <td>170</td> <td>81</td> <td>137,700</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>呼吸器リハビリテーション料Ⅰ</td> <td>175</td> <td>484</td> <td>847,000</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>がん患者リハビリテーション料Ⅰ</td> <td>205</td> <td>5,893</td> <td>12,080,650</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>肺悪性腫瘍手術</td> <td>74,678</td> <td>30</td> <td>23,341,600</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>胆管悪性腫瘍手術</td> <td>84,700</td> <td>4</td> <td>3,388,000</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>粒子線治療</td> <td>150,000</td> <td>17</td> <td>25,500,000</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>粒子線治療適応判定加算</td> <td>40,000</td> <td>17</td> <td>6,800,000</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>粒子線治療医学管理加算</td> <td>10,000</td> <td>17</td> <td>1,700,000</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>画像誘導密封小線源治療加算</td> <td>300</td> <td>171</td> <td>513,000</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>クラウンブリッジ維持管理料</td> <td>215</td> <td>12</td> <td>18,900</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>運動器リハビリテーション料(Ⅰ)</td> <td>185</td> <td>1,349</td> <td>2,495,650</td> <td>平成28年7月</td> </tr> <tr> <td>遺伝学的検査</td> <td>3,880</td> <td>1</td> <td>38,800</td> <td>平成28年10月</td> </tr> <tr> <td>遺伝カウンセリング加算</td> <td>500</td> <td>1</td> <td>5,000</td> <td>平成28年10月</td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助体制加算 2 (50対1)</td> <td>255</td> <td>2,817</td> <td>7,183,350</td> <td>平成28年11月</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">循環器呼吸器病センター</td> <td>検査・画像情報提供加算</td> <td>30</td> <td>42</td> <td>12,600</td> <td>平成28年10月</td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助体制加算 1 (40対1)</td> <td>355</td> <td>323</td> <td>1,146,650</td> <td>平成28年4月</td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助体制加算 1 (30対1)</td> <td>445</td> <td>2,435</td> <td>10,835,750</td> <td>平成28年5月</td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助体制加算 2 (30対1)</td> <td>410</td> <td>974</td> <td>3,993,400</td> <td>平成29年1月</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	基準名	点数	算定件数	請求額(円)	取得年月	足柄上病院	退院支援加算 1	600	566	3,396,000	平成28年6月	地域連携診療計画加算	300	52	156,000	平成28年6月	精神疾患診療体制加算	1,000	4	40,000	平成28年6月	地域包括ケア病棟入院料 1	2,558	6,339	162,151,620	平成28年10月	こども医療センター	児童思春期精神科専門管理加算イ	500	4,444	22,220,000	平成28年6月	児童思春期精神科専門管理加算ロ	1,200	141	1,692,000	平成28年6月	歯科外来診療環境体制加算(初診時)	25	2,966	741,500	平成28年4月	歯科外来診療環境体制加算(再診時)	5	3,344	167,200	平成28年4月	精神医療センター	新規取得なし					がんセンター	退院支援加算 2	190	360	684,000	平成28年4月	乳房MRI撮影加算	100	56	56,000	平成28年4月	脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅱ	200	1,814	3,628,000	平成28年4月	運動器リハビリテーション料Ⅱ	170	81	137,700	平成28年4月	呼吸器リハビリテーション料Ⅰ	175	484	847,000	平成28年4月	がん患者リハビリテーション料Ⅰ	205	5,893	12,080,650	平成28年4月	肺悪性腫瘍手術	74,678	30	23,341,600	平成28年4月	胆管悪性腫瘍手術	84,700	4	3,388,000	平成28年4月	粒子線治療	150,000	17	25,500,000	平成28年4月	粒子線治療適応判定加算	40,000	17	6,800,000	平成28年4月	粒子線治療医学管理加算	10,000	17	1,700,000	平成28年4月	画像誘導密封小線源治療加算	300	171	513,000	平成28年4月	クラウンブリッジ維持管理料	215	12	18,900	平成28年4月	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	185	1,349	2,495,650	平成28年7月	遺伝学的検査	3,880	1	38,800	平成28年10月	遺伝カウンセリング加算	500	1	5,000	平成28年10月	医師事務作業補助体制加算 2 (50対1)	255	2,817	7,183,350	平成28年11月	循環器呼吸器病センター	検査・画像情報提供加算	30	42	12,600	平成28年10月	医師事務作業補助体制加算 1 (40対1)	355	323	1,146,650	平成28年4月	医師事務作業補助体制加算 1 (30対1)	445	2,435	10,835,750	平成28年5月	医師事務作業補助体制加算 2 (30対1)	410	974	3,993,400	平成29年1月	<p>課題</p> <p>・今後もより一層の施設基準の取得に努める。</p> <p>・診療報酬の次期改定に向けて、関係機関等の情報を収集し、対応するため、体制整備等の準備を進める必要がある。</p>
病院名	基準名	点数	算定件数	請求額(円)	取得年月																																																																																																																																																																
足柄上病院	退院支援加算 1	600	566	3,396,000	平成28年6月																																																																																																																																																																
	地域連携診療計画加算	300	52	156,000	平成28年6月																																																																																																																																																																
	精神疾患診療体制加算	1,000	4	40,000	平成28年6月																																																																																																																																																																
	地域包括ケア病棟入院料 1	2,558	6,339	162,151,620	平成28年10月																																																																																																																																																																
こども医療センター	児童思春期精神科専門管理加算イ	500	4,444	22,220,000	平成28年6月																																																																																																																																																																
	児童思春期精神科専門管理加算ロ	1,200	141	1,692,000	平成28年6月																																																																																																																																																																
	歯科外来診療環境体制加算(初診時)	25	2,966	741,500	平成28年4月																																																																																																																																																																
	歯科外来診療環境体制加算(再診時)	5	3,344	167,200	平成28年4月																																																																																																																																																																
精神医療センター	新規取得なし																																																																																																																																																																				
がんセンター	退院支援加算 2	190	360	684,000	平成28年4月																																																																																																																																																																
	乳房MRI撮影加算	100	56	56,000	平成28年4月																																																																																																																																																																
	脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅱ	200	1,814	3,628,000	平成28年4月																																																																																																																																																																
	運動器リハビリテーション料Ⅱ	170	81	137,700	平成28年4月																																																																																																																																																																
	呼吸器リハビリテーション料Ⅰ	175	484	847,000	平成28年4月																																																																																																																																																																
	がん患者リハビリテーション料Ⅰ	205	5,893	12,080,650	平成28年4月																																																																																																																																																																
	肺悪性腫瘍手術	74,678	30	23,341,600	平成28年4月																																																																																																																																																																
	胆管悪性腫瘍手術	84,700	4	3,388,000	平成28年4月																																																																																																																																																																
	粒子線治療	150,000	17	25,500,000	平成28年4月																																																																																																																																																																
	粒子線治療適応判定加算	40,000	17	6,800,000	平成28年4月																																																																																																																																																																
	粒子線治療医学管理加算	10,000	17	1,700,000	平成28年4月																																																																																																																																																																
	画像誘導密封小線源治療加算	300	171	513,000	平成28年4月																																																																																																																																																																
	クラウンブリッジ維持管理料	215	12	18,900	平成28年4月																																																																																																																																																																
	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	185	1,349	2,495,650	平成28年7月																																																																																																																																																																
	遺伝学的検査	3,880	1	38,800	平成28年10月																																																																																																																																																																
	遺伝カウンセリング加算	500	1	5,000	平成28年10月																																																																																																																																																																
	医師事務作業補助体制加算 2 (50対1)	255	2,817	7,183,350	平成28年11月																																																																																																																																																																
	循環器呼吸器病センター	検査・画像情報提供加算	30	42	12,600	平成28年10月																																																																																																																																																															
医師事務作業補助体制加算 1 (40対1)		355	323	1,146,650	平成28年4月																																																																																																																																																																
医師事務作業補助体制加算 1 (30対1)		445	2,435	10,835,750	平成28年5月																																																																																																																																																																
医師事務作業補助体制加算 2 (30対1)		410	974	3,993,400	平成29年1月																																																																																																																																																																

小項目 4 8 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第3 経営基盤の強化
	1 業務運営体制の確立 経営基盤を一層強固なものにしていくため、数値目標を掲げながら的確な経営分析に基づく収益の確保や費用の削減にこれまで以上に取り組み、自律的な病院経営を目指すこと。 (2) 費用の削減 材料費や経費の節減に努めること。また、共同購入対象品目の拡大など、引き続き費用削減に向けた様々な取り組みを行うこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価			
			自己点数	評価点数	コメント			
第3 1 業務運営体制の確立 (2) 費用の削減 ・共同購入対象品目の拡大や後発医薬品の積極的な導入等の取組みにより、費用削減を進める。 ・医療機器の整備及び更新に当たり、稼動に伴う人件費等含め、採算性に見合った購入に努める。	第2 1 業務運営体制の確立 (2) 費用の削減 ・本部事務局における共同購入対象品目の拡大や、後発医薬品の採用推進等の取組みにより、費用削減を進める。 ・本部事務局に物品調達機能を一部集約し、効率的な執行に努める。 ・医療機器の整備・更新に当たり、稼動に係る採算性や導入効果の検証を行う。	・後発医薬品の採用率は、数量ベース、金額ベースともに前年度と比較して増加し、年度目標についても達成した。 ・共同購入品目を前年度の72品目から480品目にするなど、スケールメリットを活かした効率的な執行に努めた。 ・平成27年度に通年稼働した医療機器について、採算性や導入効果などの稼働状況を経営会議において検証した。 [こども医療センター] ・上下水道料について、節水コマのリースにより前年比約400万円（5%）の費用を削減することができた。 [精神医療センター] ・冷房用冷却塔使用に伴う下水道の減量認定を受けたことで光熱水費の圧縮を図ったほか、平成29年度予算分の総合維持管理業務委託の入札執行で周辺業務を併せて発注することで、委託料の圧縮が可能となった。 [がんセンター] ・後発医薬品への切り替えについて、経営改善の観点から品目選定を進めた。抗がん剤に着目した検討WGを開催し、抗がん剤1品目の切り替えを決定した。	実績に対する評価 ・共同購入については品目数を大幅に拡大したことにより、スケールメリットを活用し、費用削減に寄与することができている。 ・後発医薬品の採用率については、国の掲げる数値目標にはまだ及ばないものの、年度計画を達成している。 ※目標値の評価を本小項目の自己評価とした。		A			
			課題 ・共同購入について業務の効率化に留意し、推進していく必要がある。 また、後発医薬品の採用率についても、国の掲げる数値目標を達成できるよう、さらに推進していく必要がある。					
[目標値]								
区分	平成26年度実績値	平成27年度実績値	平成28年度				平成31年度目標値	平成29年度国の目標値
			目標値	実績値	達成率	評価		
後発医薬品採用率（数量ベース）	39.3%	56.3%	60.0%	60.1%	100.2%	A	58.2%	70.0%
後発医薬品採用率（金額ベース）	26.2%	33.0%	35.0%	36.8%	105.1%	A	-	-

小項目 4 9 業務実績報告（自己評価）

中期目標	第3 経営基盤の強化
	1 業務運営体制の確立 経営基盤を一層強固なものにしていくため、数値目標を掲げながら的確な経営分析に基づく収益の確保や費用の削減にこれまで以上に取り組み、自律的な病院経営を目指すこと。 (3) 経営意識を有した職員の育成 病院経営において、職員一人ひとりの経営参画意識の向上が欠かせないことから、その意識醸成に一層取り組むこと。 特に事務職員には、病院経営に関する深い専門知識や高い経営感覚が求められることから、経営の専門性を有した事務職員の育成に計画的に取り組むこと。

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
第3 1 業務運営体制の確立 (3) 経営意識を有した職員の育成 ・職員の経営参画意識の醸成を図るため、全職員に対し経営情報の周知を図る。また、業務改善等の職員の自主的な取組みに対し、理事長表彰・発表会を実施する。 ・事務職員について、診療報酬事務や病院経営に関する深い専門知識や高い経営感覚を身に付けるため、計画的な人事異動や専門研修を実施する。	第2 1 業務運営体制の確立 (3) 経営意識を有した職員の育成 ・機構の経営状況について、「機構通信」等の職員向けの広報誌で周知することにより、職員全員が経営情報を把握し、共有できるようにする。 ・経営状況の把握や経営分析についての研修を、事務職に限らず他職種の職員に対しても行い、機構全体で経営に参画する意識を高める。 ・医師及び幹部職員を対象に、病院経営や組織マネジメント等に関する研修を実施する。	・職員向け広報誌（機構通信）において、県立病院機構の経営状況を周知し、職員間での共有を図った。 ・事務職、医療技術職の新規採用職員を対象に、「県立病院機構の財務・契約事務等について」等について研修を行った。同時にグループ形式での研修を活用し、互いの考えを交換することによる連帯意識の醸成を図った。 ・事務職員を対象に、業務遂行のために最低限必要と考えられる「診療報酬のしくみ」や「施設基準」等に関する基礎的な知識を習得させ、病院事務職としての専門性の向上を図る「診療報酬基礎セミナー」を実施した。 ・中堅職員としてのリーダーシップの発揮の仕方、部下育成・OJT等の方法を理解するための研修を実施し、若手職員への助言指導や信頼関係形成を行える職員の育成を図った。 ・医師を含む幹部職員を対象に、病院経営や組織マネジメント能力の向上に資する研修を10回実施した。 [がんセンター] ・がんセンターにおける現状、課題を共有し、更なる経営改革に向けた業務改善につなげるため、幹部職員や各セクション長等を対象に、業務改善研修（宿泊）を2回に分けて実施し、58人が参加した。	実績に対する評価	A		
			課題			

小項目50 業務実績報告（自己評価）

中期目標	<p>第3 経営基盤の強化</p> <p>2 財務内容に関する事項</p> <p>経営目標</p> <p>経営に関する指標については、第一期を上回るよう努めること。特に、医業に係る費用については、医業の収益によって賄うことを基本として経営努力を行うこと。</p> <p>* 第一期経営目標 経常収支比率100%以上 医業収支比率133%以下</p>
-------------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第3</p> <p>2 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画</p> <p>前項で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進め、中期目標期間を累計し、研究研修費を除いた医業収支比率を118%以下とする。</p> <p>(1) 予算 (平成27年度～平成31年度) 省略</p> <p>(2) 収支計画 (平成27年度～平成31年度) 省略</p> <p>(3) 資金計画 (平成27年度～平成31年度) 省略</p>	<p>第2</p> <p>2 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画</p> <p>(1) 予算（平成28年度） 省略</p> <p>(2) 収支計画（平成28年度）</p> <p>ア 県立病院機構全体 経常収支比率 97.6% 医業収益に対する給与費の比率 60.3% 医業収支比率 121.7% 医業収支比率（研究研修費を除く） 119.2%</p> <p>イ 足柄上病院 経常収支比率 95.9% 医業収益に対する給与費の比率 65.7% 医業収支比率 114.9% 医業収支比率（研究研修費を除く） 114.6%</p>	<p>・ 県立病院機構全体の経常収支比率は96.2%となった。 なお、医業収益に対する給与費の比率は62.0%、医業収支比率は123.5%、研究研修費を除く医業収支比率は120.8%となった。</p> <p>[決算状況] ア 県立病院機構全体 経常収支比率 96.2% 医業収益に対する給与費の比率 62.0% 医業収支比率 123.5% 医業収支比率（研究研修費を除く） 120.8% 総損益 △2,268百万円</p> <p>イ 足柄上病院 経常収支比率 86.5% 医業収益に対する給与費の比率 76.0% 医業収支比率 129.7% 医業収支比率（研究研修費を除く） 129.4% 総損益 △941百万円</p>	<p style="text-align: center;">実績に対する評価</p> <p>・ 県立病院全体で経常収支比率、医業収益に対する給与費比率、医業収支比率及び研究研修費を除く医業収支比率の目標を達成することができなかった。 各病院の状況は次のとおり。</p> <p>・ 足柄上病院は、収益面では、小児科の診療体制の変化及び救急患者受入件数の減等により、医業収益が41百万円減少した。 一方、費用面では、電気料金等の減や減価償却費の減などにより、医業費用が9百万円減少した。 この結果、総損失は941百万円となり、前年度から51百万円増加した。</p> <p>・ こども医療センターは、収益面では、延入院患者数の減による病床利用率の低下などにより、医業収益が59百万円減少した。 一方、費用面では、光熱水費等を圧縮したものの、給与費が増加したため、医業費用が472百万円増加した。 この結果、総利益は261百万円となり、前年度から542百万円減少した。</p>	D		

ウ こども医療センター

経営収支比率 102.3%
医業収益に対する給与費の比率 68.8%
医業収支比率 121.6%
医業収支比率（研究研修費を除く） 120.2%

エ 精神医療センター

経営収支比率 101.7%
医業収益に対する給与費の比率 112.6%
医業収支比率 157.1%
医業収支比率（研究研修費を除く） 156.9%

オ がんセンター（病院）

経営収支比率 99.2%
医業収益に対する給与費の比率 42.6%
医業収支比率 110.7%
医業収支比率（研究研修費を除く） 107.2%

**カ がんセンター
（重粒子線治療施設）**

経営収支比率 65.4%
医業収益に対する給与費の比率 30.1%
医業収支比率 216.8%
医業収支比率（研究研修費を除く） 216.8%

キ 循環器呼吸器病センター

経営収支比率 99.9%
医業収益に対する給与費の比率 54.0%
医業収支比率 119.0%
医業収支比率（研究研修費を除く） 116.7%

（3）資金計画（平成28年度）

省略

ウ こども医療センター

経営収支比率 102.1%
医業収益に対する給与費の比率 70.6%
医業収支比率 122.1%
医業収支比率（研究研修費を除く） 120.4%
総損益 261百万円

エ 精神医療センター

経営収支比率 106.1%
医業収益に対する給与費の比率 110.5%
医業収支比率 151.7%
医業収支比率（研究研修費を除く） 151.4%
総損益 300百万円

オ がんセンター（病院）

経営収支比率 96.6%
医業収益に対する給与費の比率 43.2%
医業収支比率 112.9%
医業収支比率（研究研修費を除く） 108.5%
総損益 △681百万円

カ がんセンター（重粒子線治療施設）

経営収支比率 61.8%
医業収益に対する給与費の比率 27.7%
医業収支比率 285.8%
医業収支比率（研究研修費を除く） 285.8%
総損益 △598百万円

キ 循環器呼吸器病センター

経営収支比率 97.4%
医業収益に対する給与費の比率 55.1%
医業収支比率 122.2%
医業収支比率（研究研修費を除く） 120.2%
総損益 △201百万円

・精神医療センターは、収益面では、入院延患者数、外来延患者数の増などにより医業収益が143百万円増加した。

一方、費用面では、旧病院の除却工事が終了したことによる臨時損失の減少などにより、費用が444百万円減少した。

この結果、総利益は300百万円となり、前年度より619百万円改善した。

・がんセンター（病院）は、収益面では、化学療法や放射線治療件数の増加などにより医業収益が929百万円増加した。

一方、費用面では、給与費や薬品費の増などにより医業費用が1,375百万円増加した。

この結果、総損失は681百万円となり、前年度から490百万円増加した。

・がんセンター（重粒子線治療施設）は、通年稼働初年度として、延外来患者数が、2,235人増加したことによる外来収益の増加により医業収益が460百万円増加した。

一方、費用面では、減価償却費の増加などにより医業費用が964百万円増加した。

この結果、総損失は598百万円となり、前年度から826百万円増加した。

・循環器呼吸器病センターは、収益面では、化学療法やカテーテルアブレーションの件数増に伴う患者単価の上昇などにより、医業収益が164百万円増加した。

一方、費用面では、薬品費や診療材料費の増加などにより、医業費用が352百万円増加した。

この結果、総損失は201百万円となり、前年度から、218百万円減少した。

課題

各病院において経営状況を改善するため、収益確保や費用削減にさらに努めるとともに、業務運営の効率化を進め、各病院で目標を達成することによって機構全体の目標を達成できるよう取り組む必要がある。

(参考) [収支計画]

区分	経常収支比率			医業収益に対する給与費の比率			医業収支比率			医業収支比率（研究研修費を除く）		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
県立病院機構全体	98.9%	98.5%	97.6%	62.2%	60.2%	60.3%	123.5%	122.4%	121.7%	-	120.3%	119.2%
足柄上病院	97.6%	95.0%	95.9%	71.3%	64.3%	65.7%	125.8%	116.6%	114.9%	-	116.3%	114.6%
こども医療センター	103.0%	102.2%	102.3%	66.7%	66.5%	70.6%	121.9%	121.8%	122.1%	-	120.4%	120.4%
精神医療センター	-	102.3%	101.7%	-	112.6%	112.6%	-	157.2%	157.1%	-	156.9%	156.9%
芹香病院	98.1%	-	-	124.4%	-	-	175.7%	-	-	-	-	-
せりがや病院	83.0%	-	-	133.7%	-	-	175.9%	-	-	-	-	-
がんセンター（病院）	98.4%	98.1%	99.2%	43.8%	42.5%	42.6%	113.0%	112.5%	110.7%	-	109.4%	107.2%
がんセンター（重粒子線）	-	94.7%	65.4%	-	485.5%	30.1%	-	1940.8%	216.8%	-	1940.8%	216.8%
循環器呼吸器病センター	103.7%	101.7%	99.9%	51.0%	53.7%	54.0%	114.6%	117.4%	119.0%	-	115.9%	116.7%

(参考) [決算状況]

区分	経常収支比率			医業収益に対する給与費の比率			医業収支比率			医業収支比率（研究研修費を除く）		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
県立病院機構全体	99.8%	99.8%	96.2%	61.7%	60.0%	62.0%	122.2%	120.4%	123.5%	-	118.1%	120.8%
足柄上病院	97.1%	87.4%	86.5%	69.7%	72.5%	76.0%	126.0%	128.8%	129.7%	-	128.5%	129.4%
こども医療センター	105.0%	105.3%	102.1%	65.8%	64.8%	70.6%	119.5%	117.7%	122.1%	-	116.4%	120.4%
精神医療センター	-	104.8%	106.1%	-	112.1%	110.5%	-	155.3%	151.7%	-	155.1%	151.4%
芹香病院	100.4%	-	-	125.6%	-	-	172.4%	-	-	-	-	-
せりがや病院	107.8%	-	-	113.2%	-	-	182.1%	-	-	-	-	-
がんセンター（病院）	96.6%	99.0%	96.6%	44.4%	41.9%	43.2%	115.1%	110.8%	112.9%	-	107.0%	108.5%
がんセンター（重粒子）	-	139.0%	61.8%	-	361.6%	27.7%	-	1106.6%	285.8%	-	1106.6%	285.8%
循環器呼吸器病センター	102.4%	100.6%	97.4%	53.8%	54.0%	55.1%	118.1%	119.5%	122.2%	-	117.9%	120.2%

項番「第4」～「第7」は欠番です（＜目次に関する注記＞（ii 頁）を参照してください。）。

小項目 5 1 業務実績報告（自己評価）

中期目標	
------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
<p>第 8 その他神奈川県で定める業務運営に関する重要事項 1 人事に関する計画</p> <p>医療ニーズの変化に対応した医療従事者等の迅速・柔軟な職員採用・配置を行うとともに、職員の実績等を的確に反映した人事管理を行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>項番「2」～「3」は欠番です（＜目次に関する注記＞（ii 頁）を参照してください。）。</p> </div>	<p>第 6 その他神奈川県で定める業務運営に関する重要事項 1 人事に関する事項</p> <p>医療ニーズの変化に迅速に対応するため、正規職員の採用や医師等医療スタッフの配置を弾力的に行うとともに、人事評価システムの効果的運用により、職員の実績等を的確に反映した人事管理を行う。</p>	<p>・診療報酬改定に合わせた施設基準や、よりきめ細かい患者対応を実現するため、薬剤師や管理栄養士、理学療法士の大幅な増員採用を行った。</p> <p>・人材育成の観点から、事務職員について県との人事交流を開始し、平成28年度は、機構から1人を県の保健福祉局に派遣し、県からも1人をがんセンターで受け入れた。</p>	<p>実績に対する評価</p> <p>・医療ニーズの変化に対応するための医療スタッフの確保ができています。 ・年度計画を達成している。</p>	A		
			<p>課題</p> <p>・薬剤師は合格者決定後の内定辞退防止策が、人材確保策として重要となっている。 ・また職員の平準的な採用計画を検討していく必要がある。</p>			

小項目 5 2 業務実績報告（自己評価）

中期 目標	
----------	--

中期計画	年度計画	業務実績	法人の自己評価		評価委員会の評価	
			自己点数	評価点数	コメント	
第 8 4 その他法人の業務運営に関し必要な事項 ・神奈川県が行う医療施策に積極的に連携し、県民の医療ニーズに的確に対応していく。 ・循環器呼吸器病センターについては、対象疾患に対する医療ニーズや施設・設備整備の必要性を踏まえ、今後のあり方を検討する。	第 6 2 その他法人の業務運営に関し必要な事項 ・「第 1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」の「1 質の高い医療の提供」の「(2) 臨床研究の推進」に記載のとおり、臨床研究支援や未病の取組みを初めとした神奈川県が行う施策に協力していく。 ・循環器呼吸器病センターのあり方について、検討会を設置し、提言に基づいた具体的な検討を進める。	・県の施策にあわせた未病健診研究の検討や、臨床研究支援に取り組んだ。 ・循環器呼吸器病センターあり方検討委員会を設置し、全 2 回検討委員会を開催したとともに、今後の検討に資する論点の整理や目指すべき方向性等をまとめた報告書を作成した。	実績に対する評価	A		
			・未病検診研究の検討や臨床研究支援を行うことにより県の施策に対し協力できている。 ・循環器呼吸器病センターあり方検討委員会での議論によって、今後の具体的な検討に繋げることができている。 ・年度計画を達成している。			
			課題			
			・引き続き県が行う未病の取組みに関する施策に協力していく必要がある。 ・循環器呼吸器病センターのあり方については、引き続き県立病院として求められるあり方や提供する医療の内容について議論を深めていく。			